

令和4 年度 東工区17街区擁壁整地工事

工事設計図書
(当初設計)

工事番号

路線名等

工事箇所 明石市大久保町大窪字大畑地内

工 種

工 事 費				概 要	
	実 施 (前回変更)	今 回 変 更	増 減 額		
設 計 額	円	円	円	本工事	
(内消費税額)	(円)	(円)	(円)	土工 1式	
請 負 額	円	円	円	擁壁工	
(内消費税額)	(円)	(円)	(円)	2号擁壁(現場打型擁壁) H=3.8m L=24.6m	
執行方法	請負	施工日数 または 施工期限	令和5年3月31日限り	2号擁壁(重力式擁壁) H=0.5m L=1.5m	
				1号擁壁(1)(現場打型擁壁) H=1.3m L=7.2m	
				1号擁壁(2)(現場打型擁壁) H=2.8m L=20.8m	
				ブロック積擁壁 H=2.1m L=9.4m	
				排水構造物工 1式	
				附帯工事	
				ブロック積擁壁(撤去・復旧) H=2.35m L=3.7m	
				排水構造物工 1式	
				構造物撤去工 1式	
				舗装復旧工 1式	

(起工理由)

- 前金払 有 40 %以内
- 中間前金払 有 20 %以内
- 部分払 無

契約数量表

	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
本工事費						
道路改良						
道路土工						
掘削工						
掘削			式		1	
掘削		土砂 オープンカット	m3		610	
路体盛土工						
路体(築堤)盛土			式		1	
路体(築堤)盛土		4.0m以上	m3		120	
路体(築堤)盛土		再生切込砕石	m3		280	
作業土工						
床掘り			式		1	
床掘り						
埋戻し			式		1	
埋戻し						
埋戻し						
埋戻し						
基面整正			式		1	

契約数量表

頁0-0002/0011

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
基面整正					
残土処理工					
残土等処分		式		1	
残土処分工(砂質土)[田口建材]					
擁壁工					
場所打擁壁工(構造物単位)(2号擁壁)					
重力式擁壁		式		1	
小型擁壁	0.5m以上0.6m未満	m3		0.3	
L型擁壁		式		1	
L型擁壁	24-12-20BB[水セメント比 55%以下]	m3		66	
透水マット	厚2cm	m2		30	
場所打擁壁工(1号擁壁(1))					
基礎材		式		1	
基礎碎石	碎石厚->17.5cmを超え20.0cm以下	m2		8	
均しコンクリート		式		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		0.9	
コンクリート		式		1	
コンクリート(場所打擁壁)	24-12-20BB[水セメント比 55%以下]	m3		5	

契約数量表

頁0-0003/0011

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
鉄筋		式		1	
鉄筋工	異形棒鋼 (SD345) D13mm	t		0.15	
型枠		式		1	
型枠					
型枠					
目地板		式		1	
目地板	瀝青質目地板 t=10mm	m2		0.8	
水抜パイプ		式		1	
水抜きパイプ	据付	m		0.8	
透水マット	厚2cm	m2		2	
場所打擁壁(1号擁壁(2))					
基礎材		式		1	
基礎碎石	碎石厚->17.5cmを超え20.0cm以下	m2		40	
均しコンクリート		式		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		4	
コンクリート		式		1	
コンクリート(場所打擁壁)	24-12-20BB[水セメント比 55%以下]	m3		36	
鉄筋		式		1	

契約数量表

頁0-0004/0011

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
鉄筋工	異形棒鋼 (SD345) D13mm	t		1.89	
型枠		式		1	
型枠					
型枠					
足場		式		1	
足場工設置・撤去					
目地板		式		1	
目地板	瀝青質目地板 t=10mm	m2		1	
水抜きパイプ		式		1	
水抜きパイプ	据付	m		3	
透水マット	厚2cm	m2		21	
石・ブロック積(張)工					
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)					
コンクリートブロック基礎		式		1	
コンクリートブロック基礎 K型 [積ブロック用]		m		9	
コンクリートブロック積		式		1	
コンクリートブロック積工	普通ブロック	m2		20	
足場工設置・撤去		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
洞込・裏込コンクリート		式		1	
洞込・裏込コンクリート	間知ブロック・緑化ブロック	m3		13	
洞込・裏込材(砕石)		式		1	
洞込・裏込材(砕石)	施工箇所->間知・平・連節・緑化ブロック	m3		4	
小口止コンクリート		式		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		1	
型枠	一般型枠	式		1	
足場工設置・撤去		式		1	
排水構造物工					
管渠工					
暗渠排水管		式		1	
暗渠排水管	据付	m		23	
暗渠排水管	据付	m		15	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員A					
交通誘導警備員B					

契約数量表

頁0-0007/0011

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
附帯工事費(1)					
道路改良					
石・ブロック積(張)工					
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)					
コンクリートブロック基礎		式		1	
コンクリートブロック基礎 K型 [積ブロック用]		m		3	
コンクリートブロック積		式		1	
コンクリートブロック積工	普通ブロック	式		1	
足場工設置・撤去		式		1	
胴込・裏込コンクリート		式		1	
胴込・裏込コンクリート	間知ブロック・緑化ブロック	m3		2	
胴込・裏込材(砕石)		式		1	
胴込・裏込材(砕石)	施工箇所->間知・平・連節・緑化ブロック	m3		2	
排水構造物工					
側溝工					
プレキャストU型側溝		式		1	
プレキャストU型水路	150mm×150mm	m		21	
側溝復旧	撤去・設置	m		13	

契約数量表

頁0-0008/0011

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
横断側溝復旧	撤去・設置	m		2	
管渠工					
暗渠排水管		式		1	
暗渠排水管	据付	m		0.8	
集水枥・マンホール工					
現場打ち集水枥		式		1	
現場打ち集水枥・街渠枥(本体)	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]	箇所		1	
場所打水路工					
現場打水路		式		1	
現場打側溝蓋	NC130	m		13	
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し		式		1	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m3		19	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m3		11	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		0.7	
舗装版切断		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		17	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装版破碎		式		1	
舗装版破碎 (アスファルト舗装版)		m2		33	
排水構造物撤去工					
暗渠排水管撤去		式		1	
暗渠排水管	撤去	m		2	
暗渠排水管	撤去	m		9	
付属施設撤去工					
付属施設撤去工		式		1	
既設フェンス撤去		m		38	
運搬処理工					
殻処分		式		1	
残塊処分工 (無筋Co) [田口建材]		m3		30	
残塊処分工 (有筋Co) [田口建材]		m3		0.7	
残塊処分工 (AS) [NIPPO]		m3		1	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員B					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装					
舗装工					
アスファルト舗装工					
下層路盤(歩道部)		式		1	
フィルター層	t = 40mm以上60mm未満	m2		3	
上層路盤(車道・路肩部)		式		1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		30	
上層路盤(歩道部)		式		1	
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚 t = 50 1層施工	m2		3	
表層(車道・路肩部)		式		1	
表層(車道・路肩部)	t = 50 mm	m2		30	
表層(歩道部)		式		1	
透水性アスファルト舗装	t = 30 mm	m2		3	
家屋調査費		式		1	
事前調査					
事後調査					
事前調査					
事後調査					

§ 1. 数量総括表

数量総括表

工 事 名	東工区17街区擁壁整地工事			事業区分			
				工事区分			
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算	式	数 量	単 位	摘 要	
本工事費							
道路改良							
土工							
掘削工							
掘削(土砂)							
バックホ掘削積込	オープン	617.8		610	m3		
盛土工							
盛土		124.2		120	m3		
	再生碎石	286.0		280	m3		
作業土工							
床掘り	土砂			1	式		
バックホ床掘							
基面整正(床付面の整正作業)							
埋戻し				1	式		
埋戻工							
残土処理工							
残土処分工				1	式		

数量総括表

工事名	東工区17街区擁壁整地工事			事業区分			
				工事区分			
工種・種別・細別・名称	規格	算式	数量	単位	摘要		
擁壁工							
場所打擁壁工(2)						1号擁壁(1) L型擁壁 H=1.30	
コンクリート	24-12-20	5.8	5	m3			
水抜きパイプ	VPφ75	0.8	0.8	m			
透水マット	ヘチマロン502F同等製品	2.5	2	m2			
伸縮目地	t=10mm	0.8	0.8	m2			
コンクリート工							
コンクリート工							
均しコンクリート	18-8-40	0.9	0.9	m3			
型枠工			1	式			
型枠							
型枠							
鉄筋工							
鉄筋工(加工組立)	SD345 D13, 一般構造物	0.15	0.15	t			
基礎工							
基礎砕石	RC-40	8.6	8	m2			
場所打擁壁工(2)						1号擁壁(2) L型擁壁 H=2.80	
コンクリート	24-12-20	36.6	36	m3			
水抜きパイプ	VPφ75	3.6	3	m			
透水マット	ヘチマロン502F同等製品	21.8	21	m2			
伸縮目地	t=10mm	1.8	1	m2			

数量総括表

工事名	東工区17街区擁壁整地工事			事業区分			
				工事区分			
工種・種別・細別・名称	規格	算式	数量	単位	摘要		
コンクリート工							
コンクリート							
均しコンクリート	18-8-40	4.2	4	m3			
型枠工			1	式			
型枠							
型枠							
鉄筋工							
鉄筋工(加工組立)	SD345 D13, 一般構造物	1.89	1.89	t			
足場支保工							
足場工			1	式			
基礎工							
基礎砕石	RC-40	41.8	40	m3			
場所打擁壁工(1)						2号擁壁 L型擁壁 H=3.80	
コンクリート	24-12-20、鉄筋4.52t 基礎砕石:有、均しC0:有	66.9	66	m3			
透水マット	ヘチマロン502F同等製品	31.0	30	m2			

数量総括表

工事名	東工区17街区擁壁整地工事			事業区分			
				工事区分			
工種・種別・細別・名称	規格	算式	数量	単位	摘要		
場所打擁壁工(1)						重力式擁壁 H=0.50	
小型擁壁	18-8-40 基礎碎石：有、均しC0：	0.3	0.3	m3			
石・ブロック積工							
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)						ブロック積擁壁 H=2.10	
コンクリートブロック積工	控35cm, 30kg/個	20.5	20	m2			
胴込、裏込コンクリート	18-12-20	13.9	13	m3			
裏込碎石工							
裏込碎石工	RC-40	4.1	4	m3			
コンクリートブロック基礎工							
コンクリートブロック基礎工		9.4	9	m			
足場支保工							
足場工			1	式			
止壁							
コンクリート工							
コンクリート工							
コンクリート	18-8-40	1.6	1	m3			
型枠工							
型枠			1	式			
足場支保工							
足場工			1	式			

数量総括表

工事名	東工区17街区擁壁整地工事			事業区分			
				工事区分			
工種・種別・細別・名称	規格	算式	数量	単位	摘要		
排水構造物工							
暗渠排水工							
暗渠排水	高密度ポリエチレン管φ75 シングル 有孔管	23.3	23	m			
暗渠排水	高密度ポリエチレン管φ75 シングル 無孔管	15.3	15	m			
復旧工							
排水構造物工							
プレキャストU型水路	150	21.0	21	m			
側溝復旧	再利用撤去据付 B300	13.8	13	m			
横断側溝復旧	再利用撤去据付 B300	2.2	2	m			
現場打側溝工							
側溝蓋復旧	B300	13.8	13	m			
集水樹工							
樹復旧	B300×L600×H400	1	1	箇所			
管渠工							
排水管	VUφ100	0.8	0.8	m			
石・ブロック積工							
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)						既設ブロック積擁壁復旧 H=2.35m	
コンクリートブロック積工	控35cm, 30kg/個	8.9	8	m ²			
胴込、裏込コンクリート	18-12-20	2.8	2	m ³			

数量総括表

工事名	東工区17街区擁壁整地工事			事業区分			
				工事区分			
工種・種別・細別・名称	規格	算式	数量	単位	摘要		
裏込砕石工							
裏込砕石工	RC-40	2.0	2	m3			
コンクリートブロック基礎工							
コンクリートブロック基礎工		3.7	3	m			
足場支保工							
足場工			1	式			
舗装工							
アスファルト舗装工							
表層工(車道)							
表層(車道、路肩)	表層 1.4m以上3.0m未満 密粒度アスコン(t=5cm)	30.7	30	m2			
路盤工(車道)							
路盤(車道)	粒度調整砕石 t=10cm	30.7	30	m2			
透水性舗装工							
表層工(歩道)							
表層(歩道)	表層 1.4m未満 透水性アスコン(t=3cm)	3.0	3	m2			
上層路盤工(歩道)							
上層路盤(歩道)	クラッシャーラン t=10cm	3.0	3	m2			
下層路盤工(歩道)							
下層路盤(歩道)	フィルター層 t=5cm	3.0	3	m2			

数量総括表

工事名	東工区17街区擁壁整地工事			事業区分			
				工事区分			
工種・種別・細別・名称	規格	算式	数量	単位	摘要		
構造物取壊し工							
コンクリート構造物取壊し							
構造物とりこわし(機械)	無筋構造物、機械	19.5	19	m3			
	無筋構造物、人力	11.3	11	m3			
	有筋構造物、機械	0.7	0.7	m3			
排水構造物撤去工							
暗渠排水管	VUφ100	2.5	2	m			
	VPφ300	9.1	9	m			
付属施設撤去工							
フェンス		38.1	38	m			
舗装版取壊し							
舗装版直接掘削積込	AS t=5cm	33.7	33	m2			
舗装版切断工	AS t=5cm	17.7	17	m			
運搬処理工							
殻運搬処理							
残塊処分工	C0殻無筋	30.8	30	m3			
	C0殻有筋	0.7	0.7	m3			
	AS殻	1.6	1	m3			

数量総括表

工事名	東工区17街区擁壁整地工事			事業区分	概要		
				工事区分			
工種・種別・細別・名称	規格	算式	数量	単位			
準備費							
木根等処分			1	式			

§ 2. 土工

土工 数量集計表

名 称	規 格	算出根拠	単位	数 量
掘削	オープン	横断土工より	m3	308.8
		308.8		
	オープン (表土すきとり)	横断土工より	m3	309.0
		合計	m3	617.8
盛土		横断土工より	m3	124.2
		124.2		
		合計	m3	124.2
再生碎石		横断土工より	m3	286.0
		286.0		
		合計	m3	286.0
床掘	土砂	擁壁工より	m3	563.6
		563.6		
		合計	m3	563.6
埋戻	W<1.0m	擁壁工より	m3	7.6
		7.6		
		合計	m3	7.6
埋戻	1.0m≦W<4.0m	擁壁工より	m3	123.5
		123.5		
		合計	m3	123.5
埋戻	W≧4.0m	擁壁工より	m3	314.2
		314.2		
		合計	m3	314.2
基面整正		擁壁工より	m2	146.8
		146.8		
		復旧工より	m2	20.3
		20.3		
	合計	m2	167.1	
残土処分		(308.8 + 563.6) -	m3	239.6
		(124.2 + 7.6 + 123.5 + 314.2) / 0.9		
		=	m3	309.0
		合計	m3	548.6

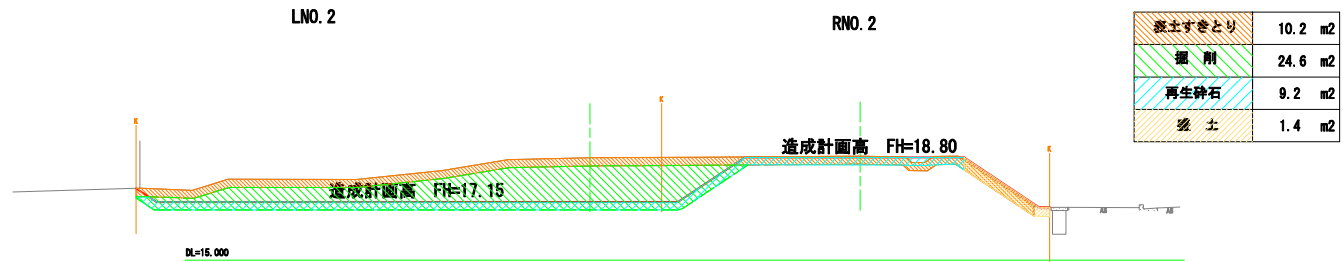
土 工

計 算 表

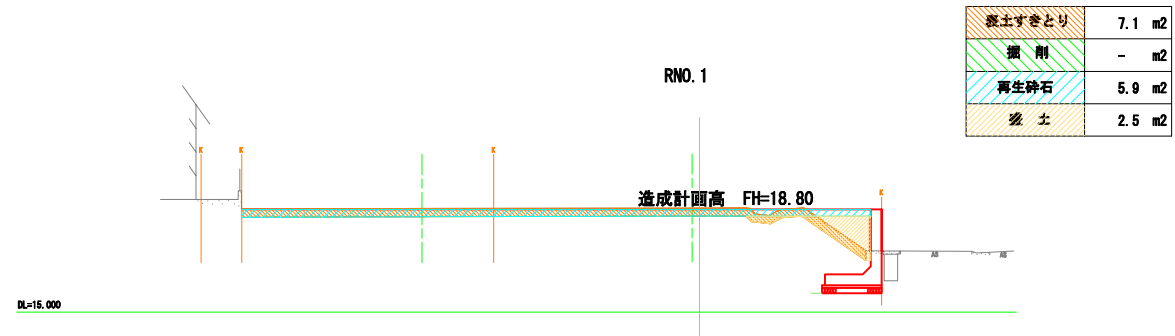
測点	距 離	断 面 積(m2)				平 均				体 積(m3)				摘 要
		表土すきとり	掘削	盛土	再生砕石	表土すきとり	掘削	盛土	再生砕石	表土すきとり	掘削	盛土	再生砕石	
NO. 0		6.3		10.3	6.3									
NO. 1	10.0	7.1		2.5	5.9	6.70	0.00	6.40	6.10	67.0	0.0	64.0	61.0	
NO. 1+7.8	7.8	7.1		2.5	5.9	7.10	0.00	2.50	5.90	55.4	0.0	19.5	46.0	(NO. 1)
NO. 1+7.8		10.2	24.6	1.4	9.2									(NO. 2)
NO. 2	2.2	10.2	24.6	1.4	9.2	10.20	24.60	1.40	9.20	22.4	54.1	3.1	20.2	
NO. 3	10.0	10.3	12.2	2.5	10.3	10.25	18.40	1.95	9.75	102.5	184.0	19.5	97.5	
NO. 3+4.5	4.5	10.3	12.2	2.5	10.3	10.30	12.20	2.50	10.30	46.4	54.9	11.3	46.4	(NO. 3)
NO. 3+4.5		3.4	3.5	1.5	3.3									(NO. 3+9.0)
NO. 3+9.0	4.5	3.4	3.5	1.5	3.3	3.40	3.50	1.50	3.30	15.3	15.8	6.8	14.9	
合 計	39.0									309.0	308.8	124.2	286.0	

横断図(1)

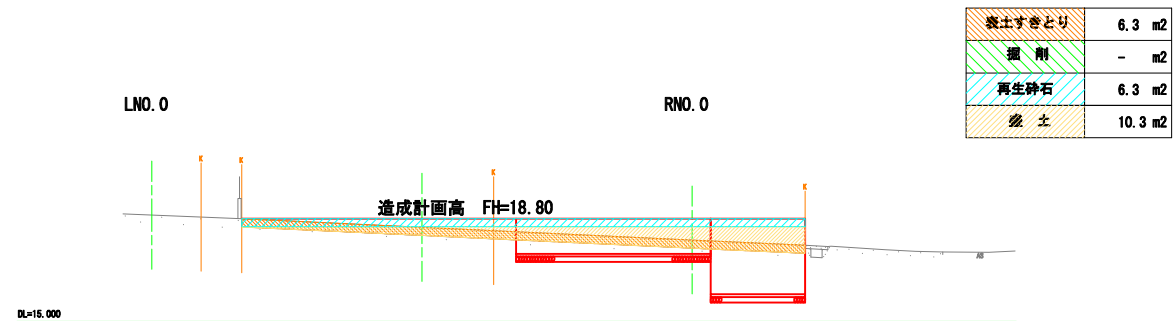
NO. 2
GH=18.79
FH=



NO. 1
GH=18.84
FH=



NO. 0
GH=18.48
FH=

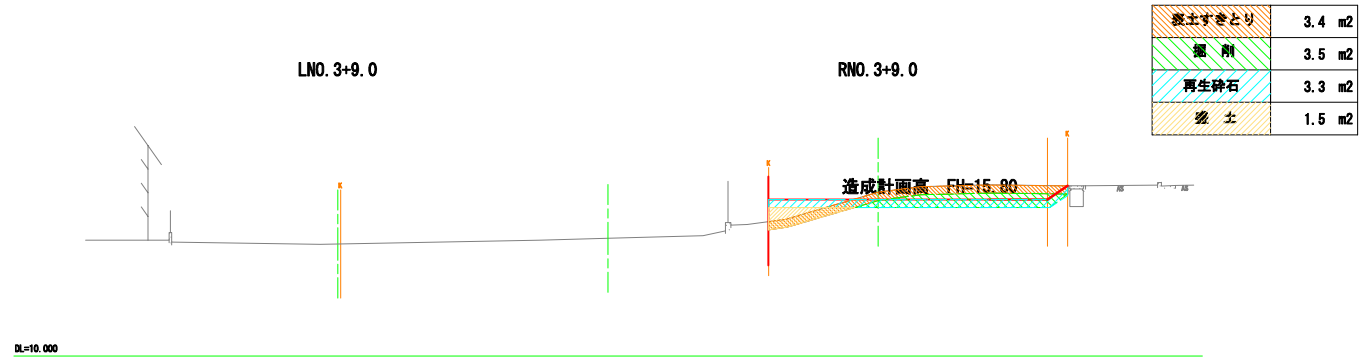


(1) NO. 0~NO. 2

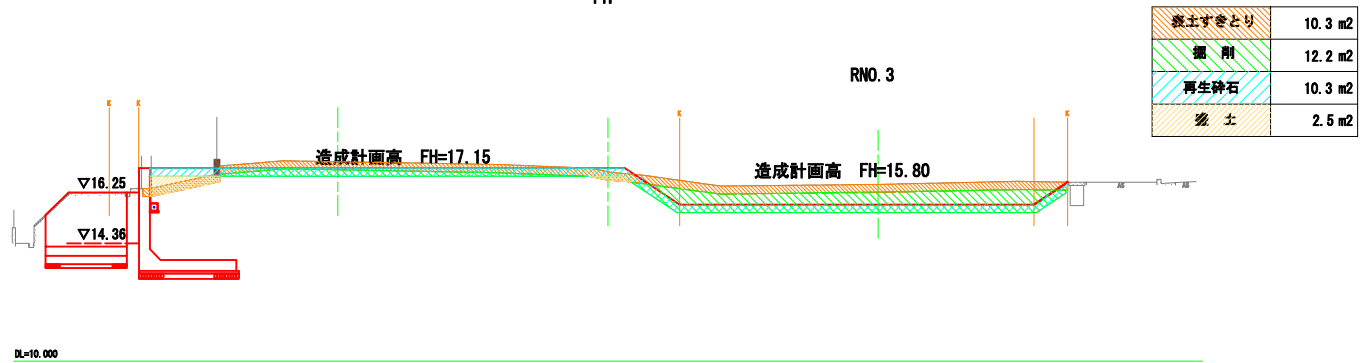
工事名	東17期区画整理詳細設計にかき業務委託		
年度	令和4年度		
図面名称	横断図(1)		
縮尺	S=1:100	図番	/
事業主体	明石市緑地局都市整備課区画整理課		

横断図(2)

NO. 3+9. 0
GH=14. 36
FH=



NO. 3
GH=17. 01
FH=



(2) NO. 3, NO. 3+9. 0

工事名	東17期区画整理詳細設計委託業務委託		
年度	令和4年度		
図面名称	横断図(2)		
縮尺	S=1:100	図番	/
事業主体	明石市緑地局都市整備課区画整理課		

§ 3. 擁壁工

擁壁工 集計表(1)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
1号擁壁(1)	場所打擁壁工(2) L型擁壁 H=1.30			
コンクリート	24-12-20	m3	5.8	
水抜パイプ	VPφ75	m	0.8	
透水マット		m2	2.5	
伸縮目地	t=10mm	m2	0.8	
均しコンクリート	18-8-40	m3	0.9	
型枠	鉄筋構造物	m2	19.5	
型枠	均しコンクリート	m2	1.6	
鉄筋工	SD345 D13	t	0.15	
基礎碎石	RC-40	m2	8.6	
1号擁壁(2)	場所打擁壁工(2) L型擁壁 H=2.80			
コンクリート	24-12-20	m3	36.6	
水抜パイプ	VPφ75	m	3.6	
透水マット	ヘチマロン502F同等製品	m2	21.8	
伸縮目地	t=10mm	m2	1.8	
均しコンクリート	18-8-40	m3	4.2	
型枠	鉄筋構造物	m2	104.8	
型枠	均しコンクリート	m2	4.2	
鉄筋工	SD345 D13	t	1.89	
足場工	枠組足場	掛m2	69.4	
基礎碎石	RC-40	m2	41.8	
2号擁壁	場所打擁壁工(1) L型擁壁 H=3.80			
コンクリート	24-12-20, 鉄筋4.52t, 基礎碎石:有, 均しC0:有	m3	66.9	
透水マット	ヘチマロン502F同等製品	m2	31.0	
取合工擁壁	場所打擁壁工(2) 重力式擁壁 H=0.50			
小型擁壁	18-8-40	m3	0.3	
ブロック積擁壁	コンクリートブロック積工 H=2.10m			
積ブロック	控え35cm	m2	20.5	
胴込・裏込コンクリート	18-12-20	m3	13.9	
裏込碎石	RC-40	m3	4.1	
コンクリートブロック基礎工		m	9.4	
足場工	単管傾斜足場	掛m2	20.5	
止壁		箇所	2.0	
コンクリート	18-8-40	m3	1.6	0.8×2=1.6
型枠	無筋構造物	m2	12.2	6.1×2=12.2
足場工	単管傾斜足場	掛m2	1.6	0.8×2=1.6

透水マット 計算表

1号擁壁(1)

	延長	透水マット高	平均透水マット高	面積(m2)
		0.184		
	6.520	0.490	0.337	2.197
	0.680	0.521	0.506	0.344
合計				2.541

1号擁壁(2)

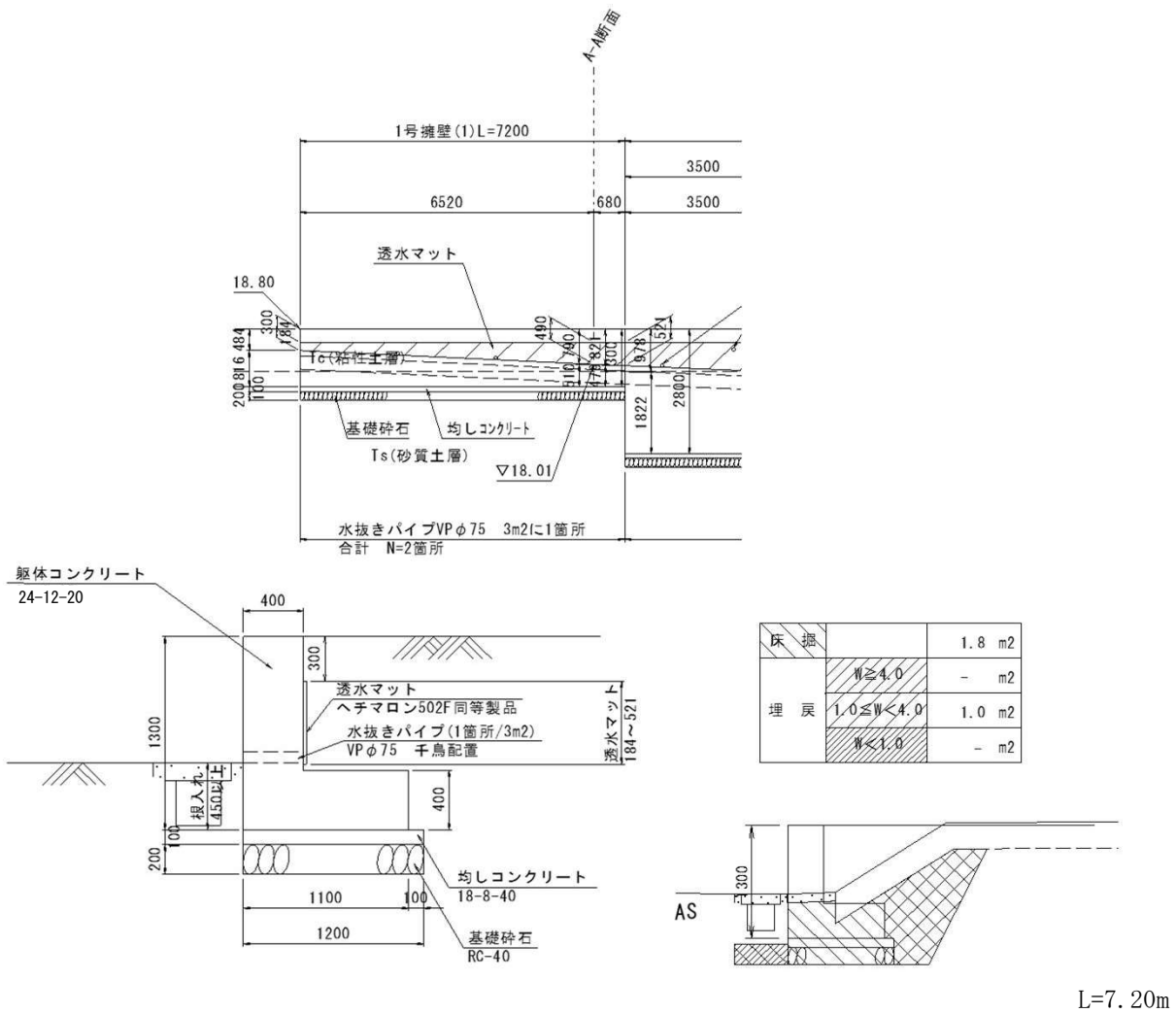
	延長	透水マット高	平均透水マット高	面積(m2)
		0.521		
	3.500	0.678	0.600	2.100
	4.010	1.018	0.848	3.400
	7.170	1.240	1.129	8.095
	6.130	1.430	1.335	8.184
合計				21.779

2号擁壁

	延長	透水マット高	平均透水マット高	面積(m2)
		1.305		
	1.903	1.303	1.304	2.482
	10.408	1.292	1.298	13.510
	9.401	1.282	1.287	12.099
	2.257	1.280	1.281	2.891
合計				30.982

材料計算書

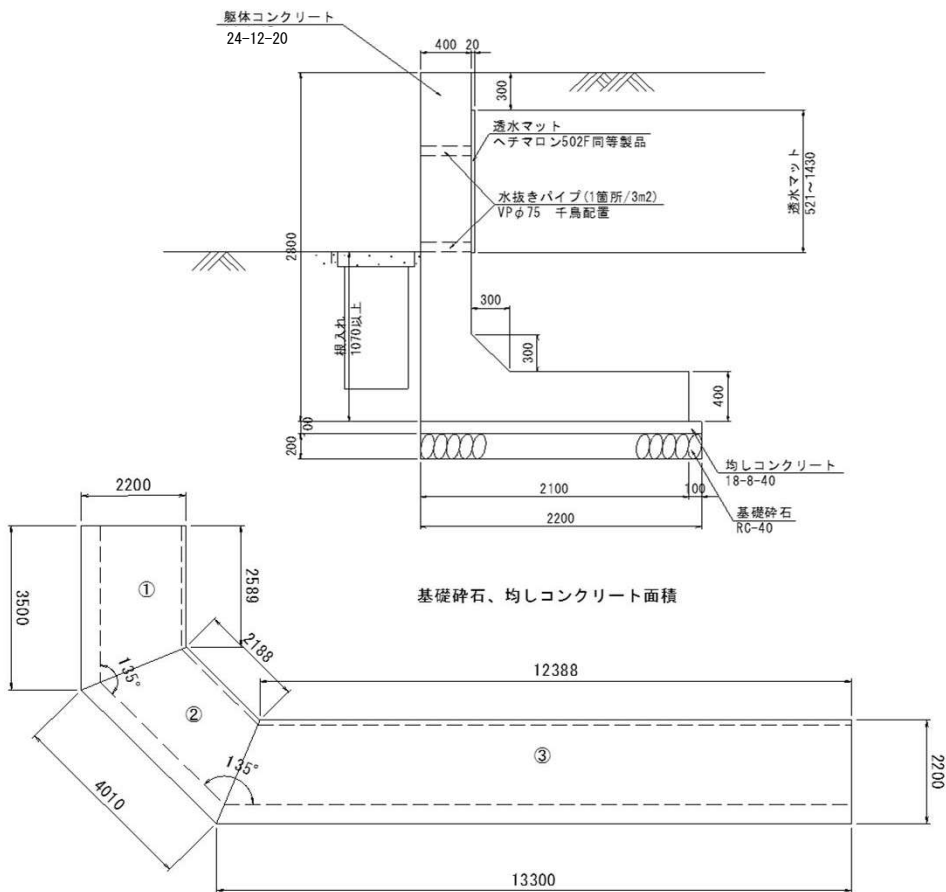
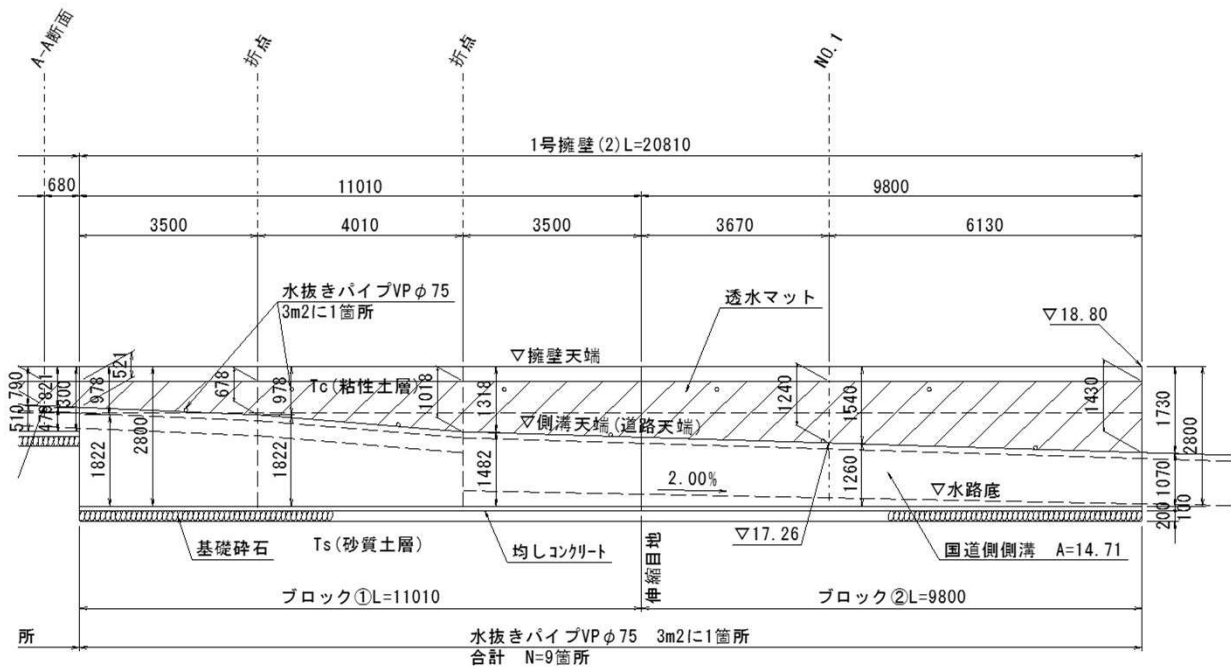
名称 : L型擁壁(1)



名称	計算式	単位	数量
型枠 鉄筋構造物	$(1.30 \times 2) \times 7.20 + (0.40 \times 1.30 + 0.70 \times 0.40)$	m ²	19.5
コンクリート 24-12-20	$(0.40 \times 1.30 + 0.70 \times 0.40) \times 7.20$	m ³	5.76
均し型枠	$(0.10 \times 2) \times 7.20 + (0.10 \times 1.20)$	m ²	1.6
均しコンクリート 18-8-40	$0.10 \times 1.20 \times 7.20$	m ³	0.9
基礎砕石 t=200 RC-40	1.20×7.20	m ³	8.6
鉄筋工 SD345 D13	146/1000	t	0.15
透水マット	$(0.18 + 0.52) \times 1/2 \times 7.2$	m ²	2.5
水抜きパイプ VPφ75	$(2.54 + 0.30 \times 7.20) / 3.0 = 1.57 \rightarrow 2$ 箇所 2×0.40	m	0.8
伸縮目地 t=10	$0.40 \times 1.30 + 0.70 \times 0.4$	m ²	0.8
作業土工	土工にて計上		
床掘 土砂	1.8×7.20	m ³	13.0
埋戻 1.0 ≤ W < 4.0	1.0×7.20	m ³	7.2
基面整正	1.20×7.20	m ²	8.6

材料計算書

名称 : 1号擁壁(2)



基礎砕石、均しコンクリート面積

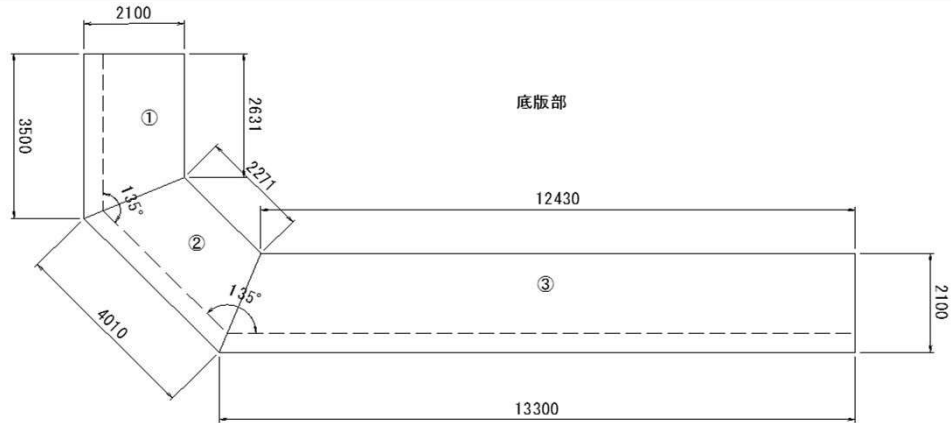
$$\begin{aligned} \text{①} & (2.59+3.50) \times 2.20 / 2 = 6.70 \text{ m}^2 \\ \text{②} & (2.19+4.01) \times 2.20 / 2 = 6.82 \text{ m}^2 \\ \text{③} & (12.39+13.30) \times 2.20 / 2 = 28.26 \text{ m}^2 \\ & \text{合計} = 41.78 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

均しコンクリート型枠

$$2.20+3.50+4.01+13.30+2.20+12.39+2.19+2.59 = 42.38 \text{ m}$$

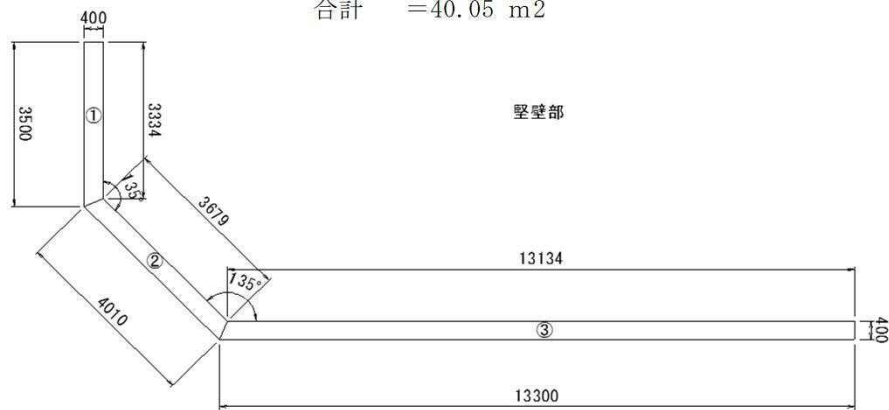
材 料 計 算 書

名 称 : 1号擁壁(2)



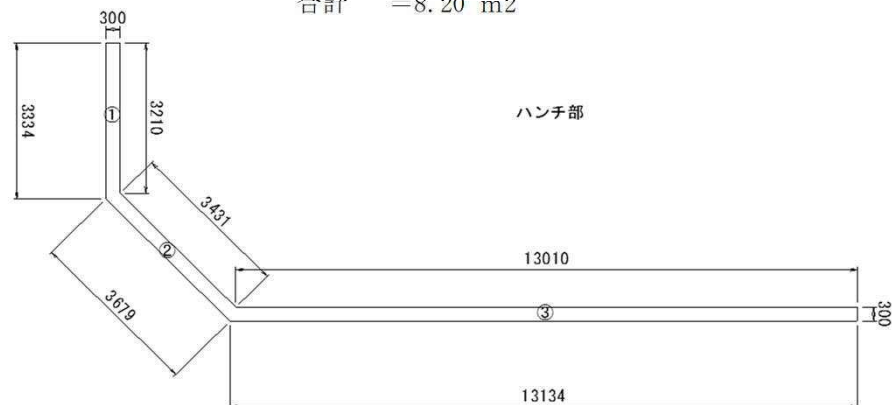
底板コンクリート面積

$$\begin{aligned} \textcircled{1} & (2.63+3.50) \times 2.10/2 & = 6.44 \text{ m}^2 \\ \textcircled{2} & (2.27+4.01) \times 2.10/2 & = 6.59 \text{ m}^2 \\ \textcircled{3} & (12.43+13.30) \times 2.10/2 & = 27.02 \text{ m}^2 \\ & \text{合計} & = 40.05 \text{ m}^2 \end{aligned}$$



堅壁コンクリート面積

$$\begin{aligned} \textcircled{1} & (3.33+3.50) \times 0.40/2 & = 1.37 \text{ m}^2 \\ \textcircled{2} & (3.68+4.01) \times 0.40/2 & = 1.54 \text{ m}^2 \\ \textcircled{3} & (13.13+13.30) \times 0.40/2 & = 5.29 \text{ m}^2 \\ & \text{合計} & = 8.20 \text{ m}^2 \end{aligned}$$



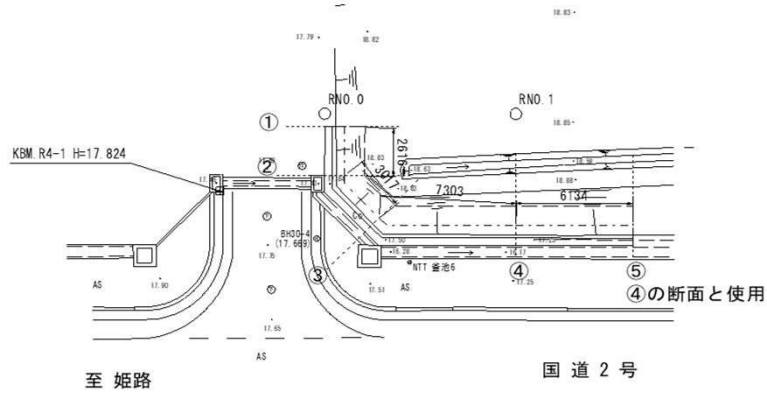
ハンチコンクリート面積

$$\begin{aligned} \textcircled{1} & (3.21+3.33) \times 0.30/2 & = 0.98 \text{ m}^2 \\ \textcircled{2} & (3.43+3.68) \times 0.30/2 & = 1.07 \text{ m}^2 \\ \textcircled{3} & (13.01+13.13) \times 0.30/2 & = 3.92 \text{ m}^2 \\ & \text{合計} & = 5.97 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

材 料 計 算 書

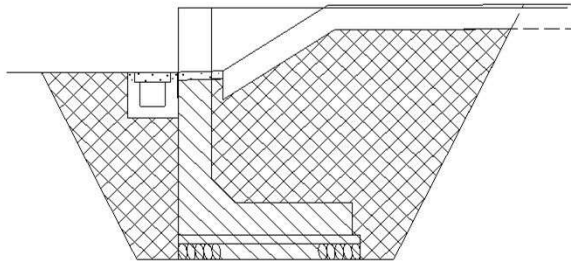
名 称 : 1号擁壁(2)

1号擁壁(2) 平面図



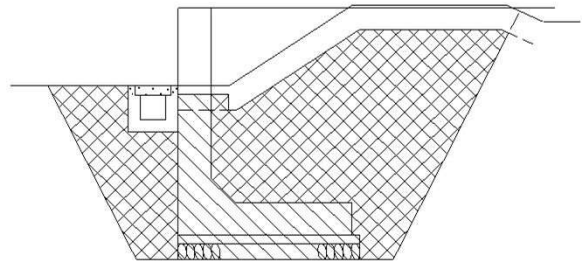
1号擁壁(2) ①断面図

床 掘		10.6 m ²
埋 戻	$W \geq 4.0$	- m ²
	$1.0 \leq W < 4.0$	8.5 m ²
	$W < 1.0$	- m ²



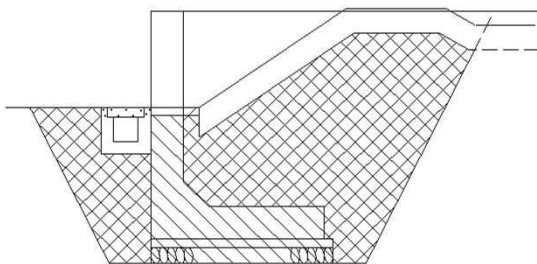
1号擁壁(2) ②断面図

床 掘		9.9 m ²
埋 戻	$W \geq 4.0$	- m ²
	$1.0 \leq W < 4.0$	7.8 m ²
	$W < 1.0$	- m ²



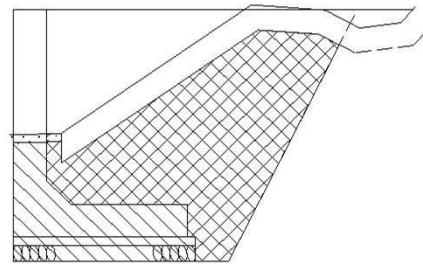
1号擁壁(2) ③断面図

床 掘		9.1 m ²
埋 戻	$W \geq 4.0$	- m ²
	$1.0 \leq W < 4.0$	7.1 m ²
	$W < 1.0$	- m ²



1号擁壁(2) ④断面図

床 掘		6.6 m ²
埋 戻	$W \geq 4.0$	- m ²
	$1.0 \leq W < 4.0$	4.8 m ²
	$W < 1.0$	- m ²



ペーロケによる断面図

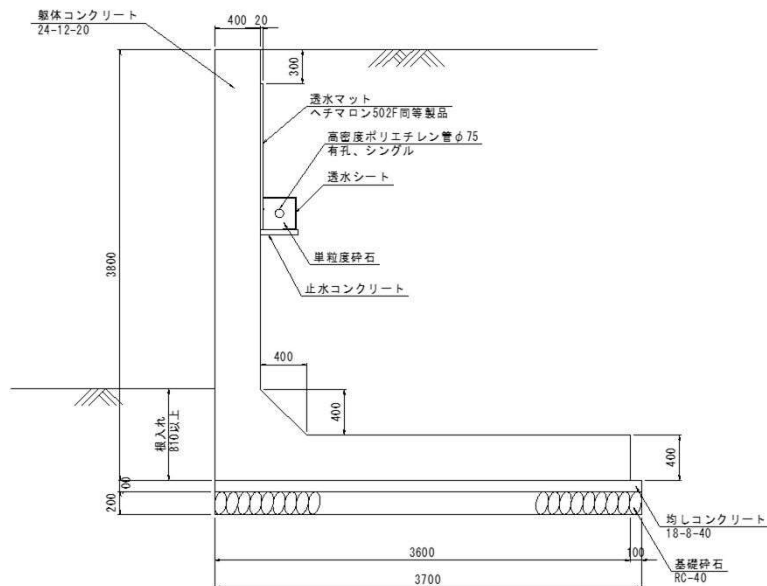
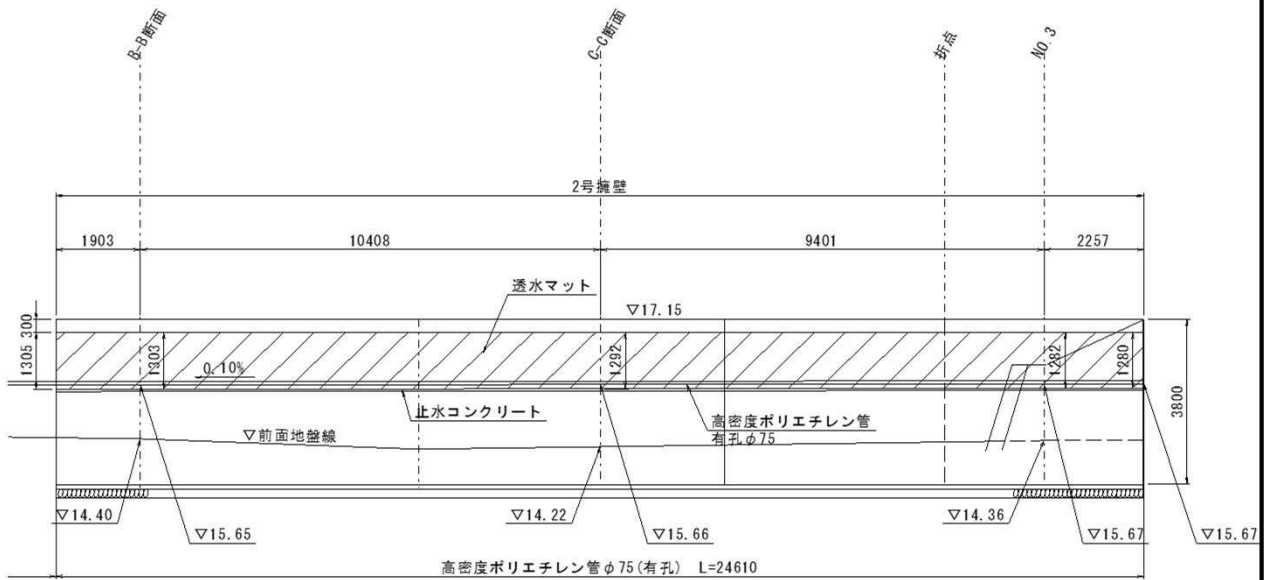
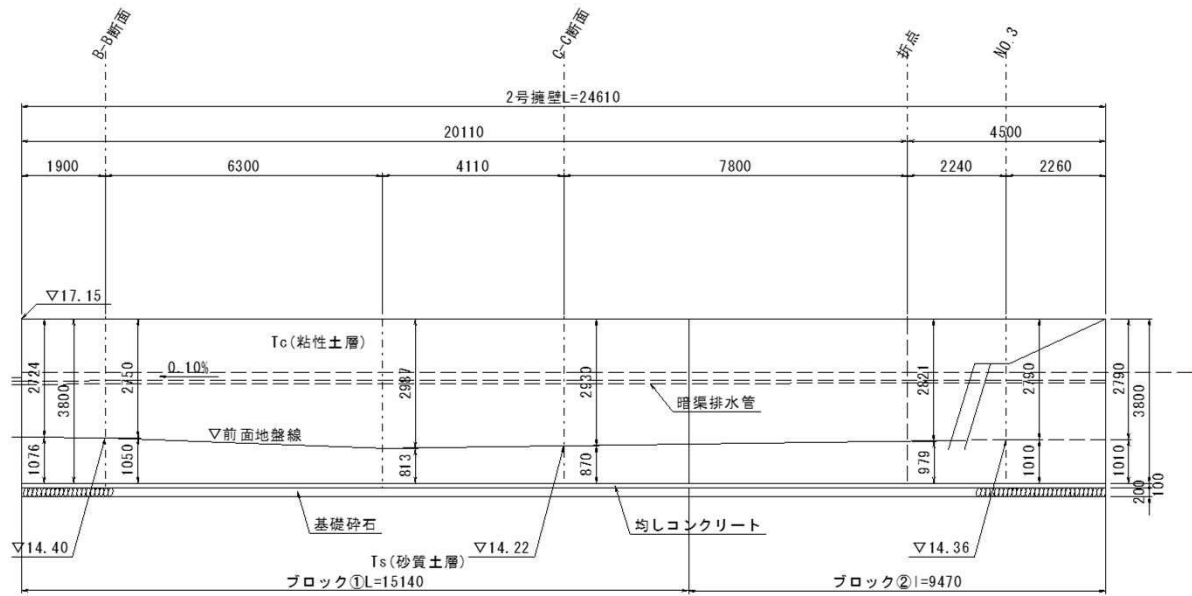
材 料 計 算 書

名 称 : 2号擁壁

名 称	計 算 式	単位	数 量
型枠 鉄筋構造物			
(底版)	$(3.60+20.11+4.50+3.60+1.63+17.24)*0.40+3.60*0.40*2$	m ²	23.2
(堅壁)	$(20.11+4.50)*3.40+(19.79+4.18)*3.00+(3.40*0.4+0.30*0.30/2)*2$	m ²	158.4
(ハンチ)	1:1=斜率1.414 9.59*1.414	m ²	13.6
(隅角補強部)	0.94*3.40	m ²	3.2
	合計	m ²	195.2
コンクリート 24-12-20			
(底版)	78.26*0.40	m ³	31.3
(堅壁)	9.72*3.40	m ³	33.0
(ハンチ)	9.59*0.40/2	m ³	1.92
(隅角補強部)	0.2*3.40	m ³	0.68
	合計	m ³	66.90
均しコンクリート型枠	52.44*0.10	m ²	5.2
均しコンクリート 18-8-40	83.32*0.10	m ³	8.3
基礎碎石 RC-40	83.32*0.20	m ³	16.7
鉄筋工 SD345 D13	(1558+858)/1000	t	2.42
鉄筋工 SD345 D16	(181+116)/1001	t	0.30
鉄筋工 SD345 D19	(1114+684)/1000	t	1.80
足場工	3.80*(20.11+4.50)+3.40*(19.79+4.18)	掛m ²	175.0
透水マット	30.98	m ²	31.0
伸縮目地 t=10	伸縮目地 1箇所 3.40*0.40+0.40*3.60+0.40*0.40/2	m ²	2.9
水抜きパイプ VP φ75	0.40	m	0.4
作業土工	土工にて計上		
床掘 土砂	381.9	m ³	381.9
埋戻 W≧4.0	314.2	m ³	314.2
基面整正	83.32	m ²	83.3

材料計算書

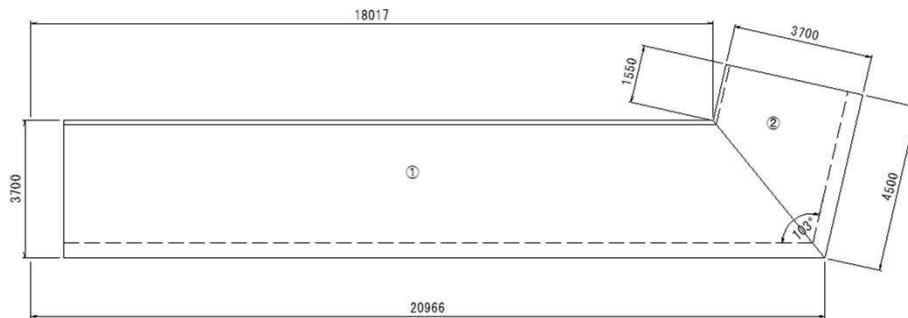
名称 : 2号擁壁



材 料 計 算 書

名 称 : 2号擁壁

基礎砕石、均しコンクリート面積



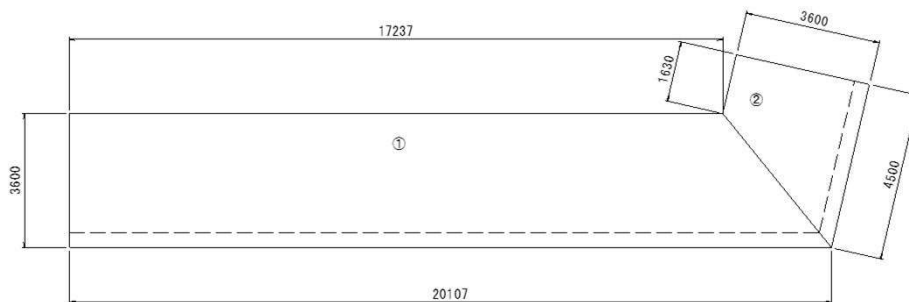
基礎砕石、均しコンクリート面積

$$\begin{aligned} \textcircled{1} & (18.02+20.97) \times 3.70 / 2 & = 72.13 \text{ m}^2 \\ \textcircled{2} & (1.55+4.50) \times 3.70 / 2 & = 11.19 \text{ m}^2 \\ & \text{合計} & = 83.32 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

均しコンクリート型枠

$$3.70+20.97+4.50+3.70+1.55+18.02 = 52.44 \text{ m}$$

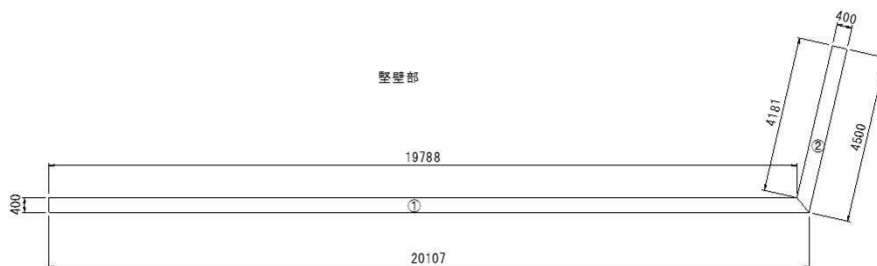
底板部



底板コンクリート面積

$$\begin{aligned} \textcircled{1} & (17.24+20.11) \times 3.60 / 2 & = 67.23 \text{ m}^2 \\ \textcircled{2} & (1.63+4.50) \times 3.60 / 2 & = 11.03 \text{ m}^2 \\ & \text{合計} & = 78.26 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

堅壁部

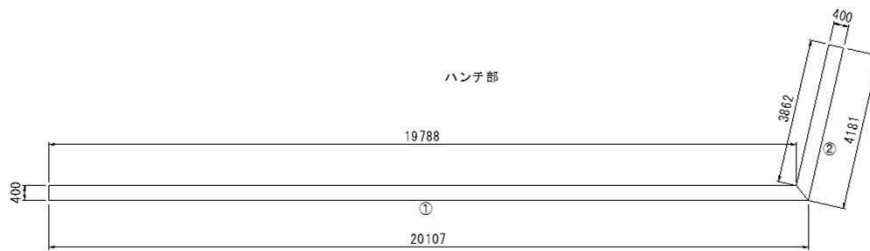


堅壁コンクリート面積

$$\begin{aligned} \textcircled{1} & (19.79+20.11) \times 0.40 / 2 & = 7.98 \text{ m}^2 \\ \textcircled{2} & (4.18+4.50) \times 0.40 / 2 & = 1.74 \text{ m}^2 \\ & \text{合計} & = 9.72 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

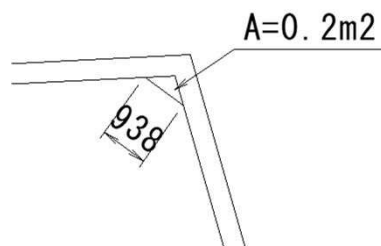
材 料 計 算 書

名 称 : 2号擁壁



ハンチコンクリート面積

$$\begin{aligned} \text{① } & (19.79 + 20.11) \times 0.40 / 2 = 7.98 \text{ m}^2 \\ \text{② } & (4.18 + 3.86) \times 0.40 / 2 = 1.61 \text{ m}^2 \\ \text{合計} & = 9.59 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

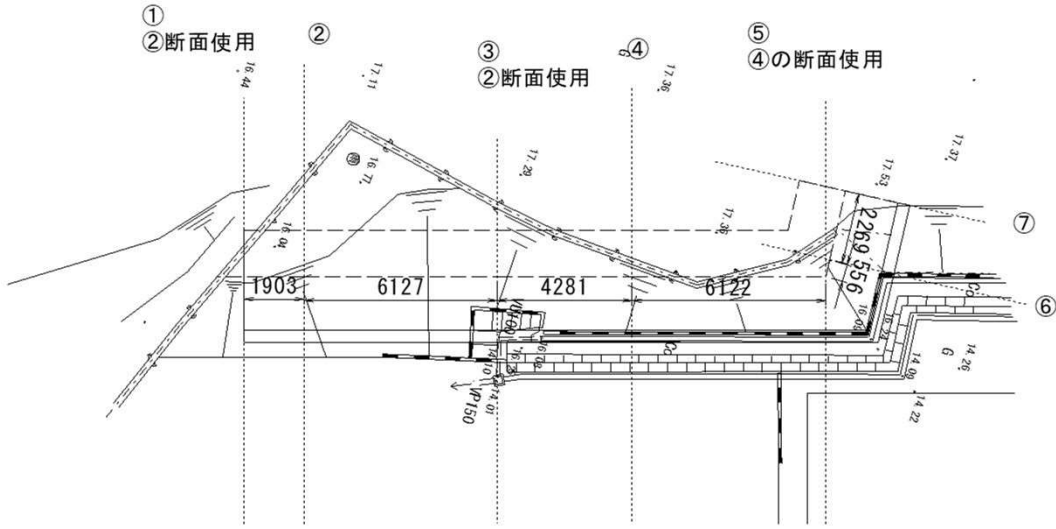


隅部の補強面積

0.2m²

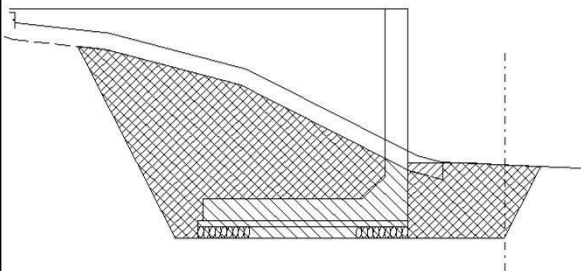
材 料 計 算 書

名 称 : 2号擁壁



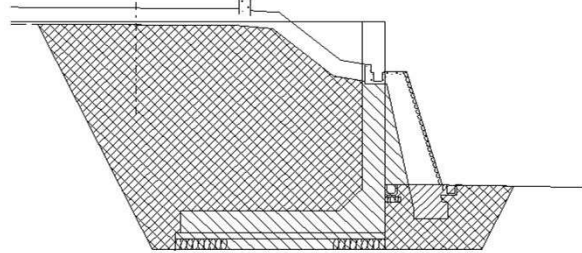
2号擁壁 ②断面図

床 版	14.4 m ²
擁 壁	11.7 m ²
	- m ²
	- m ²



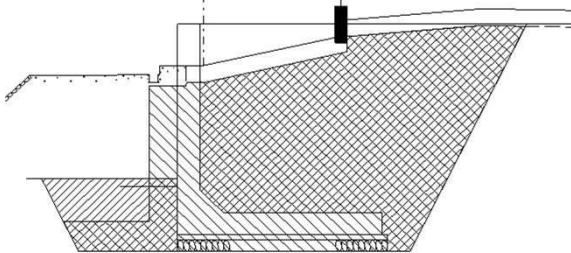
2号擁壁 ④断面図

床 版	21.5 m ²
擁 壁	17.9 m ²
	- m ²
	- m ²



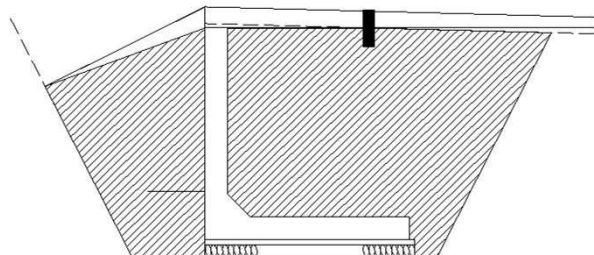
2号擁壁 ⑥断面図

床 版	20.5 m ²
擁 壁	17.4 m ²
	- m ²
	- m ²



2号擁壁 ⑦断面図

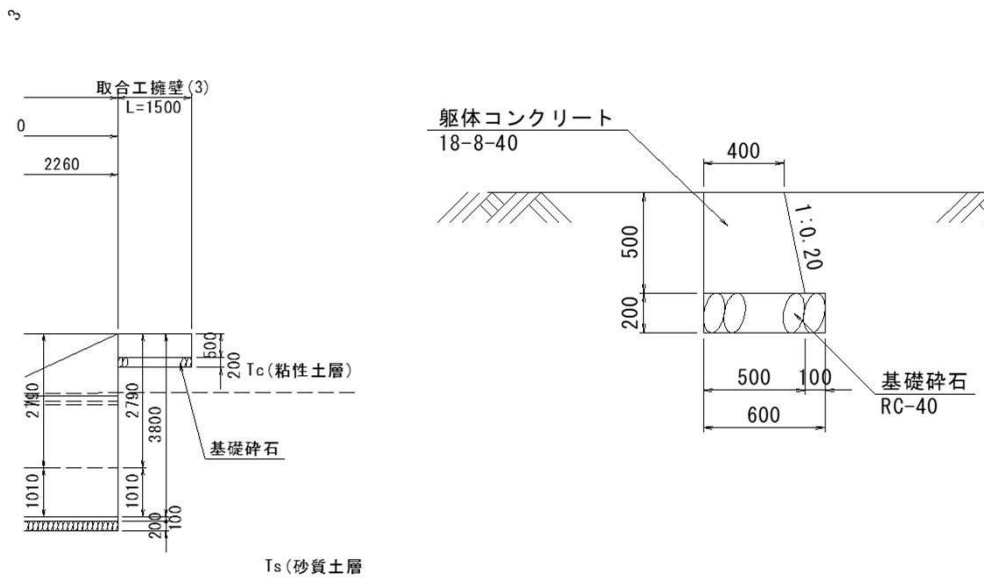
床 版	29.2 m ²
擁 壁	24.7 m ²
	- m ²
	- m ²



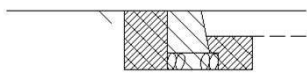
ペーロケによる断面図

材 料 計 算 書

名 称 : 取合工擁壁



床掘		0.9 m ²
埋戻	W ≧ 4.0	- m ²
	1.0 ≦ W < 4.0	- m ²
	W < 1.0	0.5 m ²



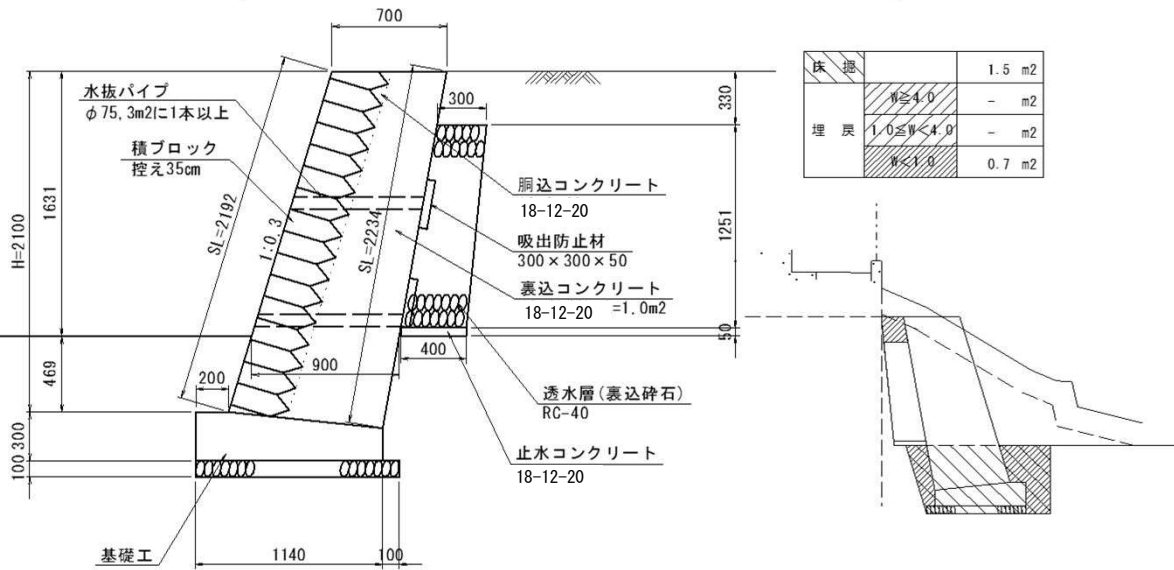
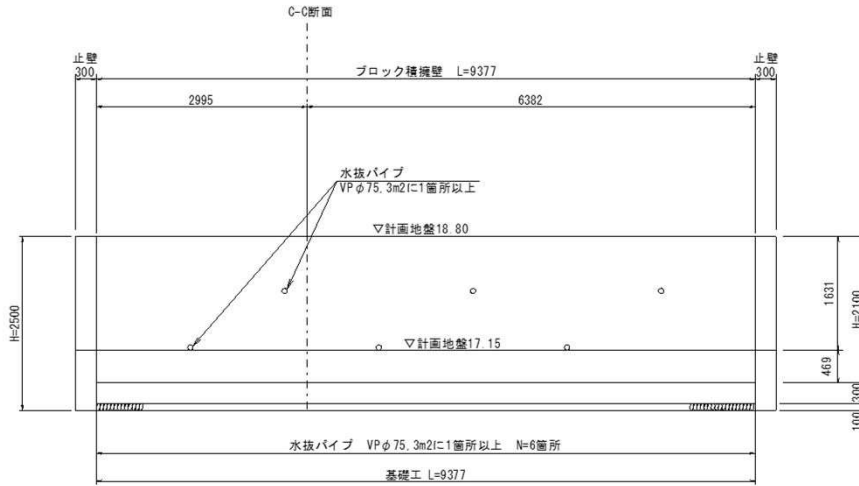
1:0.20=斜率1.020

L=1.50m

名 称	計 算 式	単位	数 量
型枠 無筋構造物	$(0.50+0.50*1.020)*1.50+(0.40+0.50)*0.50/2$	m ²	1.7
コンクリート 18-8-40	$(0.40+0.50)*0.50/2*1.50$	m ³	0.34
基礎碎石 RC-40	$0.60*1.50$	m ²	0.9
伸縮目地 t=10	1箇所 $(0.40+0.50)*0.50/2$	m ²	0.2
作業土工	土工にて計上		
床掘 土砂	$0.9*1.50$	m ³	1.4
埋戻 W < 1.0	$0.5*1.50$	m ³	0.8
基面整正	$0.60*1.50$	m ²	0.9

材 料 計 算 書

名 称 : ブロック積擁壁



1:0.3=斜率1.044

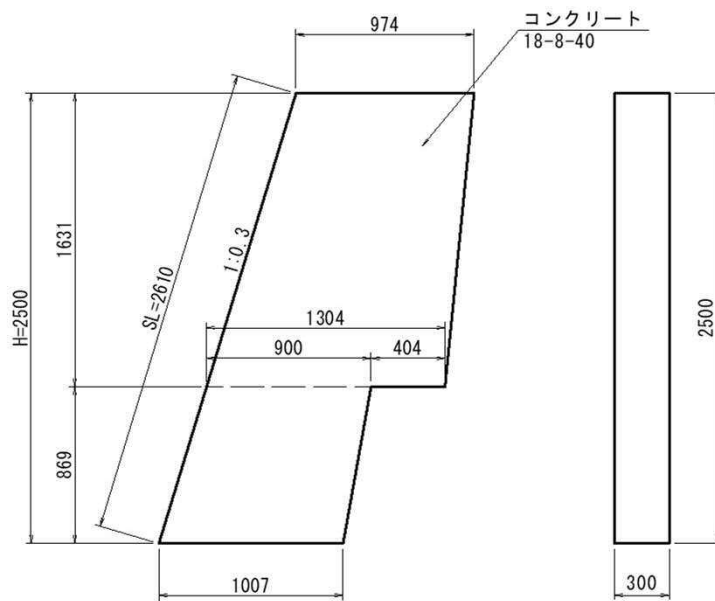
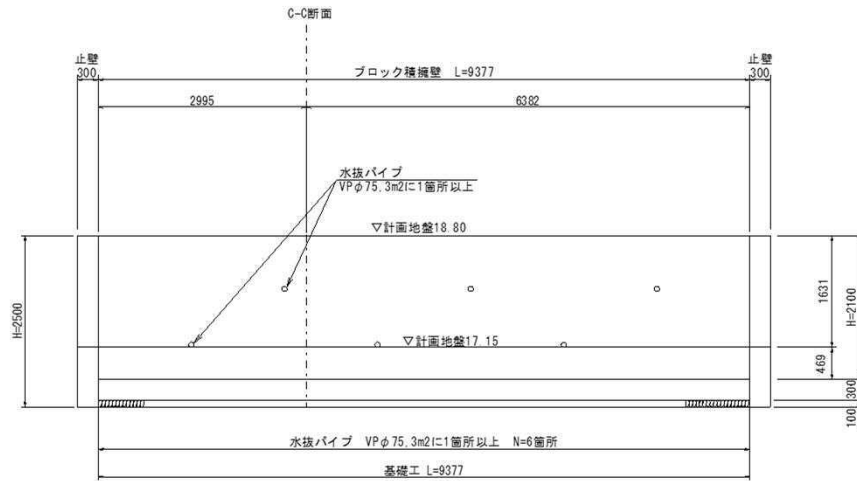
L=9.38m

名 称 : ブロック積擁壁

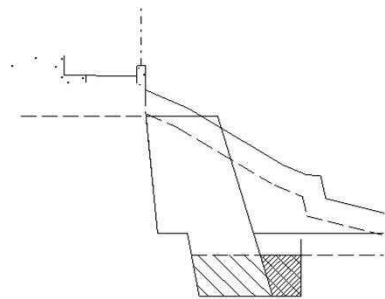
名 称	計 算 式	一 式 当 り	単 位	数 量
積ブロック 控え35cm	2.19*9.38		m ²	20.5
裏込砕石 RC-40	(0.30+0.40)/2*1.25*9.38		m ³	4.1
胴込・裏込コンクリート 18-12-20	20.5*0.22+1.0*9.38		m ³	13.89
止水コンクリート 18-12-20	0.40*0.05*9.38		m ³	0.19
水抜パイプ VP φ 75	1.63*1.044*9.38/3=5.3	N=6 箇所	m	4.8
吸出防止材 300×300×50	0.80*6		枚	6.0
足場工	2.19*9.38		掛m ²	20.5
基礎工			m	9.38
作業土工	土工にて計上			
床掘 土砂	1.5*9.38		m ³	14.1
埋戻 W<1.0	0.7*9.38		m ³	6.6
基面整正	1.24*9.38		m ²	11.6

材 料 計 算 書

名 称 : 止 壁



埋戻	N ≤ 4.0	0.8 m ²
	4.0 < N ≤ 1.0	- m ²
	1.0 ≤ W < 4.0	- m ²
	N < 1.0	0.3 m ²



N=2箇所

名 称	計 算 式	1箇所 当り	単 位	数 量
型枠 無筋構造物	$2.61 \times 0.30 + ((0.97 + 1.30) / 2 \times 1.63 + (0.90 + 1.01) / 2 \times 0.87) \times 2$		m ²	6.1
コンクリート 18-8-40	$((0.97 + 1.30) / 2 \times 1.63 + (0.90 + 1.01) / 2 \times 0.87) \times 0.30$		m ³	0.80
足場工	2.61×0.30		掛m ²	0.8
作業土工	土工にて計上			
床掘 土砂	0.8×0.30		m ³	0.2
埋戻 W < 1.0	0.3×0.30		m ³	0.1
基面整正	1.01×0.30		m ²	0.3

§ 4. 排水構造物工

§ 5. 復旧工

復旧工 集計表(1)

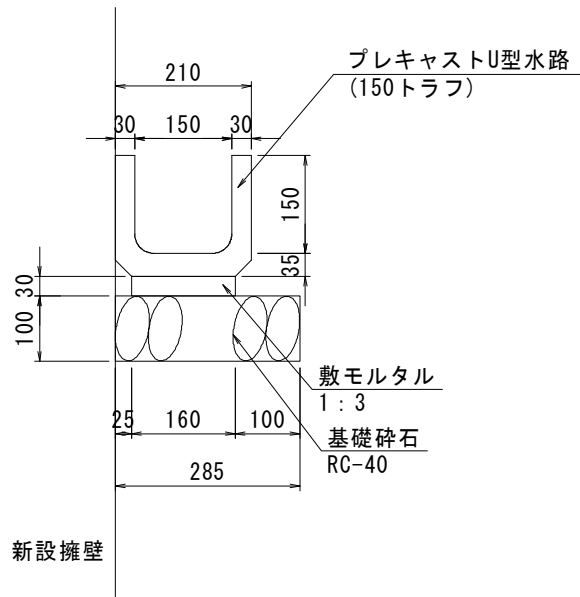
1.0式当たり

名 称	規 格	単 位	合 計	摘 要
プレキャストU型水路	150	m	21.0	
側溝復旧	再利用撤去据付 B300	m	13.8	
側溝蓋復旧	B300	m	13.8	
横断側溝復旧	再利用撤去据付 B300	m	2.2	
柵復旧	B300×L600×H400	箇所	1.0	
排水管	VUφ100	m	0.8	
既設ブロック積擁壁復旧	コンクリートブロック積工 H=2.35m			
積ブロック	控35cm、30kg/個	m ²	8.9	
胴込、裏込コンクリート	18-12-20	m ³	2.8	
裏込碎石	RC-40	m ³	2.0	
コンクリートブロック基礎工		m	3.7	
足場	単管傾斜足場	掛m ²	8.9	
舗装復旧(車道)	表層 1.4m以上3.0m未満 密粒度アスコン(t=5cm)	m ²	30.7	
	路盤 粒調碎石(t=10cm)	m ²	30.7	
舗装復旧(歩道)	表層 1.4未満 透水性アスコン(t=4cm)	m ²	3.0	
	上層路盤 クラッシュアラン(t=10cm)	m ²	3.0	
	下層路盤 フィルター層(t=5cm)	m ²	3.0	
作業土工	(道路土工で計上)			
基面整正		m ²	20.3	

復旧工 作業土工 集計表

種	別	床掘り	埋戻し			基面整正
	規	土砂	$1.0 \leq W < 4.0$	$W < 1.0$	$W \geq 4.0$	
	格	m ³	m ³	m ³	m ³	m ²
プレキャストU型水路(150)						(2.900)
	21.0 m	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1
既設ブロック積擁壁復旧						(2.900)
	1.0 式	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
側溝復旧						(6.500)
	13.8 m	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0
横断側溝復旧						(7.000)
	2.2 m	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
柵復旧						(0.800)
	1.0 箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
合	計	0.0	0.0	0.0	0.0	20.3

プレキャストU型水路(150)



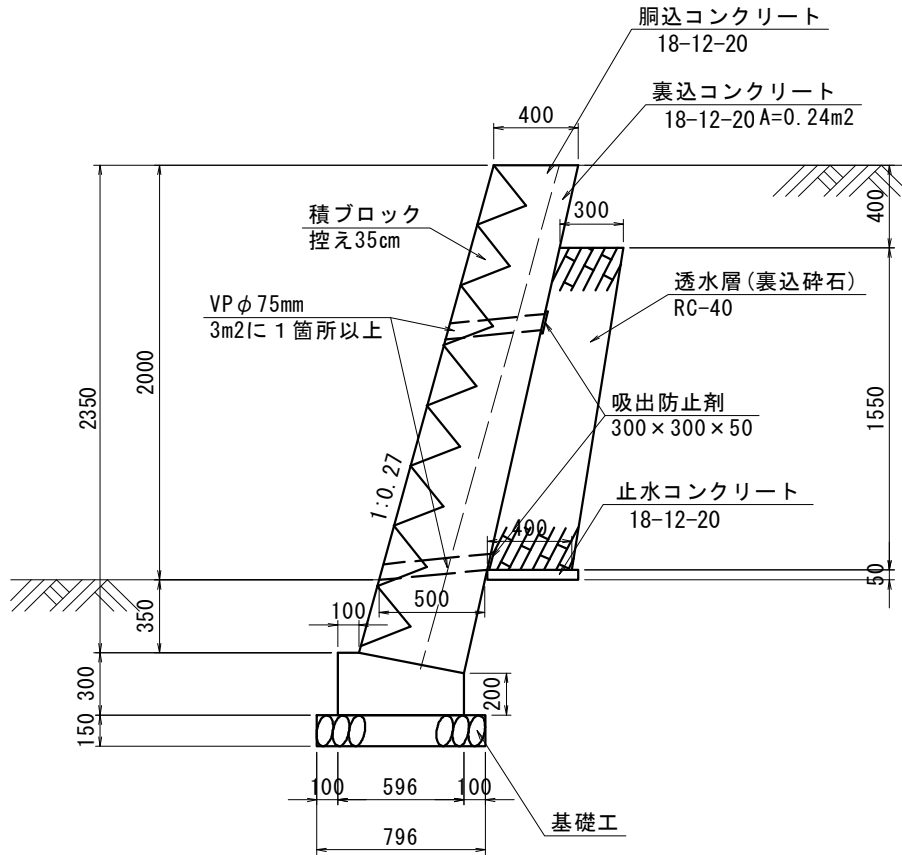
単位数量の計算

10.0m当たり

名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
プレキャストU型水路	150トラフ	$10.00/0.605$	本	16.5
敷モルタル	1:3	$0.16*0.03*10.00$	m ³	0.05
基礎砕石	RC-40	$0.29*0.10*10.00$	m ³	0.29
(作業土工)				
基面整正		$0.29*10.00$	m ²	2.9

材 料 計 算 書

名 称 : 既設ブロック積擁壁復旧

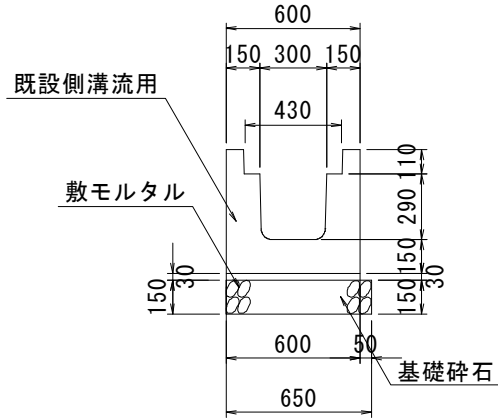


1:0.27=斜率1.035

L=3.67m

名 称	計 算 式	単位	数 量
積ブロック 控え35cm	$2.35 * 1.035 * 3.67$	m ²	8.9
裏込碎石 RC-40	$(0.30 + 0.40) * 1.55 / 2 * 3.67$	m ³	2.0
胴込・裏込コンクリート 18-12-20	$8.9 * 0.22 + 0.24 * 3.67$	m ²	2.84
止水コンクリート 18-12-20	$0.40 * 0.05 * 3.67$	m ³	0.1
水抜きパイプ VP φ75	$2.00 * 1.035 * 3.67 / 3.0 = 2.5$ N=3箇所 $(0.40 + 0.50) / 2 * 3$	m	1.4
足場工	$2.35 * 1.035 * 3.67$	掛m ²	8.9
吸出し防止剤 300×300	3	枚	3.0
基礎工		m	3.67
作業土工			
基面整正	$0.80 * 3.67$	m ²	2.9

側溝復旧

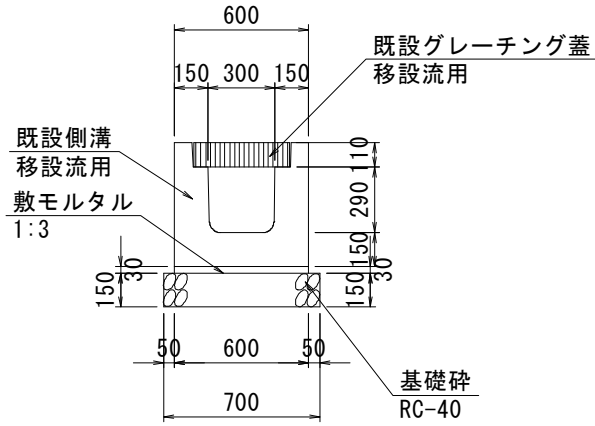


単位数量の計算

10.0m当たり

名称	規格	計 算 式	単位	数 量
再利用撤去据付	プレキャストU型側溝	参考重量(L=1000 472.5kg) 1.0*10.0	m	10.0
敷モルタル	1 : 3	0.60*0.03*10.00	m ³	0.18
基礎碎石	RC-40	0.65*0.15*10.00	m ³	0.98
(作業土工)				
基面整正		0.65*10.00	m ²	6.5

横断側溝復旧

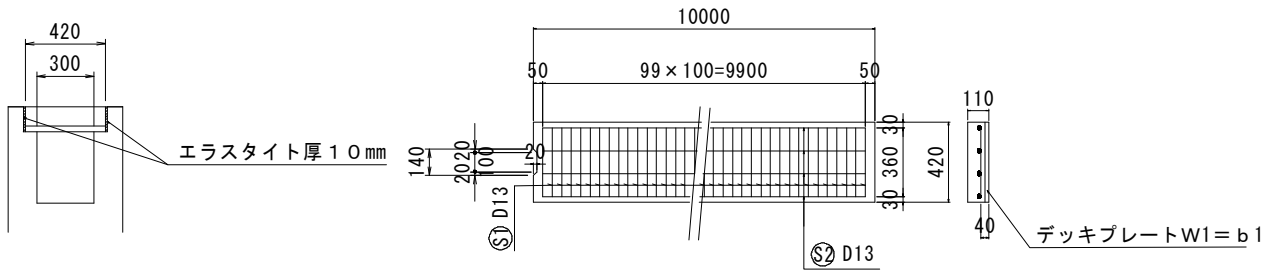


単位数量の計算

10.0m当たり

名称	規格	計 算 式	単位	数 量
再利用撤去据付	プレキャストU型側溝	参考重量(L=1000 472.5kg) 1.0*10.0	m	10.0
敷モルタル	1 : 3	0.60*0.03*10.00	m ³	0.18
基礎碎石	RC-40	0.70*0.15*10.00	m ³	1.05
再利用据付撤去	既設グレーチング蓋流用	10.0	m	10.00
(作業土工)				
基面整正		0.70*10.00	m ²	7.0

側溝蓋復旧



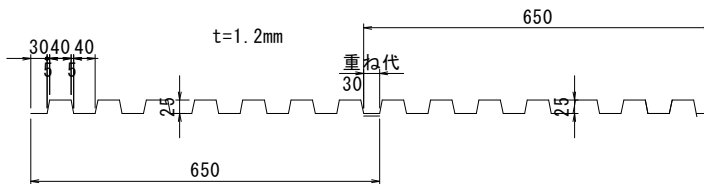
寸法及び材料表

記号	寸法表 (単位mm)			材 料 表 (10m当たり)			鉄 筋 表 (10m当たり)								
	B	b 1	h 1	コンクリート (m ³)	デッキプレート (kg)	エラストイト (m ²)	⓪1				⓪2				質量計 (kg)
							径	長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	
NC130	300	420	110	0.40	60	2.2	D13	360	100	36	D13	9,900	4	39	75

注. 延長650mm未満で作らないこと。せん断力が不足して破損の原因となる。

[現場打仕様]

1. コンクリート 24-12-20 BB
2. 鉄 筋 SD345
3. デッキプレート (通称キーストプレート) 13.60kg/m²
AKD12 (JIS G3352)



[10m当たりの重ね箇所数]

$$10.00\text{m} \div 0.65\text{m} = 15.38 \text{箇所} \Rightarrow 16 \text{箇所}$$

[10m当たりのデッキプレート面積・質量]

(b1=420mmの場合)

$$A = 0.42\text{m} \times 10.00\text{m} + 0.42\text{m} \times 0.03\text{m} \times 16 \text{箇所} = 4.40\text{m}^2$$

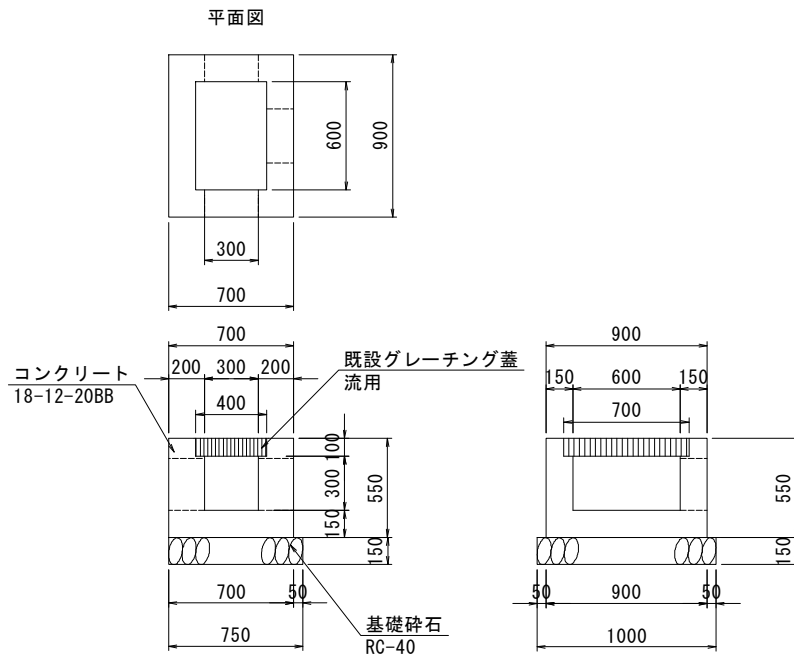
$$W = 4.40\text{m}^2 \times 13.60\text{kg/m}^2 = 59.8\text{kg}$$

単位数量の計算

10.0m当たり

名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
コンクリート	24-12-20	0.40	m ³	0.40
デッキプレート	AKD12	13.60kg/m ² 60.0	kg	60
エラストイト	t=10mm	2.2	m ²	2.2
鉄筋	D13 SD345	36+39	kg	75

柵復旧 B300×L600×H400



単位数量の計算

1.0箇所当たり

名称	規格	計 算 式	単位	数 量
型枠	小型構造物	$(0.90 \times 2 + 0.70 \times 2 + 0.60 \times 2 + 0.30 \times 2) \times 0.55 - 0.3 \times 0.3 \times 2 \times 3$	m ²	2.2
コンクリート	18-12-20	$0.90 \times 0.70 \times 0.55 - 0.60 \times 0.40 \times 0.30 - 0.40 \times 0.70 \times 0.10 - 0.30 \times 0.30 \times 0.20 \times 2 - 0.30 \times 0.30 \times 0.15$	m ³	0.20
再利用据付撤去	既設グレーチング蓋流用	1.0	枚	1.00
基礎砕石	RC-40	$0.75 \times 1.00 \times 0.15$	m ³	0.11
(作業土工)				
基面整正		0.75×1.00	m ²	0.8

§ 6. 撤去工

撤去工 数量集計表

名 称	規 格	算出根拠	単 位	数 量
コンクリート構造物(無筋)				
既設水路(1)		0.3	m3	0.3
既設水路(2)		0.3	m3	0.3
既設ブロック(1)		0.1	m3	0.1
既設ブロック(2)		0.9	m3	0.9
既設ブロック(3)		0.5	m3	0.5
既設擁壁(人力)		11.3	m3	11.3
既設擁壁(機械)		11.2	m3	11.2
既設柵		0.3	m3	0.3
張コンクリート取壊し		2.4	m3	2.4
コンクリート基礎取壊し		3.5	m3	3.5
			合計 m3	30.8
コンクリート構造物(有筋)				
既設水路(3)		0.7	m3	0.7
			合計 m3	0.7
既設フェンス撤去				
		38.1	m	38.1
			合計 m	38.1
VU100撤去				
		2.5	m	2.5
			合計 m	2.5
VP300撤去				
		9.1	m	9.1
			合計 m	9.1
アスファルト舗装切断				
	t = 5cm	12.4 + 5.7	m	18.1
			合計 m	18.1
アスファルト取壊し				
	t=5cm	23.7 + 10.0	m2	33.7
			m2	33.7
AS殻運搬処分				
	AS殻	33.7m2×0.05m	m3	1.6
			合計 m3	1.6

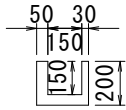
撤去工 延長調書(1)

名 称	規 格		単 位	数 量
コンクリート構造物(無筋)				
既設水路(1)			m	17.2
		合計	m	17.2
既設水路(2)			m	17.3
		合計	m	17.3
既設ブロック(1)			m	4.0
		合計	m	4.0
既設ブロック(2)			m	15.8
		合計	m	15.8
既設ブロック(3)			m	4.0
		合計	m	4.0
既設擁壁(人力)			m	8.7
		合計	m	8.7
既設擁壁(機械)			m	8.6
		合計	m	8.6
既設フェンス			m	38.1
		合計	m	38.1
既設樹			個	1.0
		合計	個	1.0
VP φ 300			m	9.1
		合計	m	9.1
VU φ 100			m	2.5
		合計	m	2.5
既設横断側溝	再利用撤去		m	2.2
		合計	m	2.2
伐木		20.0 + 30.0 = 50.0	m ²	50.0
		合計	m ²	50.0

構造物撤去 数量計算表(1)

構造物取壊し (無筋構造物)

既設水路(1)

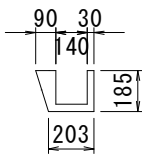


$$A=0.02\text{m}^2$$

$$L = 17.2\text{m}$$

$$V = 0.02 \times 17.2 = 0.3 \text{ m}^3$$

既設水路(2)



$$A=0.02\text{m}^2$$

$$L = 17.3\text{m}$$

$$V = 0.02 \times 17.3 = 0.3 \text{ m}^3$$

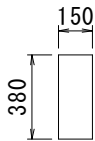
既設ブロック(1)



$$L = 4.0\text{m}$$

$$V = 0.15 \times 0.19 \times 4.0 = 0.1 \text{ m}^3$$

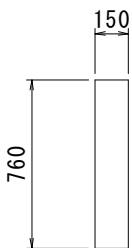
既設ブロック(2)



$$L = 15.8\text{m}$$

$$V = 0.15 \times 0.38 \times 15.8 = 0.9 \text{ m}^3$$

既設ブロック(3)撤去

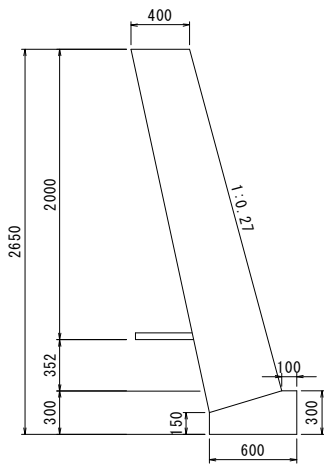


$$L = 4.0\text{m}$$

$$V = 0.15 \times 0.76 \times 4.0 = 0.5 \text{ m}^3$$

構造物撤去 数量計算表(2)

既設擁壁(人力)

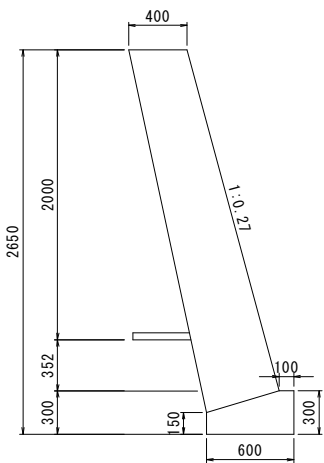


A=1.30m²

$$L = 8.7\text{m}$$

$$V = 1.30 \times 8.7 = 11.3 \text{ m}^3$$

既設擁壁(機械)



A=1.30m²

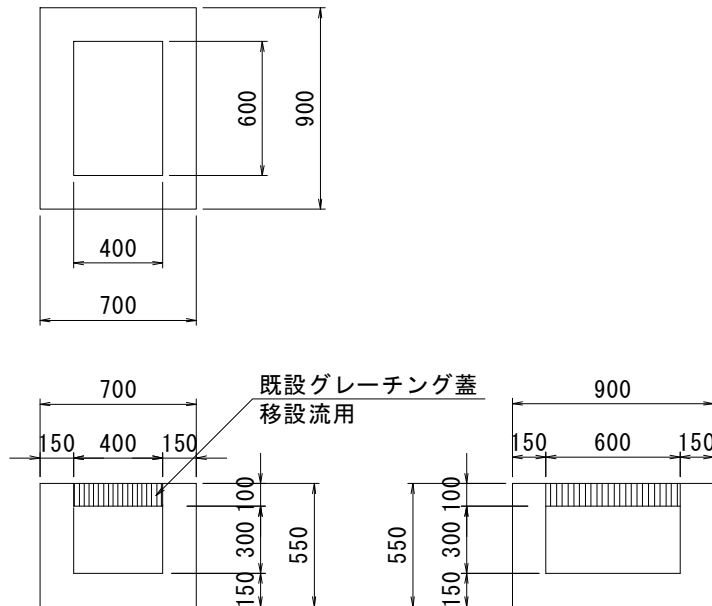
$$L = 8.6\text{m}$$

$$V = 1.30 \times 8.6 = 11.2 \text{ m}^3$$

構造物撤去 数量計算表(3)

既設柵

N = 1箇所



$$V = 0.90 \times 0.70 \times 0.55 - 0.60 \times 0.40 \times 0.40 = 0.3 \text{ m}^3$$

張コンクリート取壊し(t=10cm)

CAD求積より

$$A = 24.1 \text{ m}^2$$

$$V = 24.1 \times 0.1 = 2.4 \text{ m}^3$$

コンクリート基礎(t=45cm)

CAD求積より

$$A = 7.7 \text{ m}^2$$

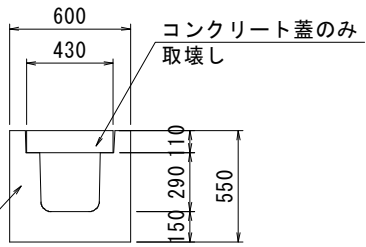
$$V = 7.7 \times 0.45 = 3.5 \text{ m}^3$$

構造物撤去 数量計算表(3)

構造物取壊し (有筋構造物)

既設水路(3)

$$L = 9.8 + 4.0 = 13.8\text{m}$$



既設側溝
移設流用

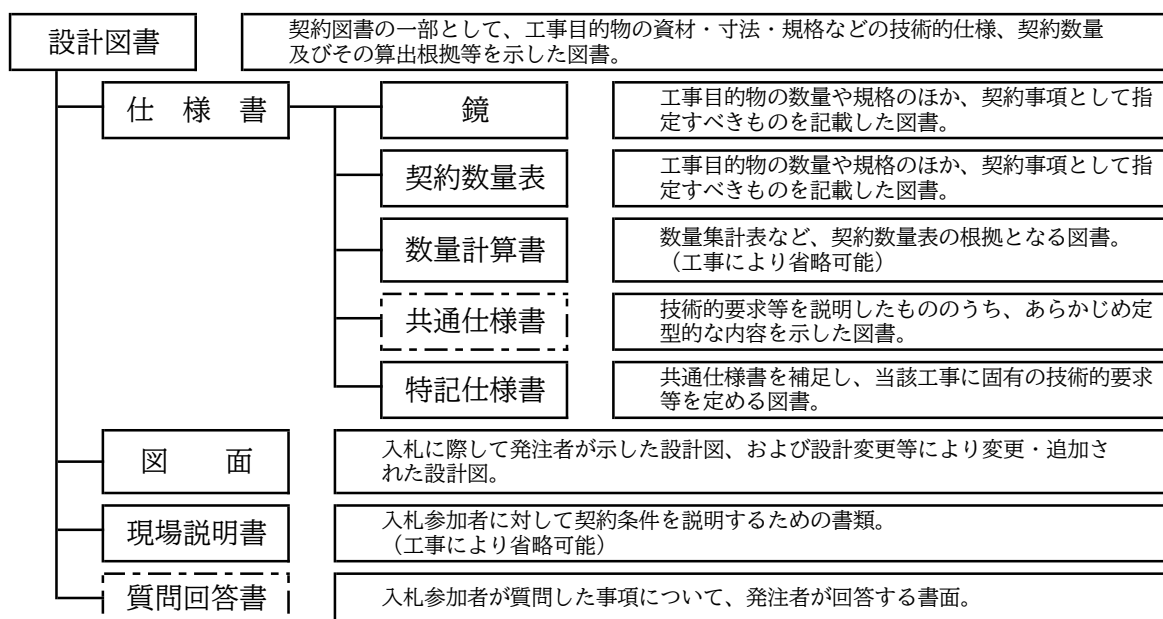
$$V = 0.43 \times 0.11 \times 13.8 = 0.7 \text{ m}^3$$

特記仕様書

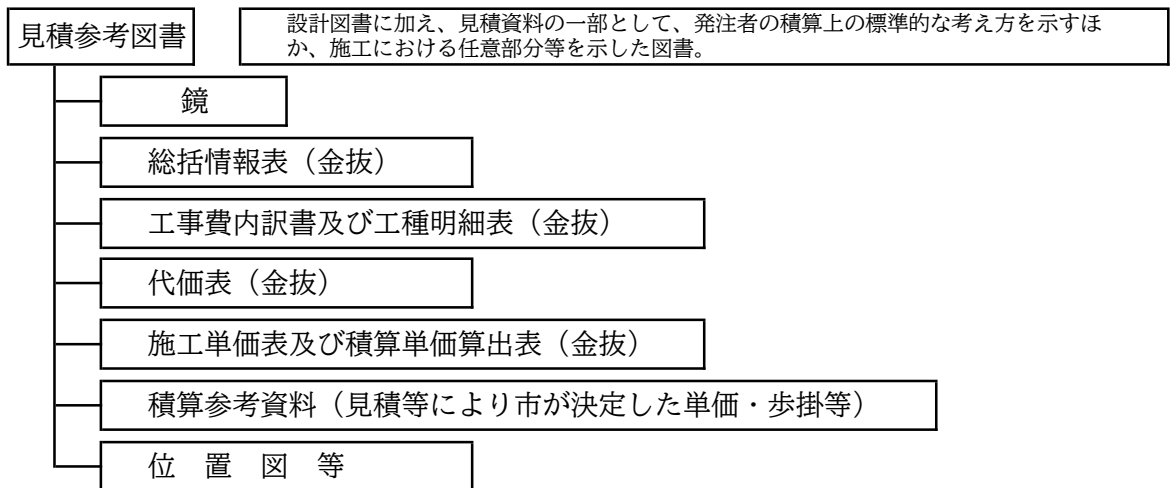
工 事 名 東工区17街区擁壁整地工事
工 事 場 所 明石市大久保町大窪字大畑地内

- ☑ 本工事の工期は令和5年3月31日までとする。
ただし、本件に係る予算ついて、市議会での次年度への繰越承認、国庫補助事業等の繰越承認がされたときは、令和5年9月30日までとする工期延期を行う予定である。
- ☑ 本工事については、他工事との現場代理人の兼務を認める。
- ☑ 本仕様書は、明石市都市局都市整備室区画整理課が発注する『東工区17街区擁壁整地工事』に適用する。
- ☑ 基準図書
 - ☒ 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、次の図書による。
 - ※ 兵庫県県土整備部「土木工事請負必携（平成29年度版）」
 - ※ 兵庫県県土整備部「土木工事共通仕様書（平成29年度版）」
 - ※ 兵庫県県土整備部「土木工事施工管理基準（平成29年度版）」
 - ※ 兵庫県県土整備部「小型構造物標準図集（平成25年12月）」
 - ※ 土木学会監修「コンクリート標準示方書（施工編）」

- ☑ 設計図書
 - ☒ 本工事においては、以下のものを設計図書とする。
 - ☒ 明石市工事請負契約約款 第1条に規定する設計図書
 - ☒ 設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款 第1条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。



※ 破線で示す共通仕様書と質問回答書は案件により添付しない場合がある。



☑ 施工範囲における留意事項

工事内容のうち現場条件等により工事内容を変更する可能性がある。よって、工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合は、監督員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

施工中に設計変更が生じる場合、必ず事前に監督員と文書にて協議すること。協議文書無き事項は設計変更の対象とはしない。

最終の設計変更に伴う資料については、工期の1ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出すること。

☑ 設計図書の照査

受注者は、施工前及び施工中において、自らの費用負担において設計図書の照査を行い、施工条件と工事現場が一致しない等の事実を発見したときは、監督員にその事実が確認できる資料を書面により提出し、確認を求めなければならない。

現地測量は、測量標（仮BM等）、工多用多角点の設置及び用地境界、中心線、縦断、横断等を確認し、設計図書と照査の上、測量結果を着手前に監督員へ提出すること。

☑ 埋蔵文化財・有価物件の処理

工事の施工中に埋蔵文化財等を発見した場合は直ちに作業を一時中止し、その取扱いについて監督員の指示を受けること。

現場において発生した有価物件は、そのままの状態に保ち、監督員の指示により処理するものとする。

☑ 公共基準点（基準点、水準点、街区基準点、街区点等）の有無について確認し、監督員に報告すること。また、公共基準点の周辺にて施工する場合は、「明石市公共基準点管理保全要綱」に基づき適正に申請及び復元等の処理をすること。

☑ 境界標の管理

受注者は工事着手に伴い発注者が現地に設置した境界標を現地立会にて確認を行い引き継ぐものとし、適正に管理すること。

受注者は上記境界標について引照点等により控え点を設置し、工事施工により棄損しても正確に復元できるようにしなければならない。受注者の責により境界標を正確に復元できない場合は発注者の指定する方法により受注者が復元すること。また、施工後に構造物が発注者より引き継いだ境界標または境界線に設置されていないと判明した場合は受注者の負担にてすみやかに是正すること。

☑ 安全確保

☑ 工事施工に伴う諸手続きは、受注者の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。

☑ 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件及び架空線は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さ（高さ）を確認し、保安対策について十分打合せを行い、事故の発生を防止すること。

☑ 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。

- 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占有企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、死管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかなければならない。
- 工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占有物件がある場合には、その処置について予め監督員と打合せを行うものとする。
- 施工にあたっては、第三者に対する安全対策はもとより、作業要領や作業従事者にかかる安全衛生対策、労働災害防止対策に十分配慮するとともに、これら工事中において、降雨等による災害事故が発生しないよう万全の体制を図ること。また、工事現場及びその周辺状況や施設の特性を踏まえて、事故防止対策を講じるよう、施工計画を作成し、工事を実施すること。

- 仮設用水、仮設電気
 関係部署への申請・届出とも費用はすべて受注者の負担とする。

- 工事説明会
 監督員の要請がある場合は協力すること。また決定事項に従い作業を行うこと。

- 工事案内
 地元自治会および近隣住民への工事案内を行うこと。（工事お知らせビラの配布）

- 事故および苦情
 発生した場合は速やかに応対し、処置状況を監督員に連絡すること。

- 段階確認
 受注者は、兵庫県土木工事共通仕様書に定める工種については、事前に立会願を監督員に提出し段階確認を受けなければならない。

- 施工計画書の作成
 工事着手時まで施工計画書を作成し監督員の確認後作業を行うこと。

- 工事カルテの提出
 請負500万円以上の工事は受注・変更（工期・技術者）・完成時に監督員の確認を受け平日10日以内に登録のこと。
 変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。
 後日、「登録内容確認書」を提出すること。

- 身分証明
 受注者の現場代理人、監理技術者、主任技術者は工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社および社印の入った名札を着用するものとする。

<名札の例>

写真 2cm×3cm 程度	監理（主任）技術者 氏名 ○○○○ 工事名 ○○○○○○○○工事 工期 自平成○○年○○月○○日 至平成○○年○○月○○日 会社名 ◇◇建設株式会社	印
---------------------	---	---

- 使用建設機械
 - 低騒音型、低振動型建設機械を使用すること。
 - バックホウ、発動発電機、油圧ユニット、空気圧縮機、ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ、ホイールクレーンについては排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
 - 工事現場において確認できる写真を撮影し、完成書類として提出すること。
 - 使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第700条の22の2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。万一、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。

- 工事関係車輛
 - 夜間駐車及び現場外駐車は行わず適切な管理を行うこと。

- 足場その他
 - 足場及び支保工の安全確認は、チェックリスト等で確認して保管すること。

- 建設副産物
 - 再資源化施設への搬入を要する建設副産物
 - コンクリート塊
 - アスファルト塊
 - 下記の書類を提出すること。
 - 再生資源利用(促進)計画書(実施書)を作成する際、建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、施工計画書に添付すること。
 - 竣工時には書面の他に、電子媒体も提出すること。
 - 建設リサイクル法第11条に基づく通知を行うため、再生資源利用(促進)計画書を建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、監督員に提出すること。

- 発生材の処分地例及び問合先
積算で採用している処分地は以下の通りであるが、処理施設を指定するものではない。

アスファルト塊	(株)NIPPO神戸合材工場	運搬距離 15.7 km
コンクリート塊(有筋)	田口建材(株)	運搬距離 4.0 km
コンクリート塊(無筋)	田口建材(株)	運搬距離 4.0 km
建設発生土(砂質土)	田口建材(株)	運搬距離 4.0 km

- 運搬に際しては、処分地まで飛散しないように留意を行い、直接運搬すること。
- 仮置きを行う場合、保管場所の選定は受注者の責任において行い、保管に要する費用を負担すること。
- 受注者の判断で他処分地を採用した場合でも設計変更の対象とはしない。
- 兵庫県ホームページに記載されている処分地とすること。
- 建設副産物処理計画書を提出して監督員の確認を得ること。
- 処分が終了したら伝票を提出して監督員の確認を得ること。
- 木くずは、産業廃棄物として取り扱い、チップ化等再利用の促進に努めなければならない。伐採木、伐採根等のうち再利用を促進することが困難なものは、施工計画等の策定時に適切な処理先を確保しなければならない。

- 仮設材の運搬
仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。運搬距離については、積算参考条件として明示しているものであり、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更の対象とはしない。

- 履行報告
工事履行報告書(月間)を作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、監督員に提出すること。

- 交通誘導警備員、安全管理、安全教育
 - 安全対策については、交通誘導警備員を計上している。道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認められた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とするが、出来高に合わせた変更は行わない。
 - 標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準(案)以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
 - 交通誘導警備員については、作業時間中(調査・測量時期は除くが試掘調査時は配置)配置すること。なお、現場状況及び関係機関との調整によりこれによりがたい場合は、監督員と別途協議することとし、設計変更の対象とする。また、工事関係車両や歩行者安全通路の適切な管理・誘導を行うこと。昼休みなども交替で休憩をとり安全対策を怠らないこと。
 - 交通誘導警備員の設計計上数量は、下記のとおりとする。

交通誘導警備員A	9人(本工事:9人、付帯工事1:-人)
交通誘導警備員B	15人(本工事:6人、付帯工事1:9人)

交通誘導警備員A

警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第1項第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導警備員B

警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの

- 受注者は下記の書類の何れかを確認後、現地に従事する者の名簿を作成し監督員に提出するものとする。
 - ・交通誘導警備検定合格証（写し）
 - ・警備員指導教育責任者資格者証（写し）
 - ・指定講習修了証明書（写し）
 - ・警備業法施行規則 第二十六条第二項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育（警備業法第二条第一項第二号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上であることを証明する書類
- 全作業員を対象とし、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。なお、工事期間中月1回（半日）以上実施し監督員に報告書を提出するとともに、その実施状況については、工事報告等に記録した資料を提出すること。また、安全教育・研修訓練に要する必要な費用（労務者の日当）は、現場管理費の中に含んでいる。
 - ① 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
 - ② 当該工事内容等の周知徹底
 - ③ 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
 - ④ 当該工事における災害対策訓練
 - ⑤ 当該工事現場で予想される事故対策
 - ⑥ その他、安全・訓練等として必要な事項
- 各工事中のすりつけ及び段差表示、夜間照明等安全対策は、特に徹底すること。
- 工事中の仮区画線の明示・工事予告看板の設置も徹底すること。
- 掲示物
以下の項目については、工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示すること。
 - 建設業許可の標識掲示
 - 施工体系図の掲示
 - 建設業退職金共済制度適用事業主工事現場の標識掲示（掛金収納書の提出要）
 - 労災保険関係成立票の掲示
 - 緊急連絡体制の掲示
- 緊急時の連絡体制の作成
年末年始、夏期休暇等により長期間現場の作業を休止する場合は、事前に緊急時の連絡体制についての説明書を作成し、監督員に提出すること。
また、大雨時及び台風上陸予定時も上記と同様の扱いとする。
- 工程管理
工程管理については計画工程に基づき実施工程、出来高曲線について管理すること。
- 写真管理
工事写真の管理については、写真管理基準（土木工事施工管理基準）に準じるものとし、デジタル写真で提出する場合は、デジタル写真管理情報基準（案）に準じること。
- 品質管理
 - コンクリート工場、水セメント比、少量の打設、二次製品
 - （適）マーク取得工場に限定する。
鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下とする。
 - 再生切込碎石、粒調碎石の修正CBR値
30%以上、80%以上とする。
 - 境界ブロック
下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリートにより製作された製品とする。

☑ 現場密度試験

舗装工、路盤工の『現場密度の測定』の試験は、1,000㎡につき1個とし、施工面積が2,000㎡未満の場合の規格値はX3の場合の規格値とする。施工面積が500㎡未満においては、実績や定期試験で得られている基準密度の試験結果を提出することにより、『現場密度の測定』の試験を省略できるものとする。ただし、道路管理者および監督員の指示による場合は試験を実施すること。

☑ 舗装復旧

☑ 路盤での交通開放は行わないものとし、本復旧が不可能な場合は監督員と協議すること。

☑ 地域への配慮

☑ 本工事区域は一般家屋及び店舗が建ち並ぶ区域のため、低騒音、低振動、排出ガス対策等を施した建設機械を使用するとともに、迂回路対策等を適切に行うこと。

☑ ダンプトラックの過積載や積みこぼしのないことは勿論のこと、作業終了時における清掃も怠らないようにすること。

☑ 官民境界付近での施工

☑ 公道と民地の境界が明確でない箇所について、本工事の施工により民地側に影響を与える恐れがある場合、あらかじめ所有者の承諾を得たうえで工事をおこなうこと。また、工事終了時に所有者の承諾のもと、復旧を行うこと。

☑ 完成図書等

☑ 発注用のCADデータを貸与するので完成図をCADデータで提出すること。

CADデータは、AutoCAD形式（拡張子：dwg）にて貸与する。

CADデータの変換が必要な場合は、受注者の責において対応すること。

☑ 工事写真においてダイジェスト版を各工種毎に2部整理して別綴で提出すること。

☑ 保存バインダーや保存箱は、金属金具等を使用していない可燃性のものとする。

☑ その他特記事項

☑ 本工事には隣接家屋と近接する擁壁の施工が含まれている。

施工方法や防護方法等について十分に注意の上施工するものとし、事前・事後調査を行い、報告すること。

☑ 1号擁壁(2)における掘削の施工方法については、前面道路の地下埋設物状況等、現地状況を確認の上決定するものとする。

なお、協議の上必要な場合は設計変更の対象とする。

☑ 駐車場である隣接地(17街区1-3-1、2-1画地)との境界に擁壁を施工する際は、一時的に仮駐車場を設ける必要がある。

事前に所有者と工程や仮駐車場位置等について調整の上、施工すること。

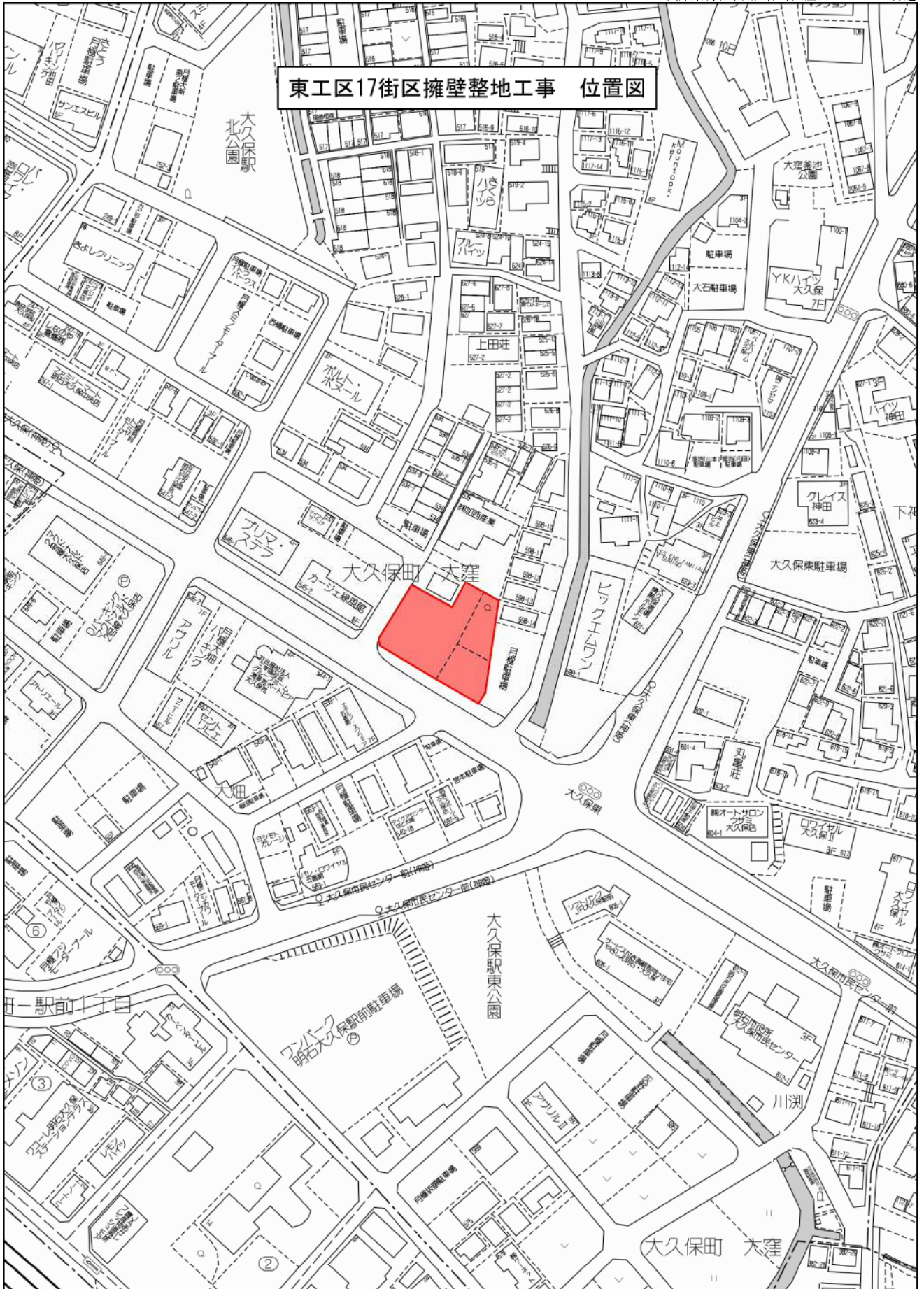
☑ 地盤の平板載荷試験を計上している。

設計条件との照査を行うため、試験により地盤の支持力を確認の上、報告すること。

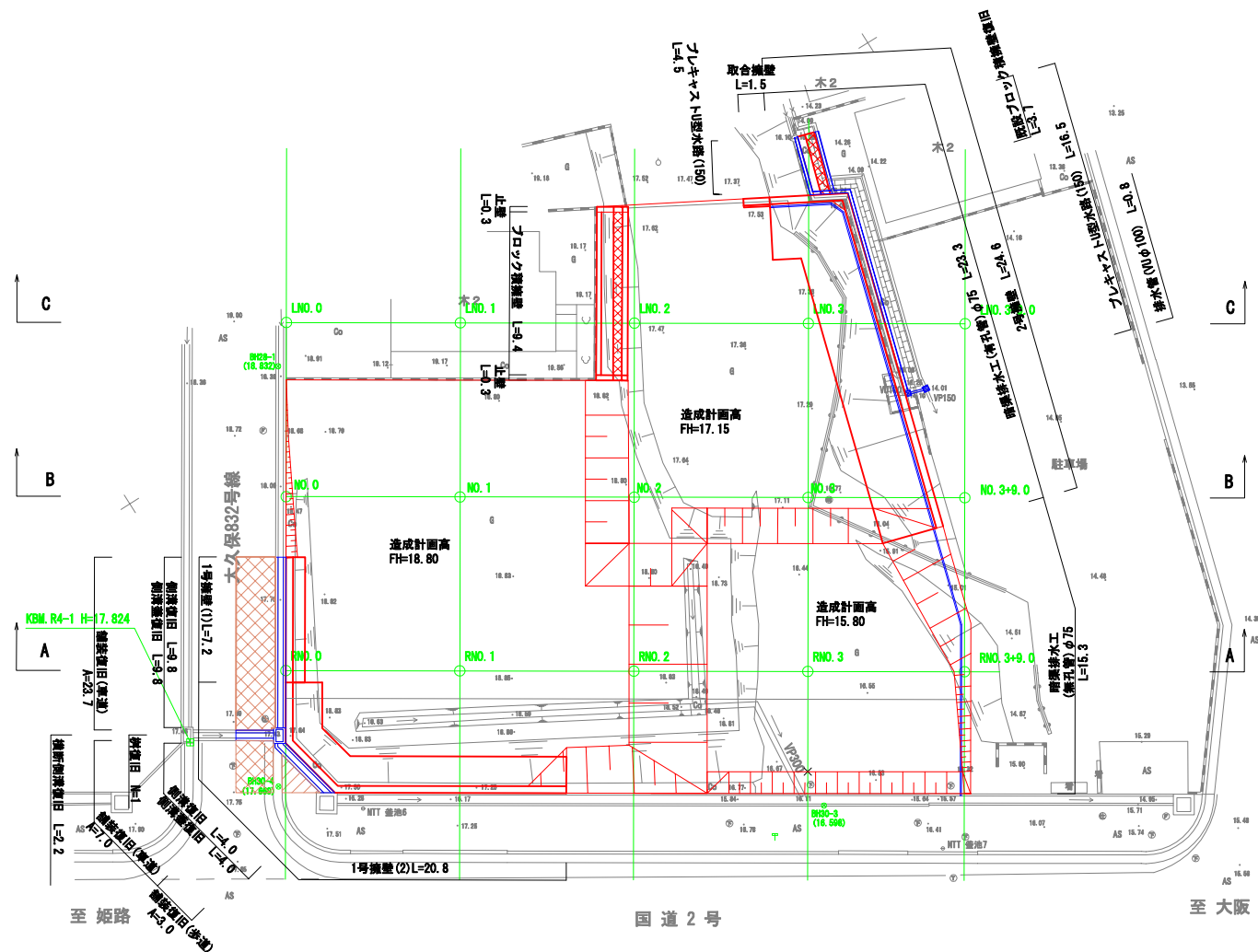
☑ 支障木の伐採を計上している。

対象となる支障木については、監督員と立会により決定すること。

東工区17街区擁壁整地工事 位置図



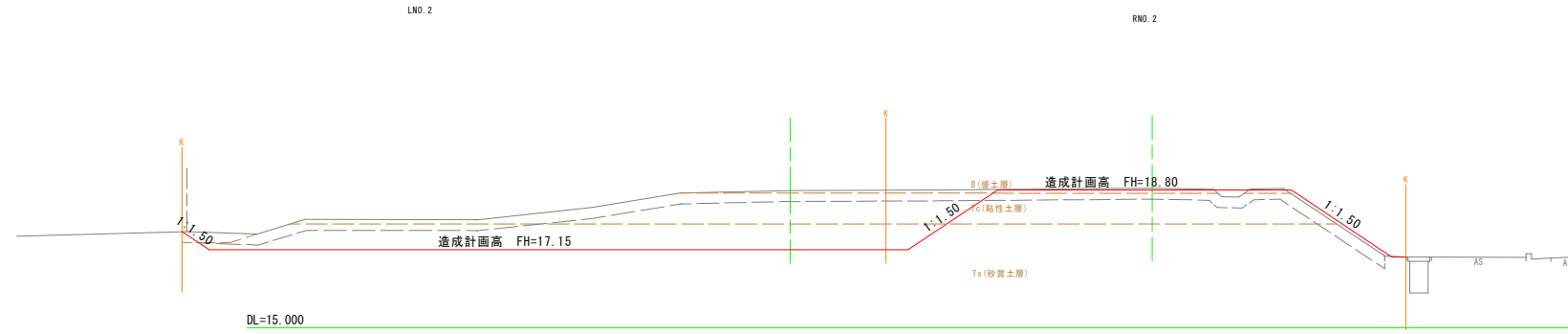
計画平面図



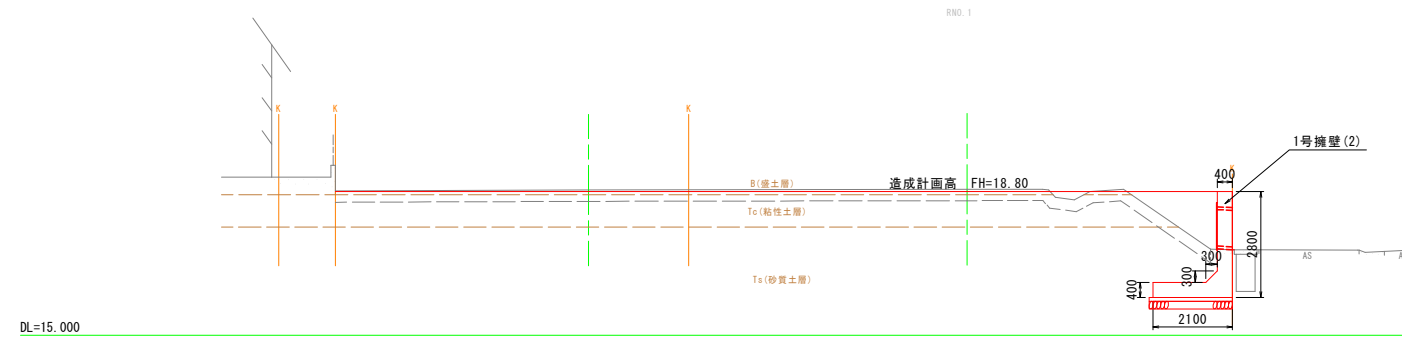
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	計画平面図		
縮尺	S=1:200	図番	1 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

横断図(1)

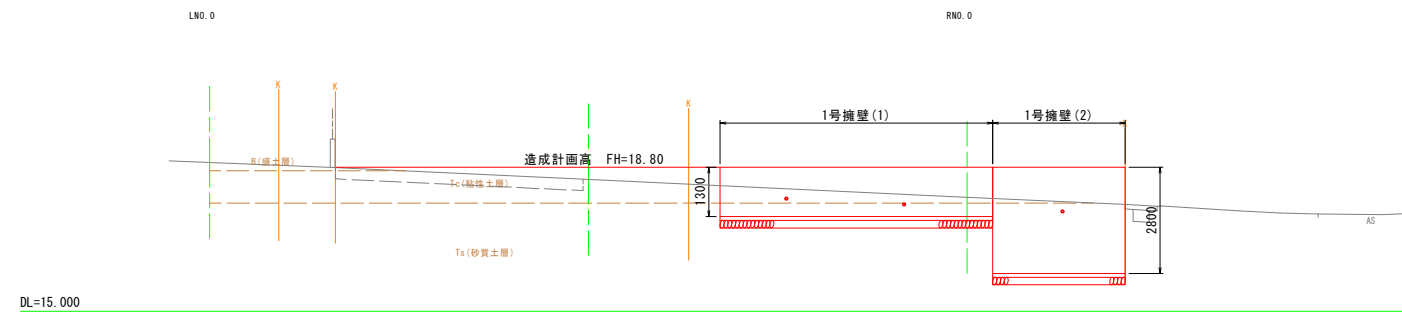
NO. 2
GH=18.79
FH=



NO. 1
GH=18.84
FH=



NO. 0
GH=18.48
FH=

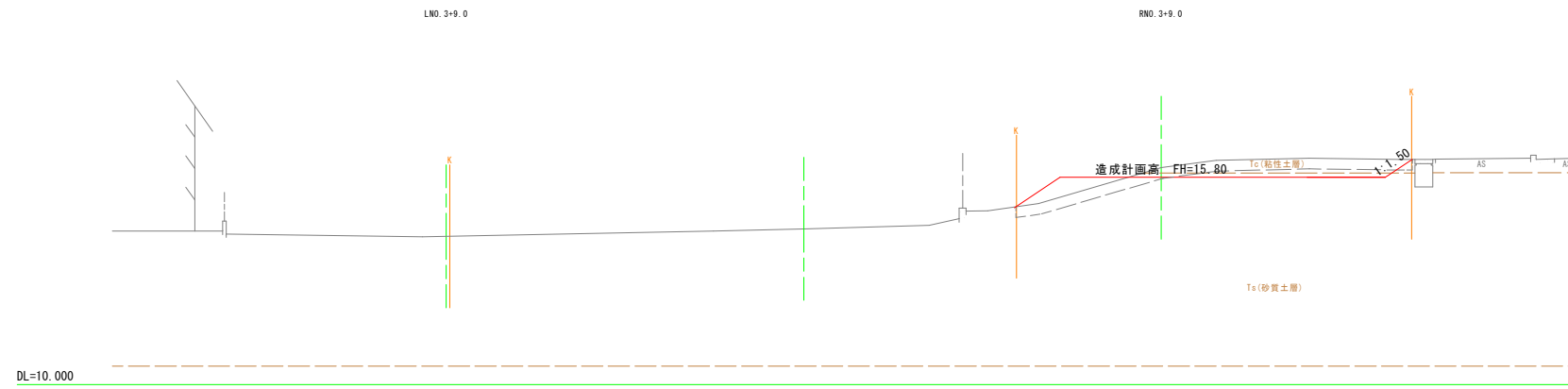


(1) NO. 0~NO. 2

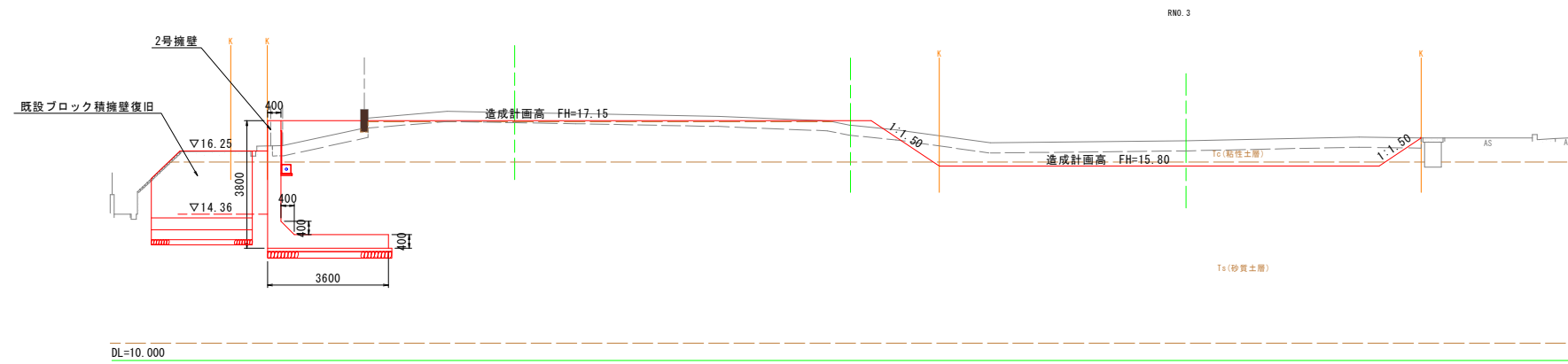
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	横断図(1)		
縮尺	S=1:100	図番	2 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

横断図(2)

NO. 3+9.0
GH=14.36
FH=



NO. 3
GH=17.01
FH=

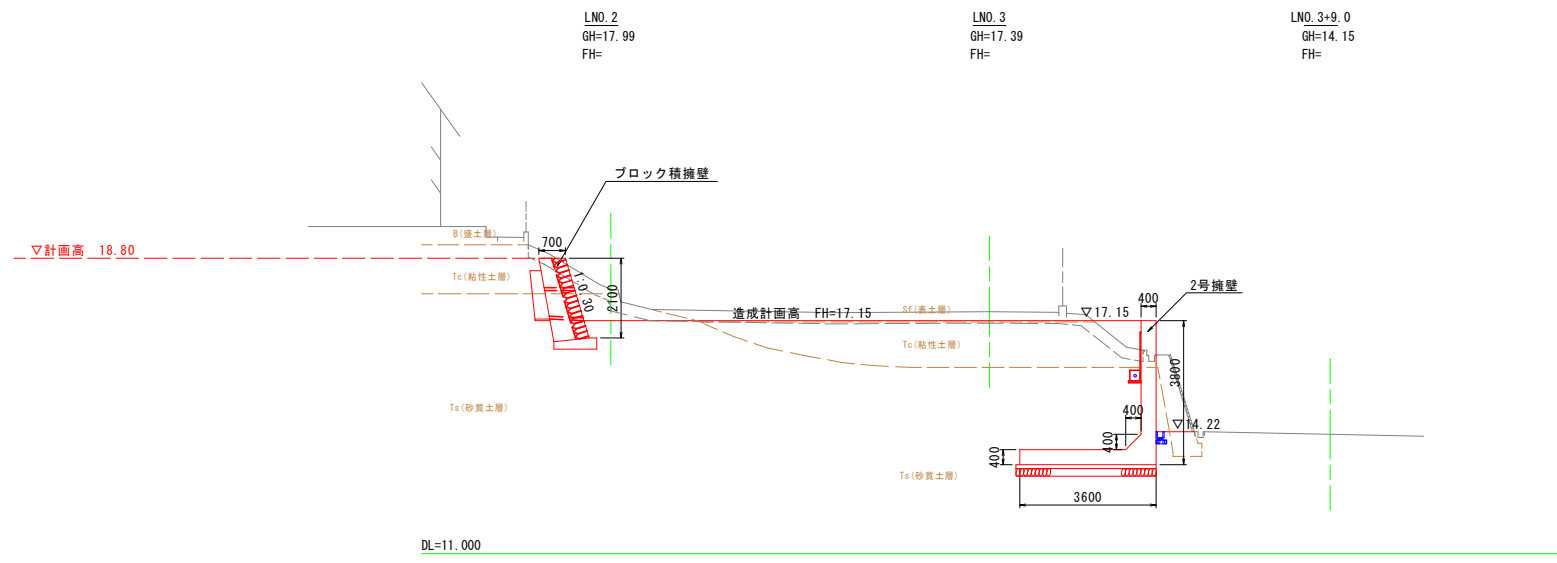


(2)NO. 3, NO. 3+9.0

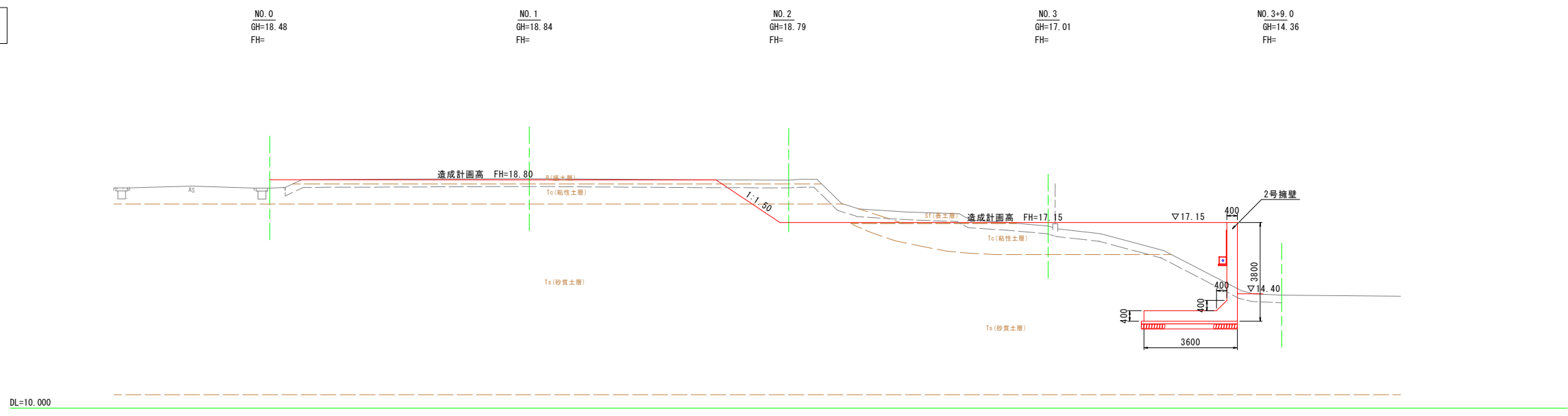
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	横断図(2)		
縮尺	S=1:100	図番	3 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

横断図(3)

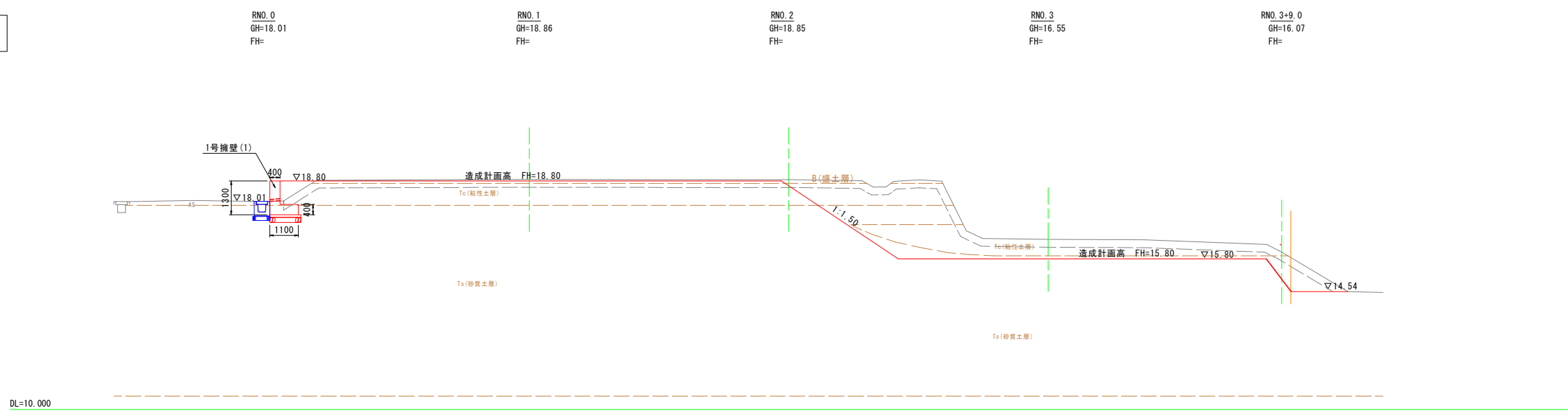
C断面



B断面



A断面

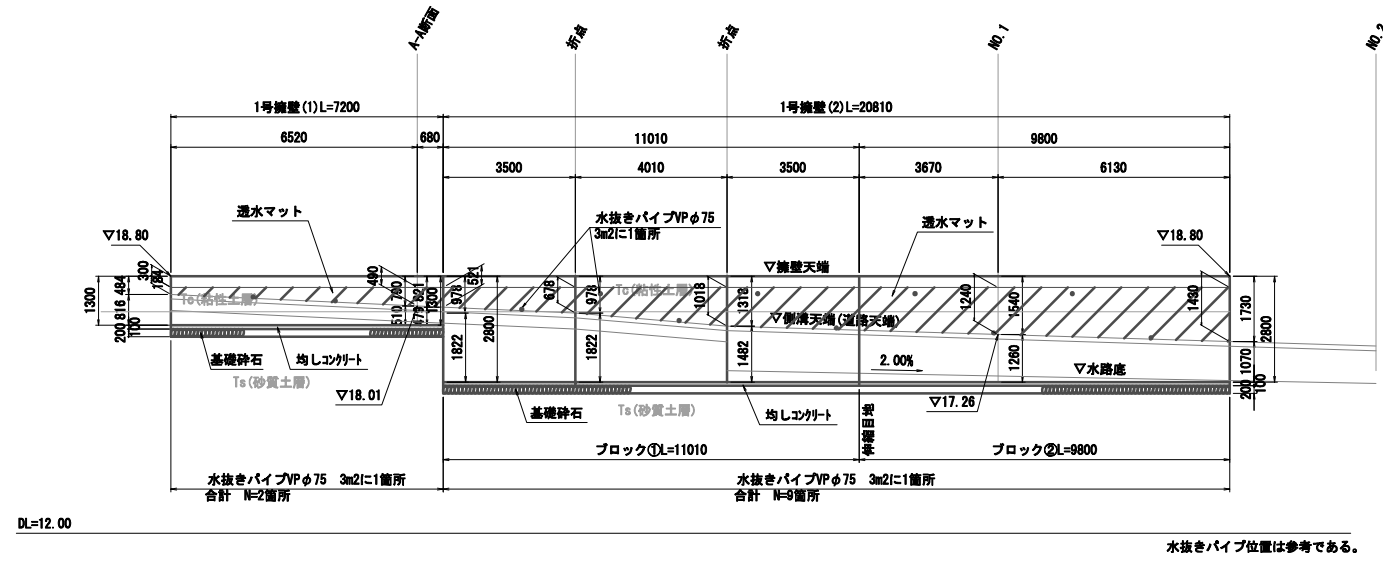


(3) 東西方向

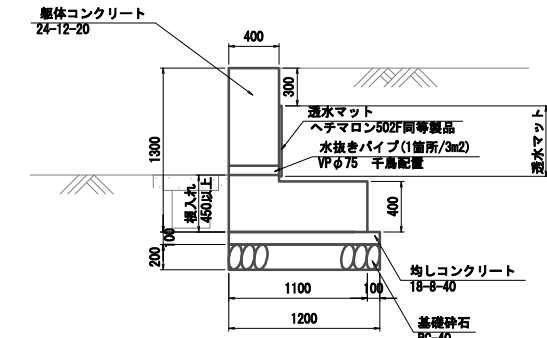
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	横断図(3)(縦断方向)		
縮尺	S=1:100	図番	4 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

擁壁工詳細図(1)

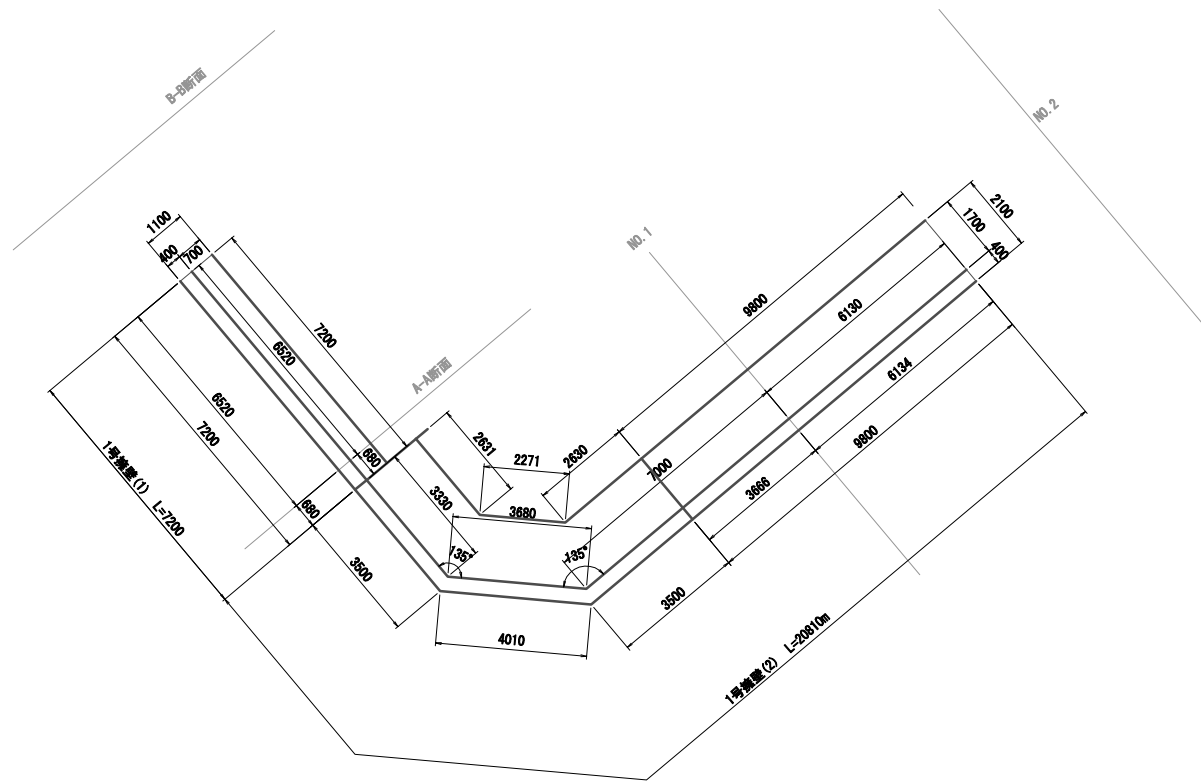
1号擁壁 展開図 S=1:100



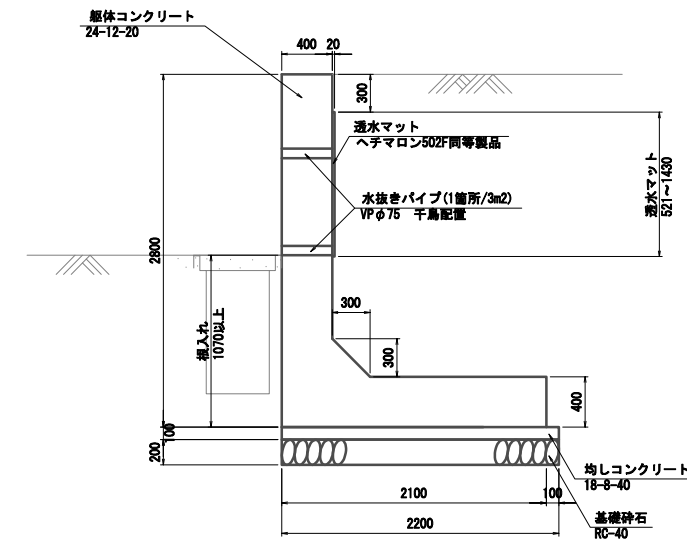
1号擁壁(1)標準図 S=1:30



1号擁壁 平面図 S=1:100



1号擁壁(2)標準図 S=1:30

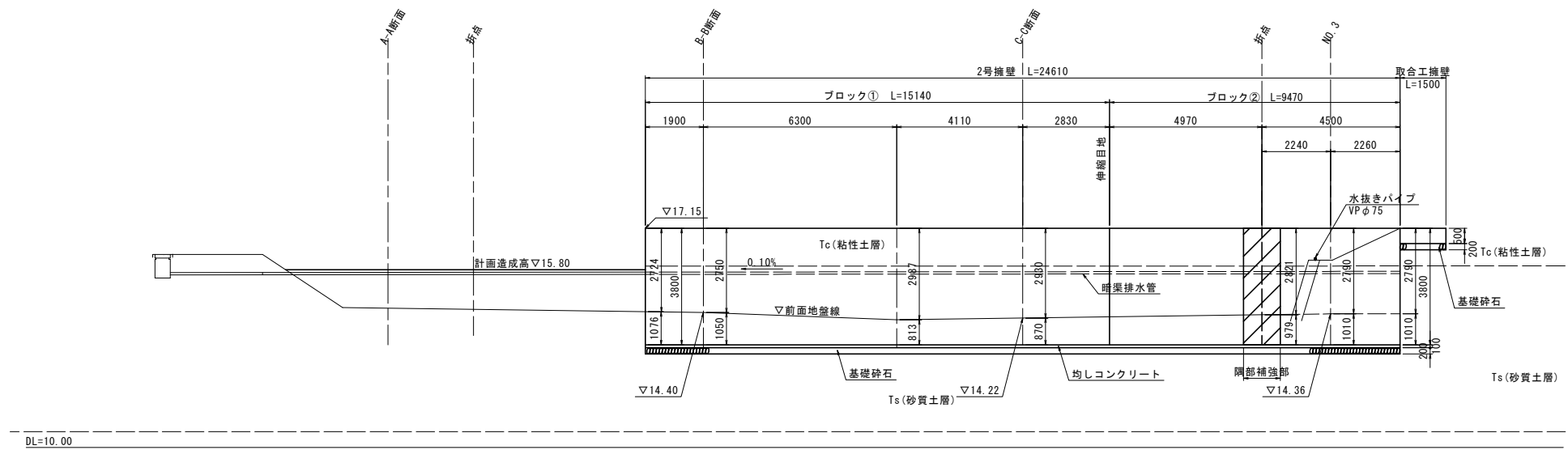


展開しについては、転圧機械等で30cmごとに転圧する。

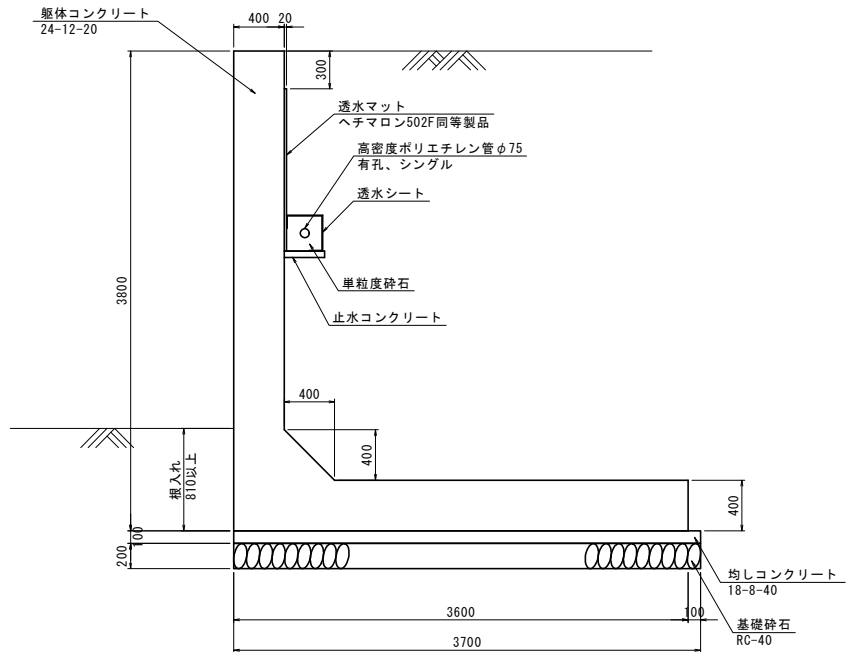
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	擁壁工詳細図(1)		
縮尺	S=1:100	図番	5 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

擁壁工詳細図(2)

2号擁壁 展開図 S=1:100



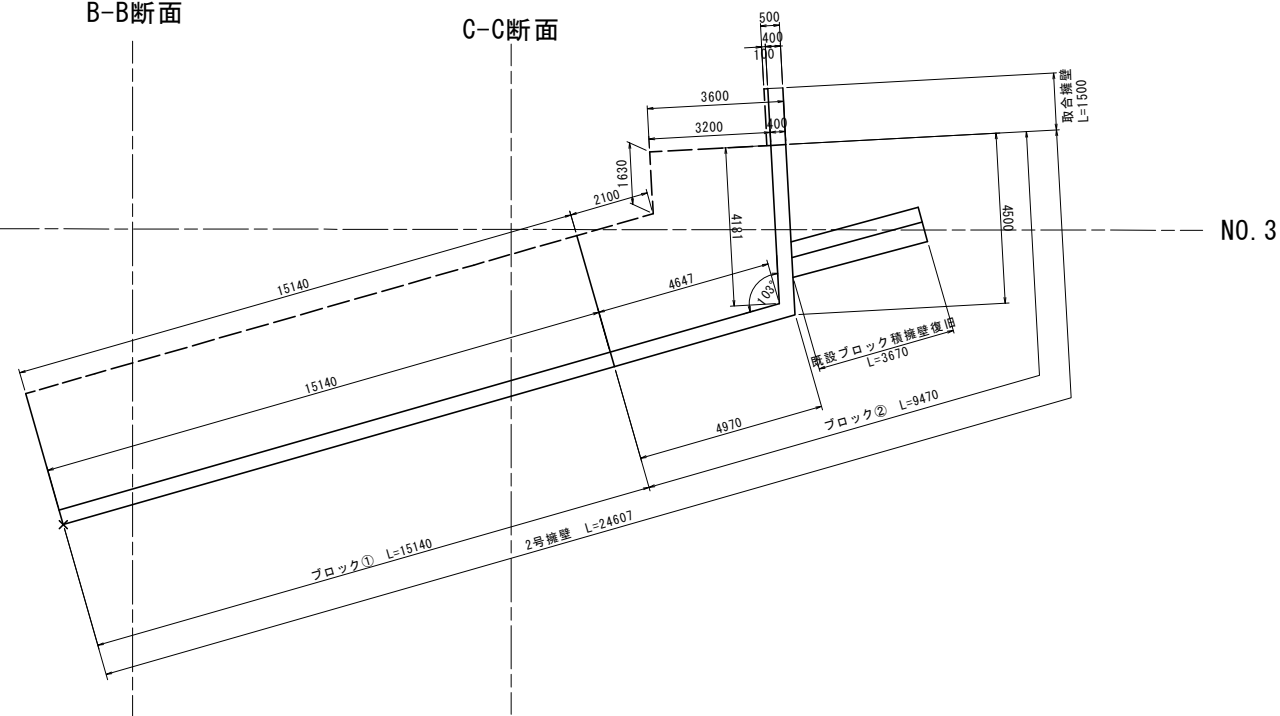
2号擁壁標準図 S=1:30



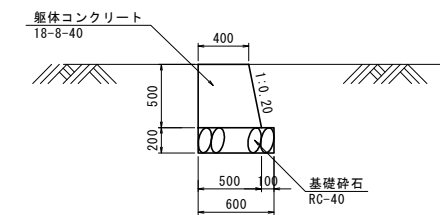
A-A断面

B-B断面

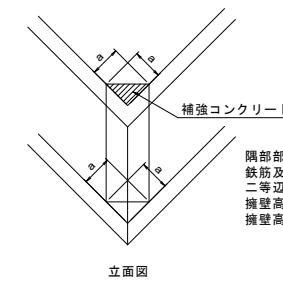
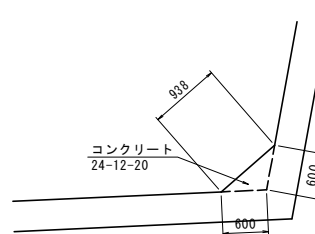
C-C断面



取合擁壁 S=1:30



隅部補強 詳細図 S=1:50



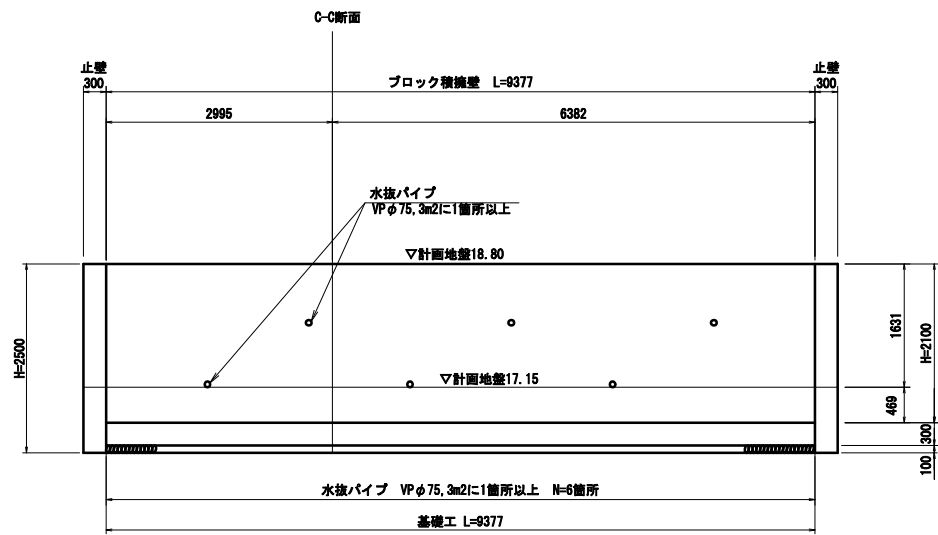
隅部部の補強部は、隅角をはさむ二等辺三角形の部分に鉄筋及びコンクリートで補強する。
二等辺の一辺の長さは、擁壁高3m以下 a=50cmとする。
擁壁高3mを超える a=60cmとする。

埋戻しについては、転圧機械等で30cmごとに転圧する。

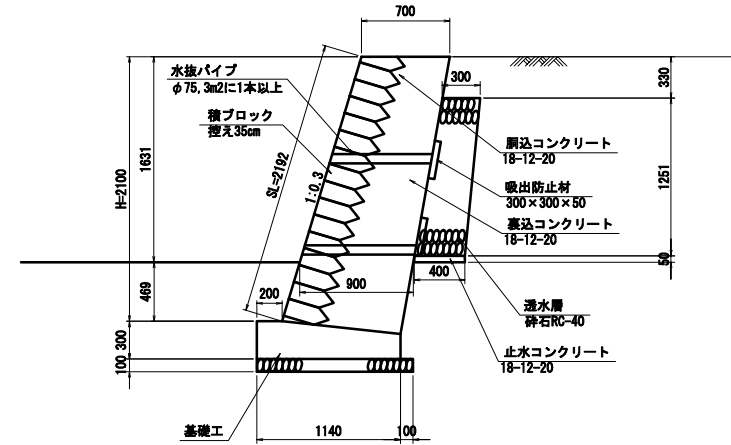
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	擁壁工詳細図(2)		
縮尺	S=1:100	図番	6 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

擁壁工詳細図(3)

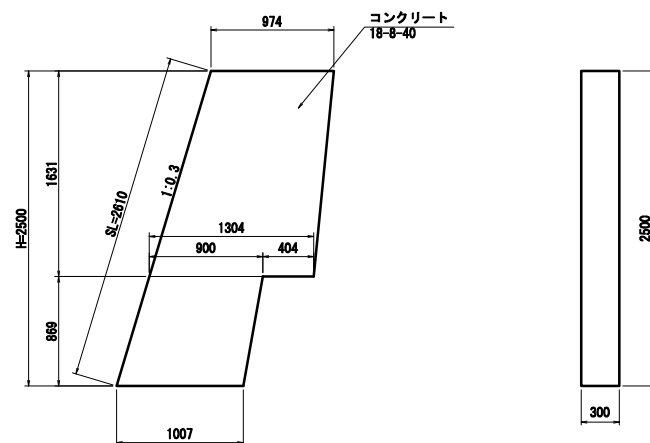
ブロック積擁壁 展開図 S=1:50



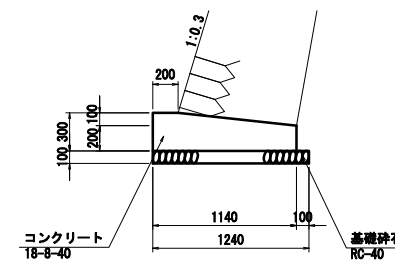
ブロック積擁壁 S=1:30



止壁 S=1:30



基礎工 S=1:30

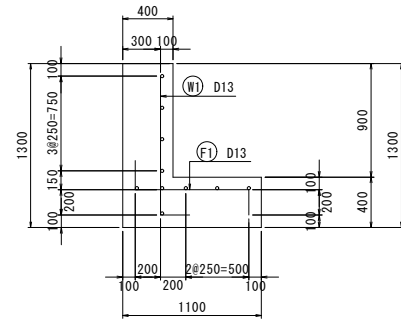


埋戻しについては、転圧機械等で30cmごとに転圧する。

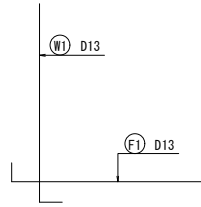
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	擁壁工詳細図(3)		
縮尺	S=1:100	図番	7 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備課		

1号擁壁(1) 配筋、鉄筋加工図

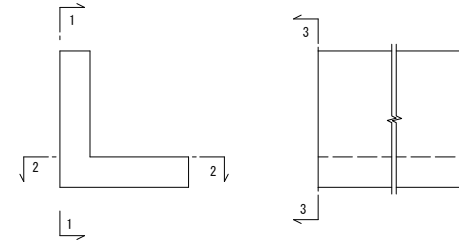
断面図(3-3)



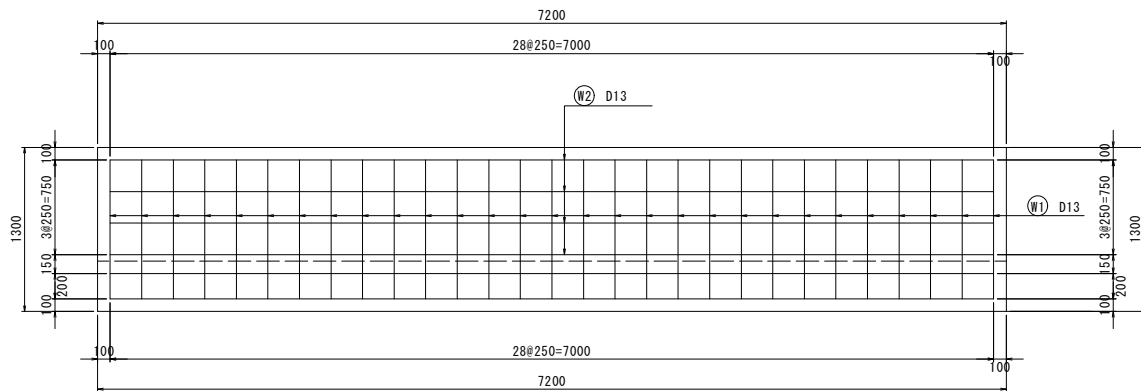
鉄筋組立図



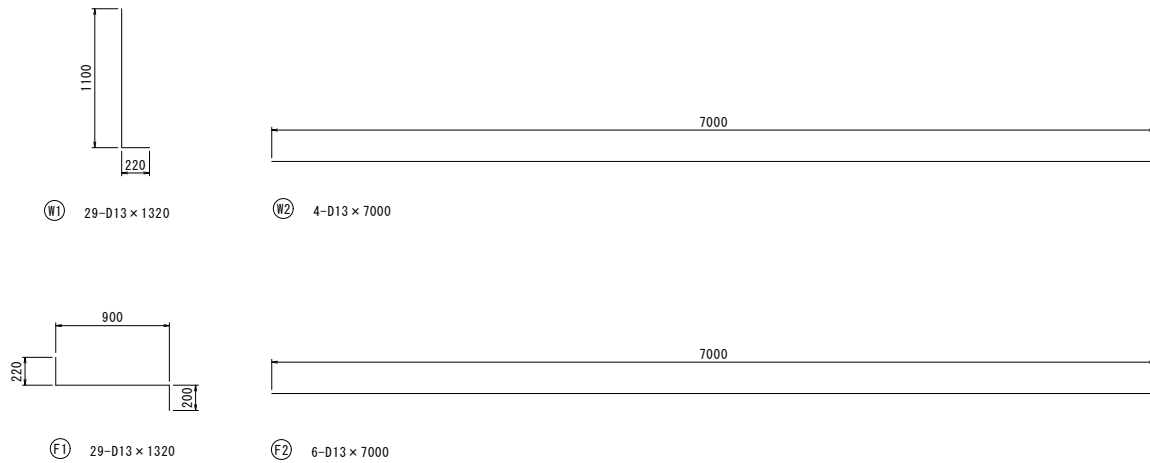
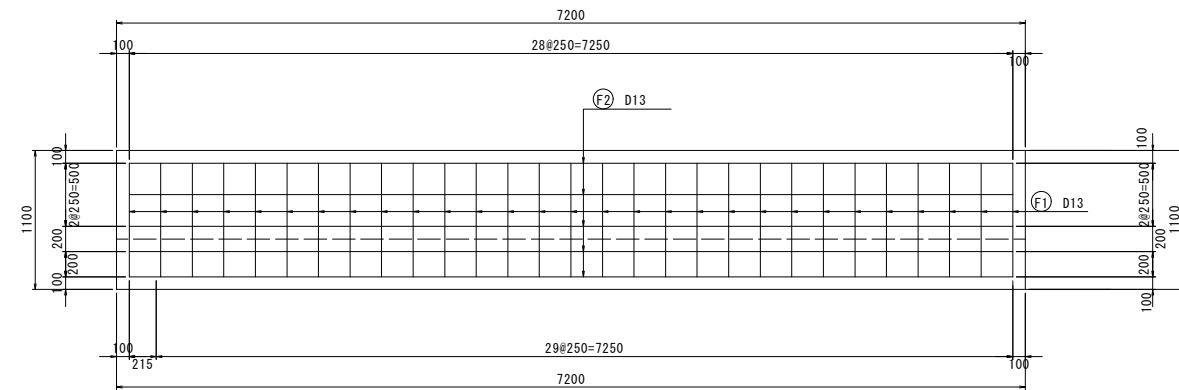
位置図



たて壁図(1-1)



底板図(2-2)



鉄筋表

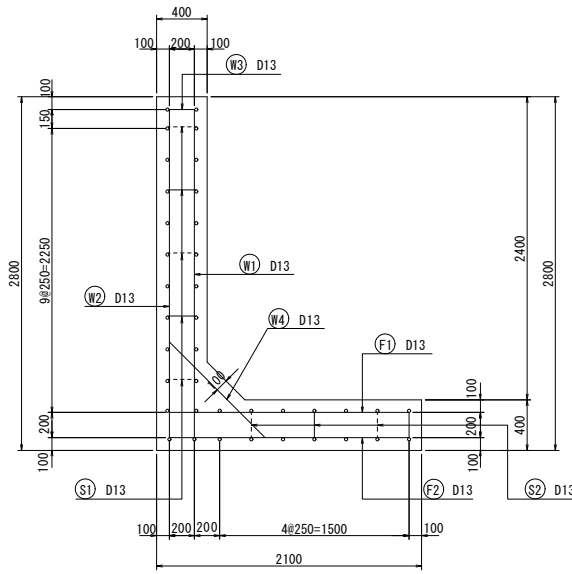
記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	摘要
W1	D13	1320	29	0.995	1.313	38	L
W2	D13	7000	4	0.995	6.965	28	—
F1	D13	1320	29	0.995	1.313	38	L
F2	D13	7000	6	0.995	6.965	42	—
						D13	146 kg
						合計	146 kg

使用する鉄筋はすべてSD345とする。
網かぶり60mm以上確保する。

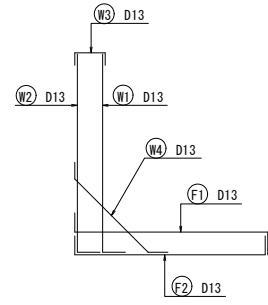
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	1号擁壁(1) 配筋図		
縮尺	S=1:30	図番	8 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

1号擁壁(2)ブロック① 配筋図

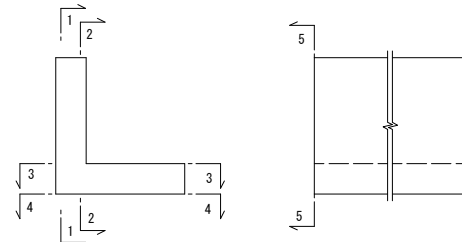
断面図(5-5)



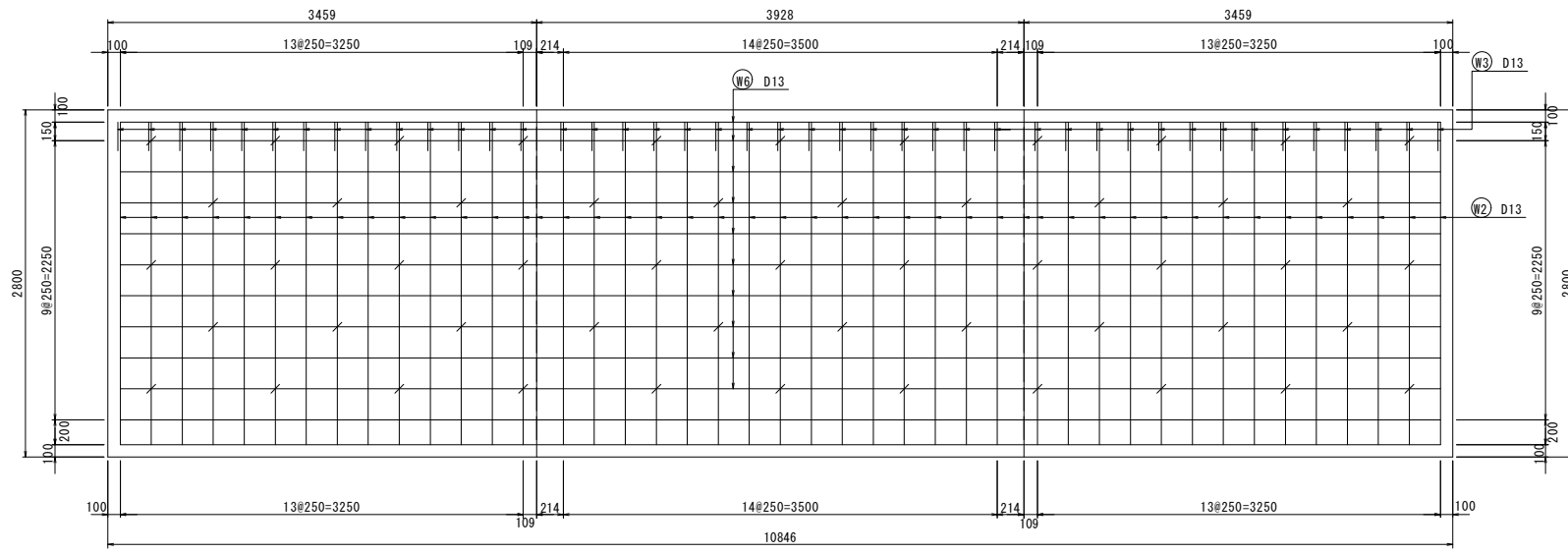
鉄筋組立図



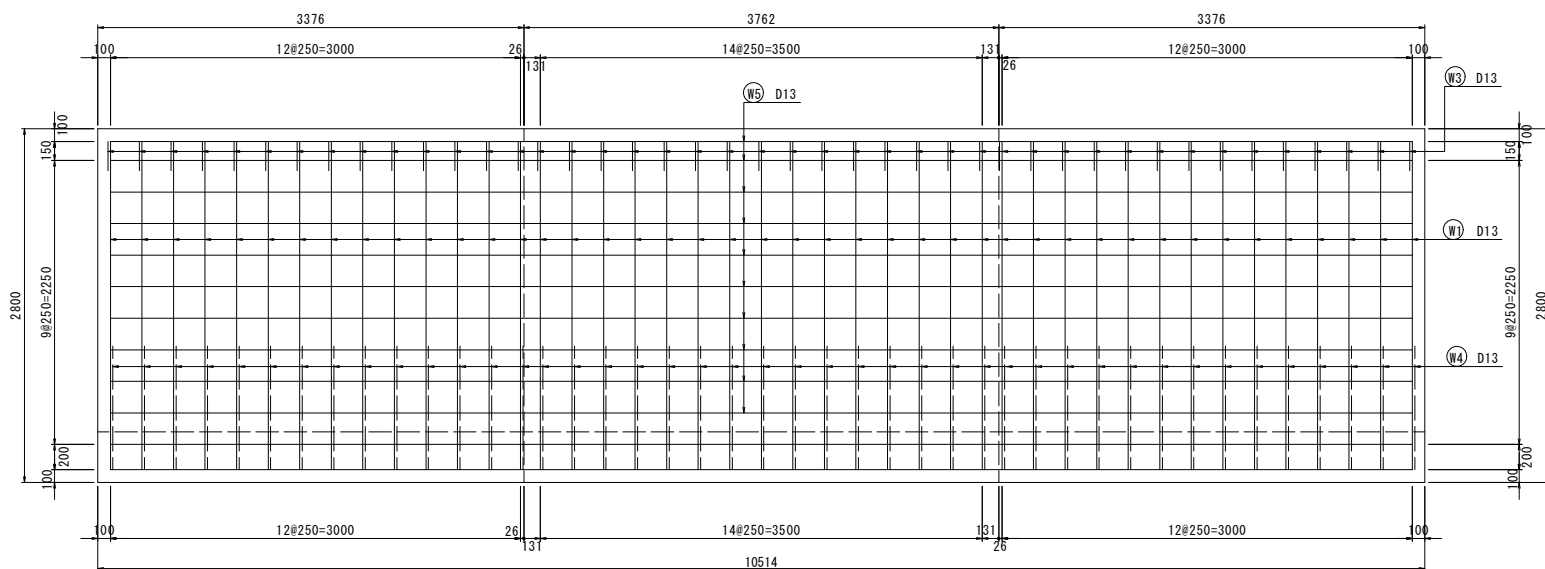
位置図



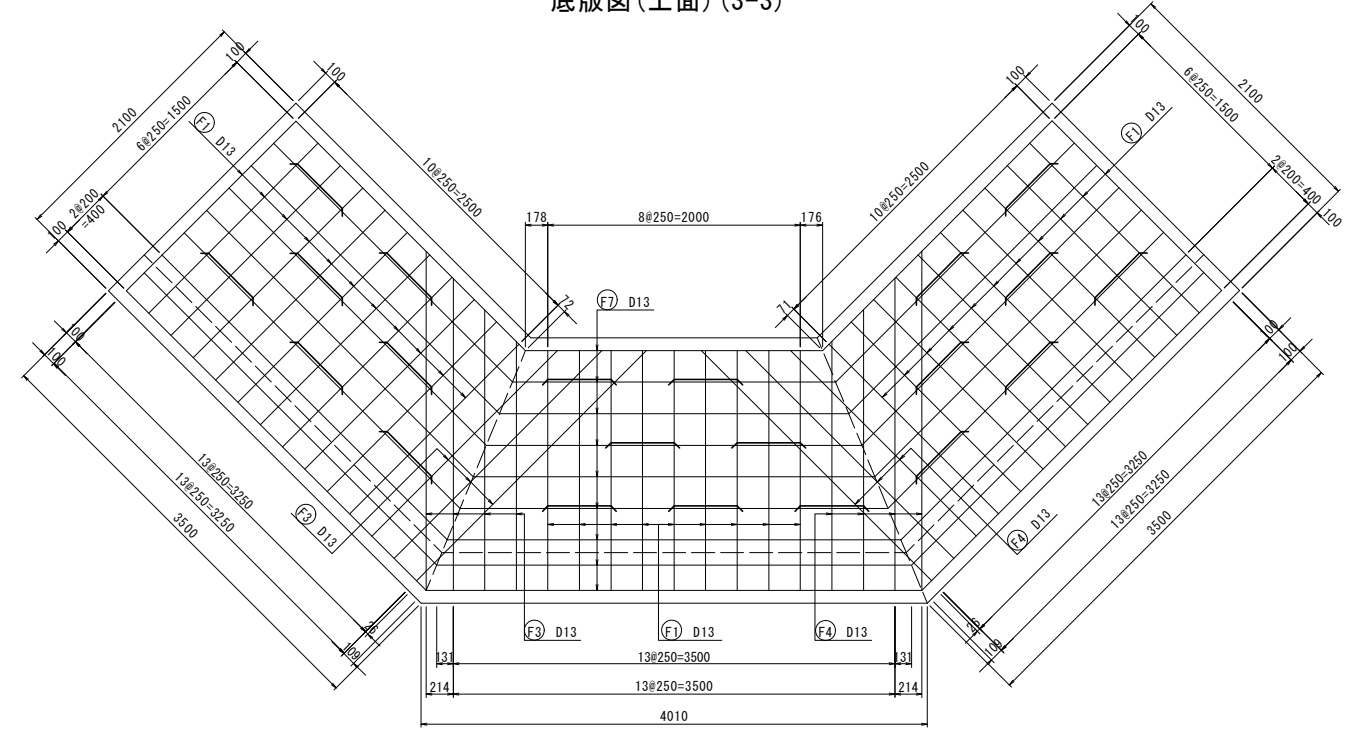
前面図(1-1)



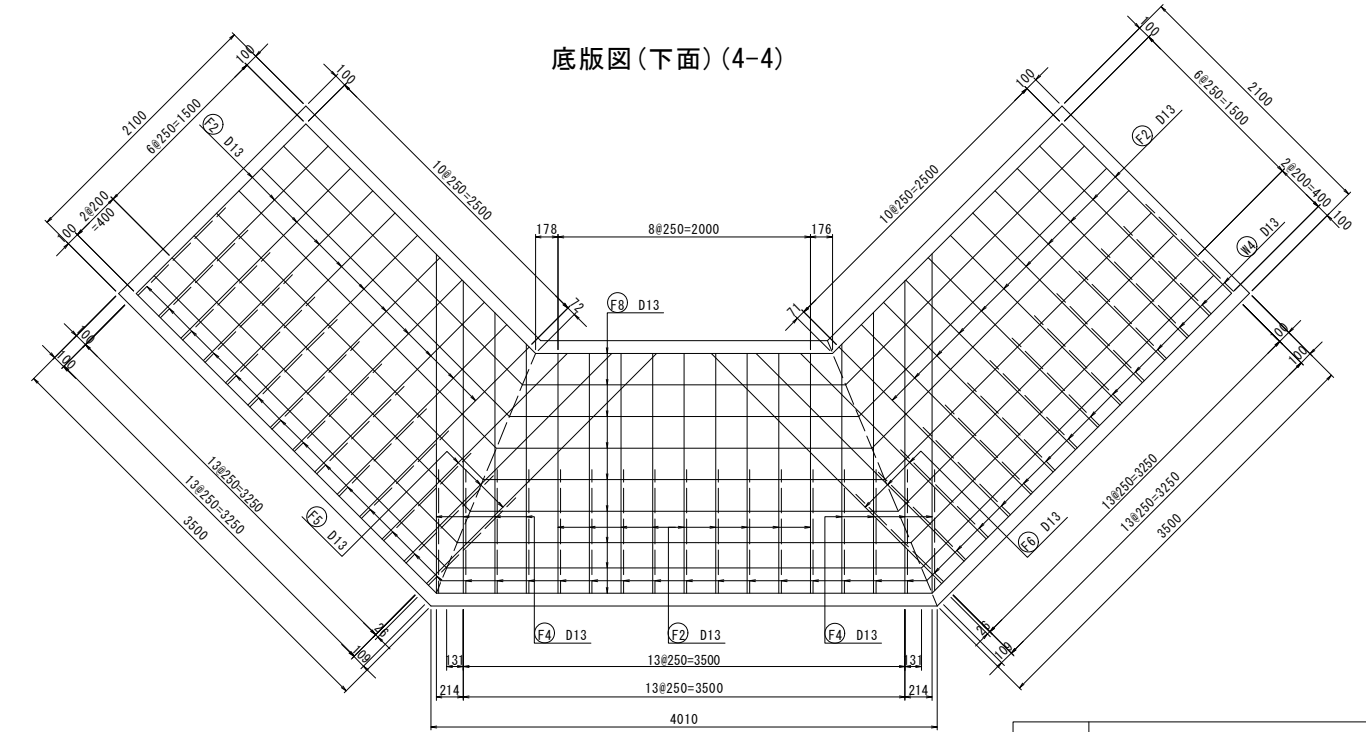
背面図(2-2)



底板図(上面)(3-3)



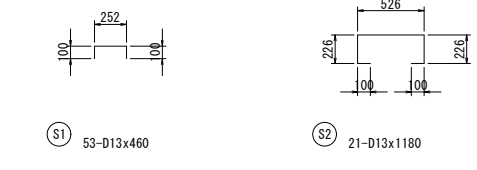
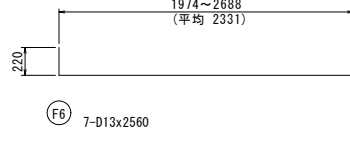
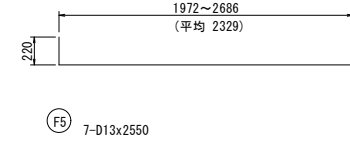
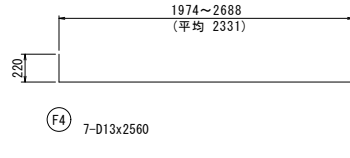
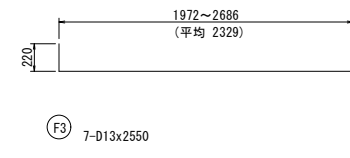
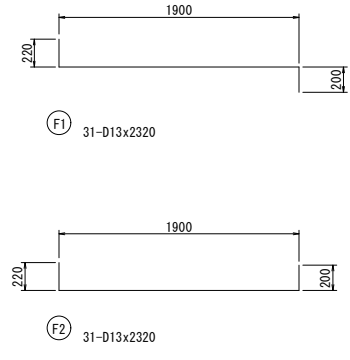
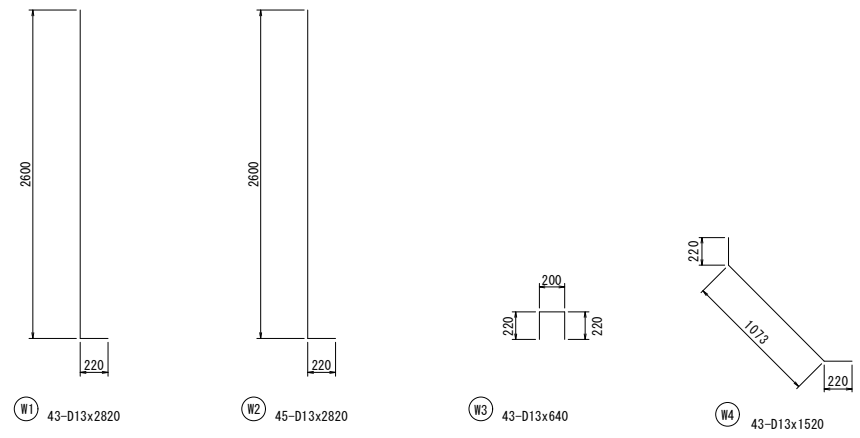
底板図(下面)(4-4)



使用する鉄筋はすべてSD345とする。
網かぶり60mm以上確保する。

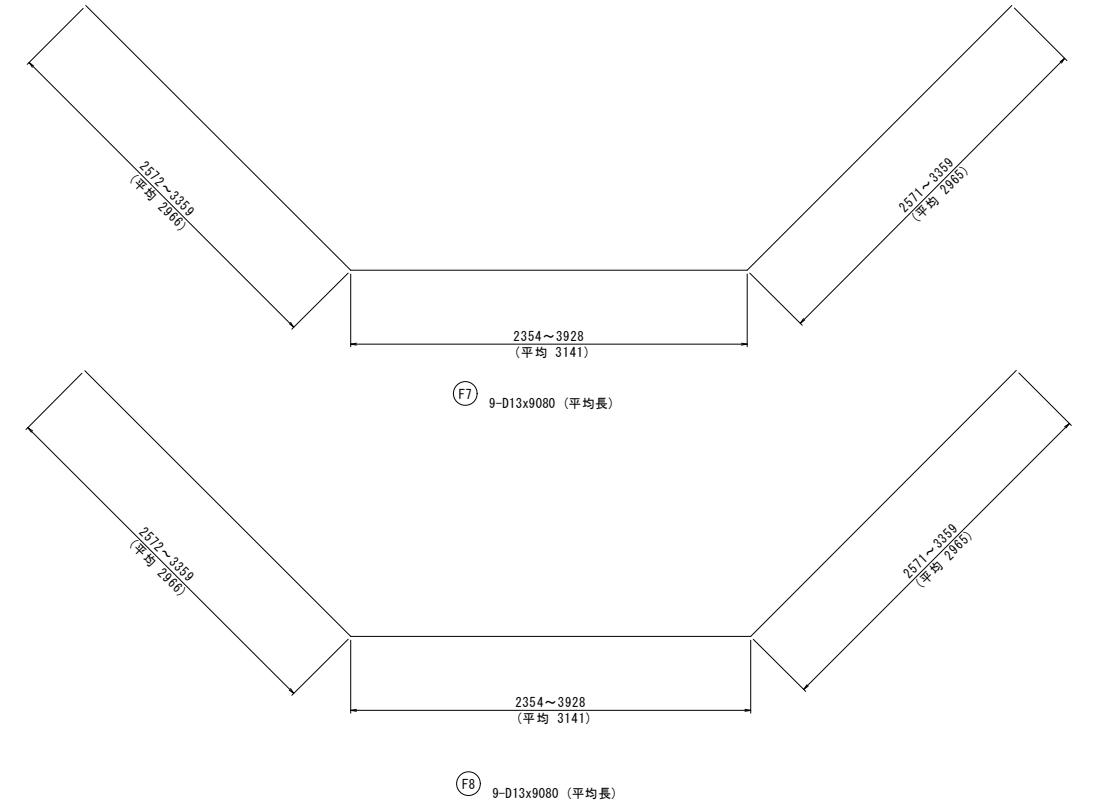
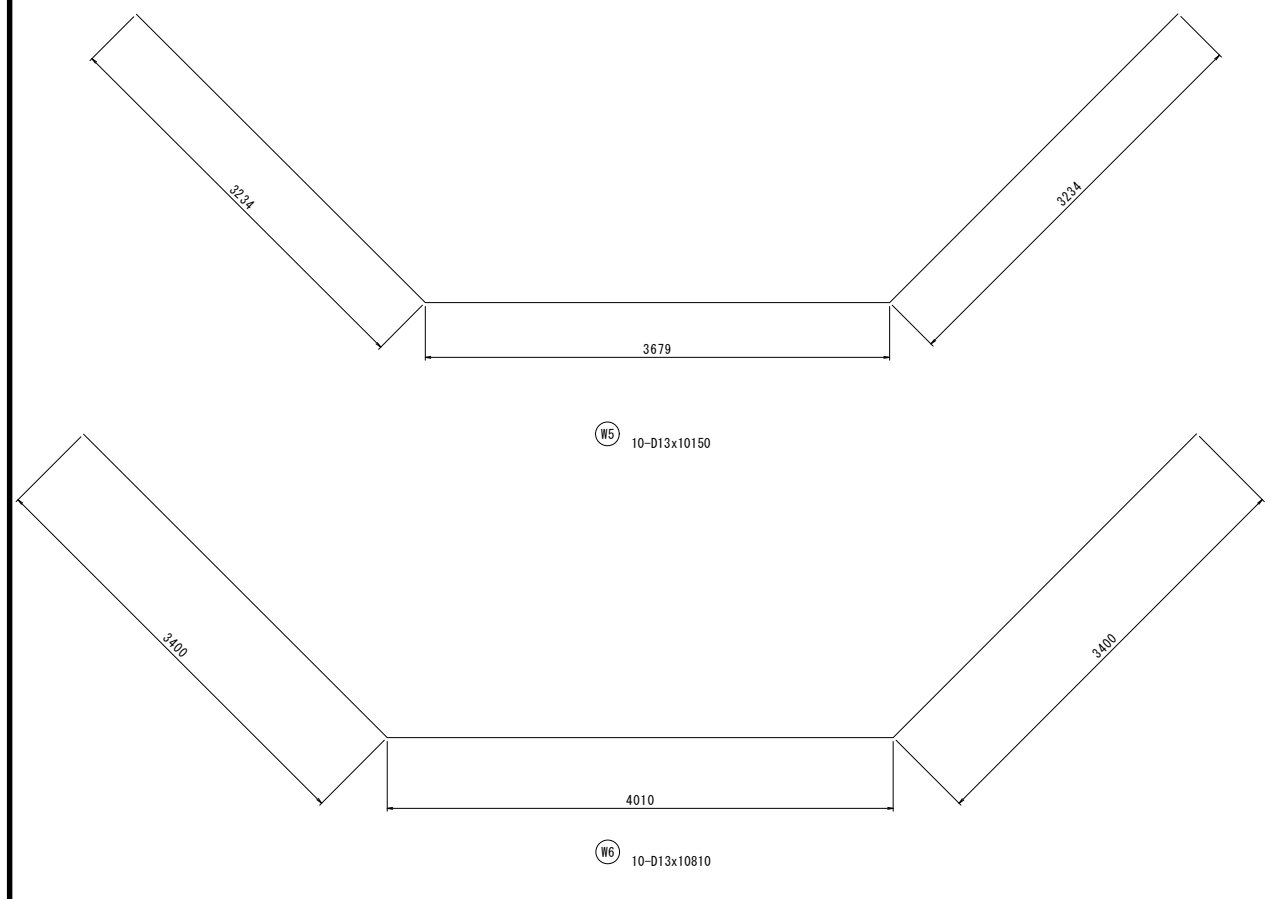
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	1号擁壁(2) 配筋図		
縮尺	S=1:30	図番	9 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

1号擁壁(2)ブロック① 鉄筋加工図



鉄筋表

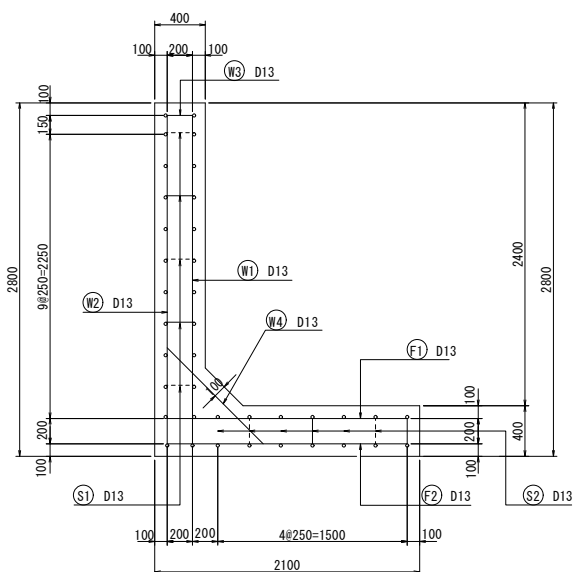
記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	摘要
W1	D13	2820	43	0.995	2.806	121	└┘
W2	D13	2820	45	0.995	2.806	126	└┘
W3	D13	640	43	0.995	0.637	27	└┘
W4	D13	1520	45	0.995	1.512	68	└┘
W5	D13	10510	10	0.995	10.457	105	└┘
W6	D13	10810	10	0.995	10.756	108	└┘
F1	D13	2320	31	0.995	2.308	72	└┘
F2	D13	2320	31	0.995	2.308	72	└┘
F3	D13	2550	7	0.995	2.537	18	└┘ (平均長)
F4	D13	2560	7	0.995	2.547	18	└┘ (平均長)
F5	D13	2550	7	0.995	2.537	18	└┘ (平均長)
F6	D13	2560	7	0.995	2.547	18	└┘ (平均長)
F7	D13	9080	9	0.995	9.035	81	└┘ (平均長)
F8	D13	9080	9	0.995	9.035	81	└┘ (平均長)
S1	D13	460	53	0.995	0.458	24	└┘
S2	D13	1180	21	0.995	1.174	25	└┘
						D13	982kg
						合計	982kg



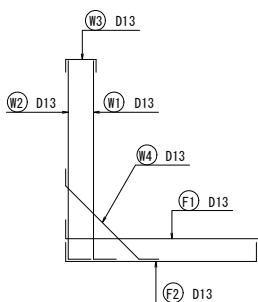
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	1号擁壁(2) 鉄筋加工図		
縮尺	S=1:30	図番	10 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

1号擁壁(2)ブロック② 配筋図

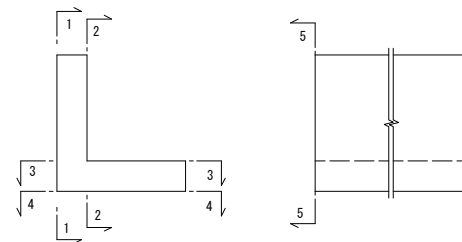
断面図(5-5)



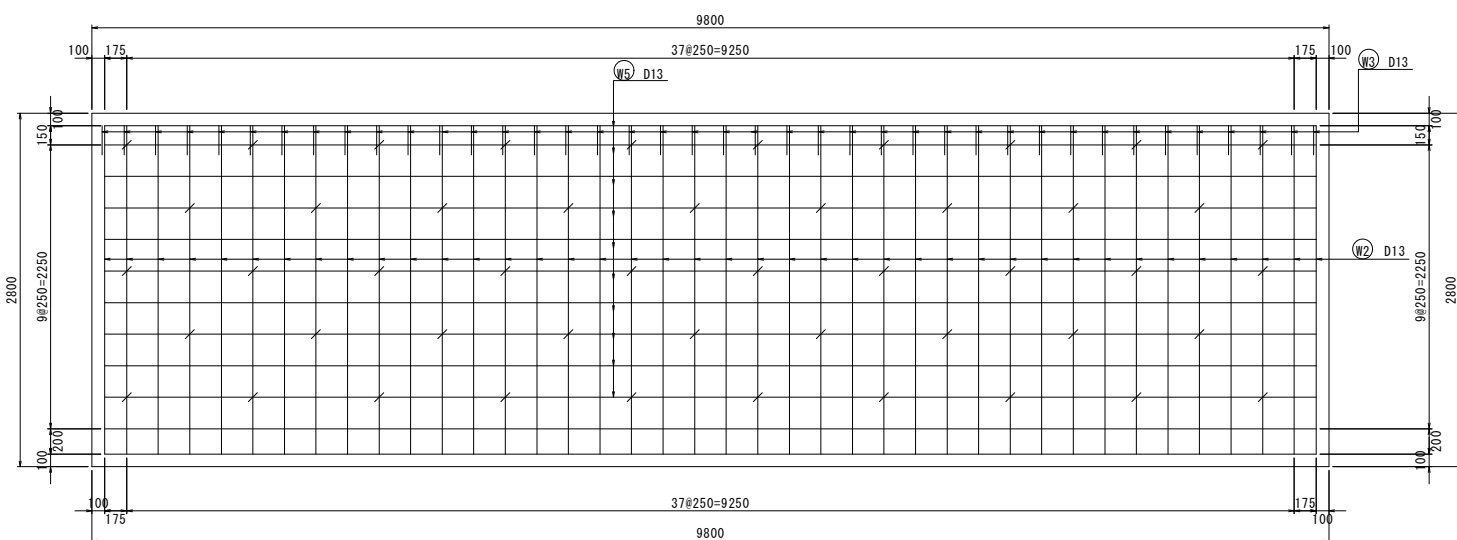
鉄筋組立図



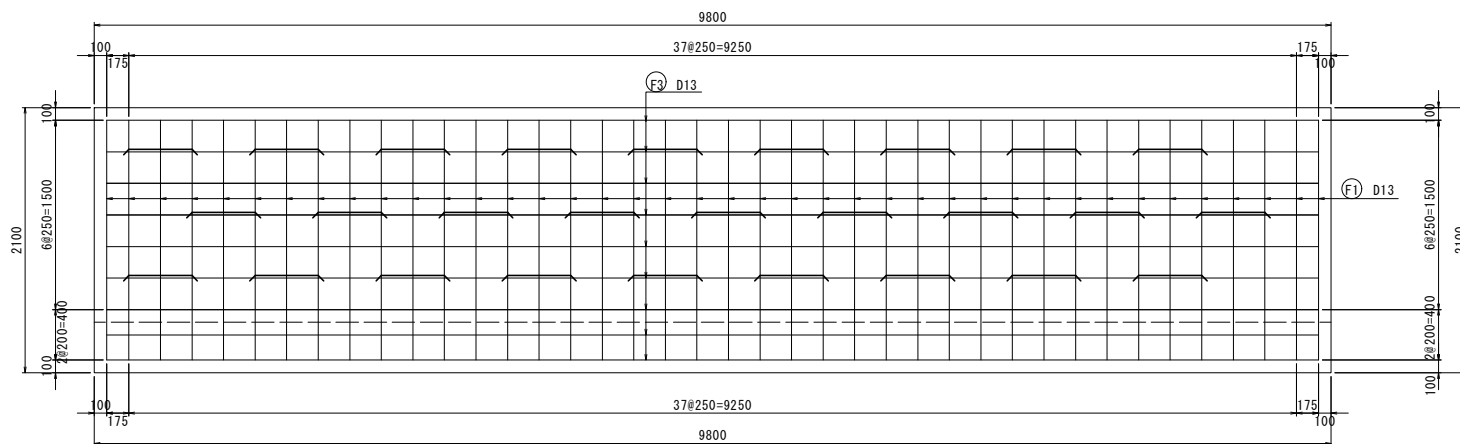
位置図



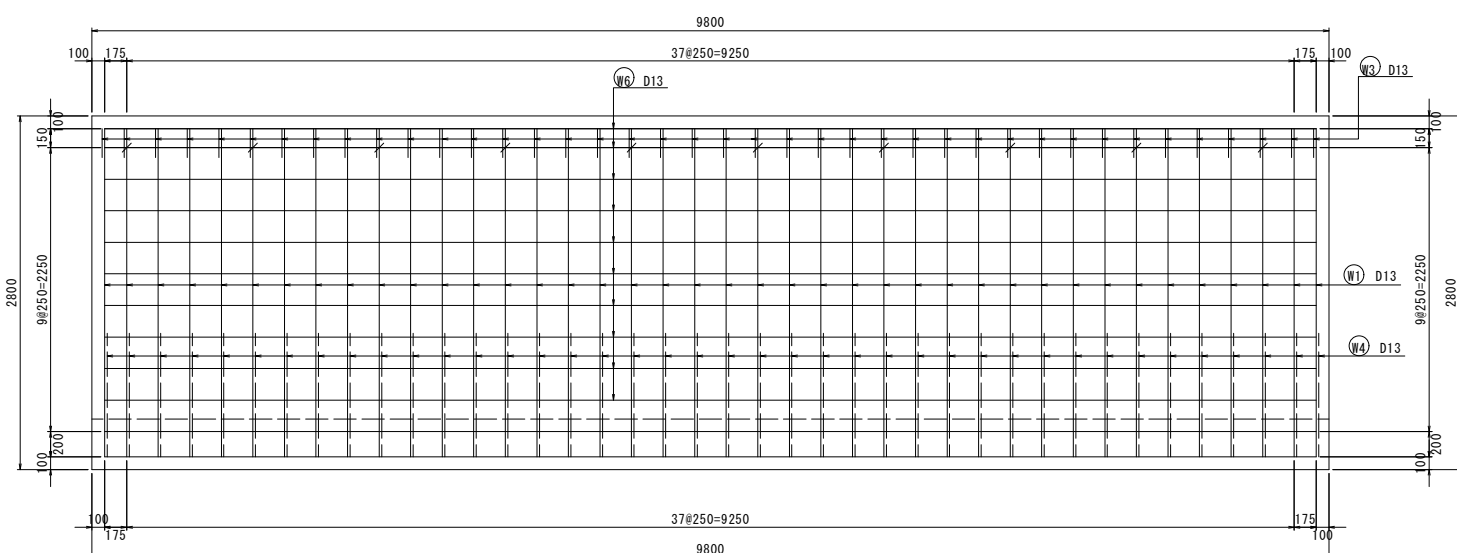
前面図(1-1)



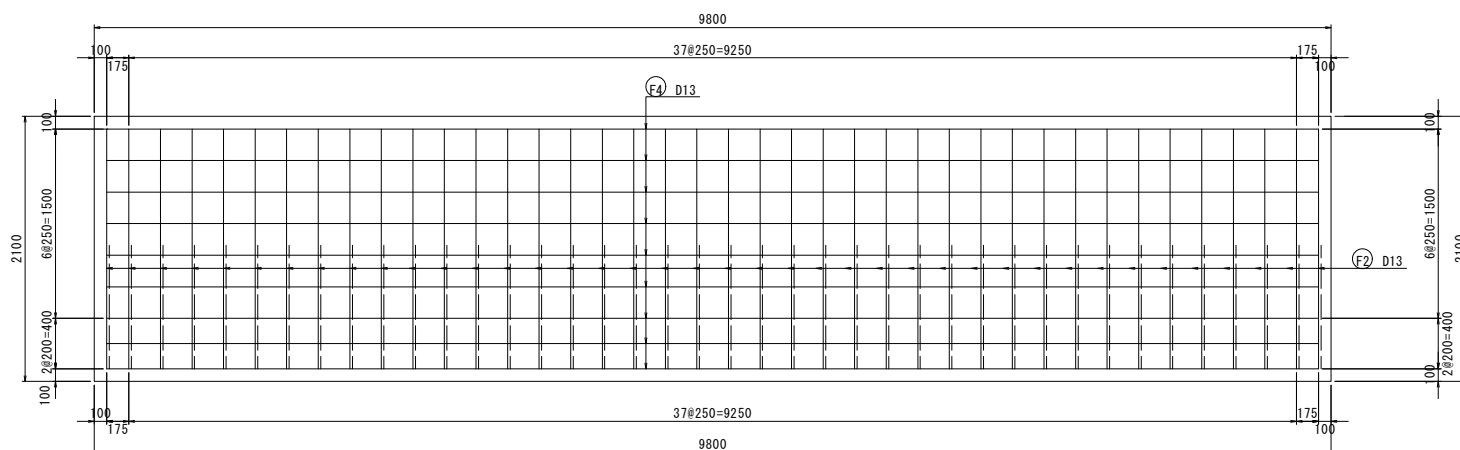
底版図(上面)(3-3)



背面図(2-2)



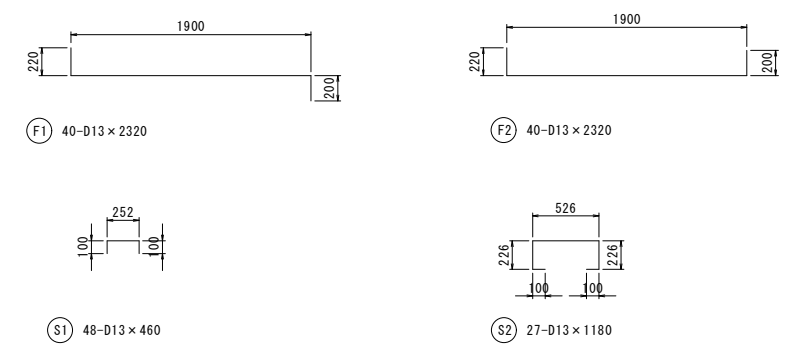
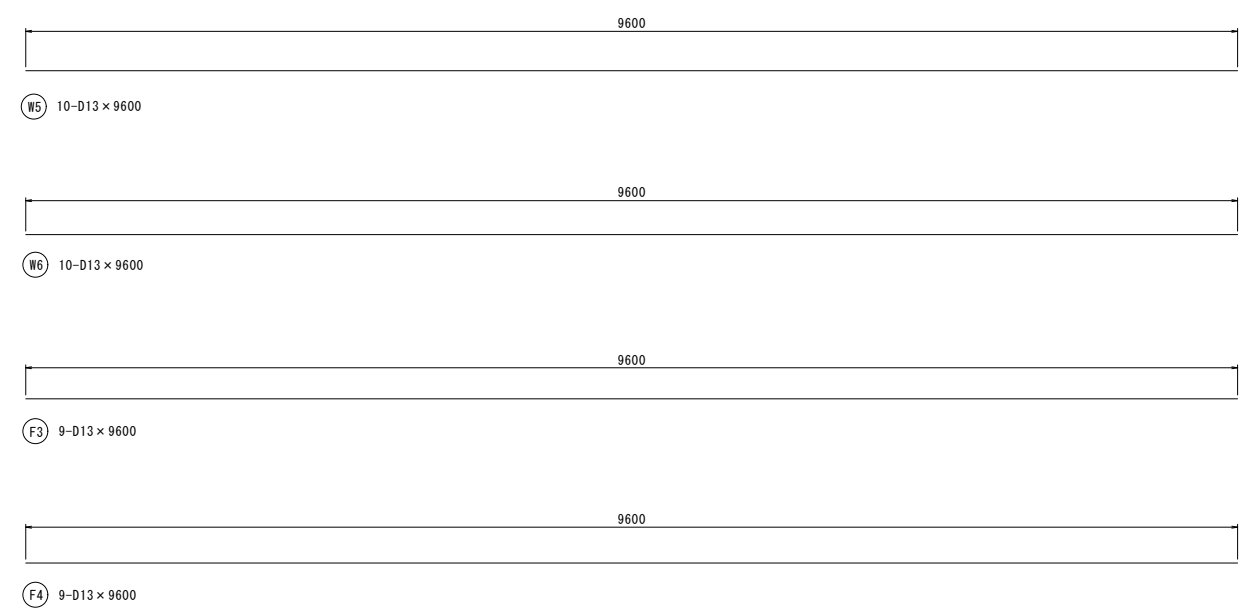
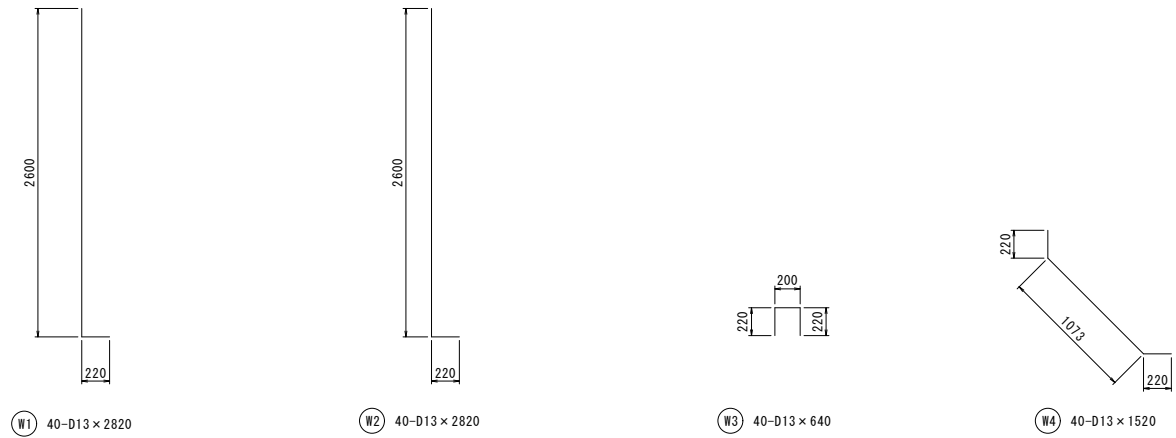
底版図(下面)(4-4)



使用する鉄筋はすべてSD345とする。
継がぶり60mm以上確保する。

工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	1号擁壁(2) 配筋図		
縮尺	S=1:30	図番	11 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

1号擁壁(2)ブロック② 鉄筋加工図



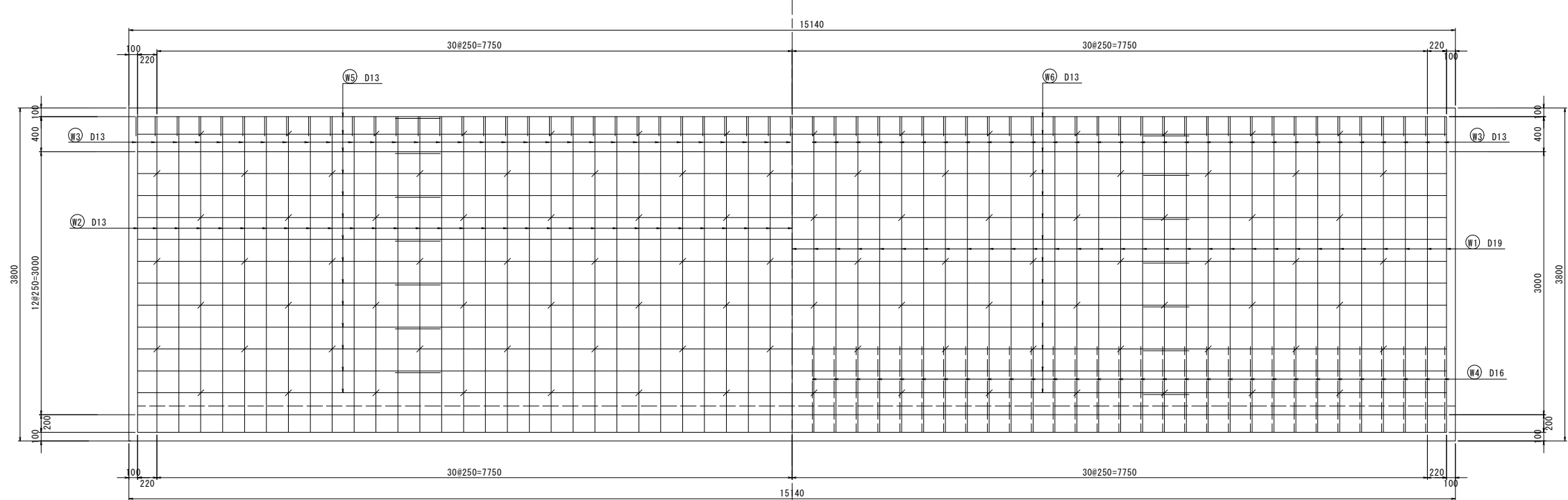
鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	摘要
W1	D13	2820	40	0.995	2.806	112	└┘
W2	D13	2820	40	0.995	2.806	112	└┘
W3	D13	640	40	0.995	0.637	25	└┘
W4	D13	1520	40	0.995	1.512	60	└┘
W5	D13	9600	10	0.995	9.552	96	—
W6	D13	9600	10	0.995	9.552	96	—
F1	D13	2320	40	0.995	2.308	92	└┘
F2	D13	2320	40	0.995	2.308	92	└┘
F3	D13	9600	9	0.995	9.552	86	—
F4	D13	9600	9	0.995	9.552	86	—
S1	D13	460	48	0.995	0.458	22	└┘
S2	D13	1180	27	0.995	1.174	32	└┘
						D13	911 kg
						合計	911 kg

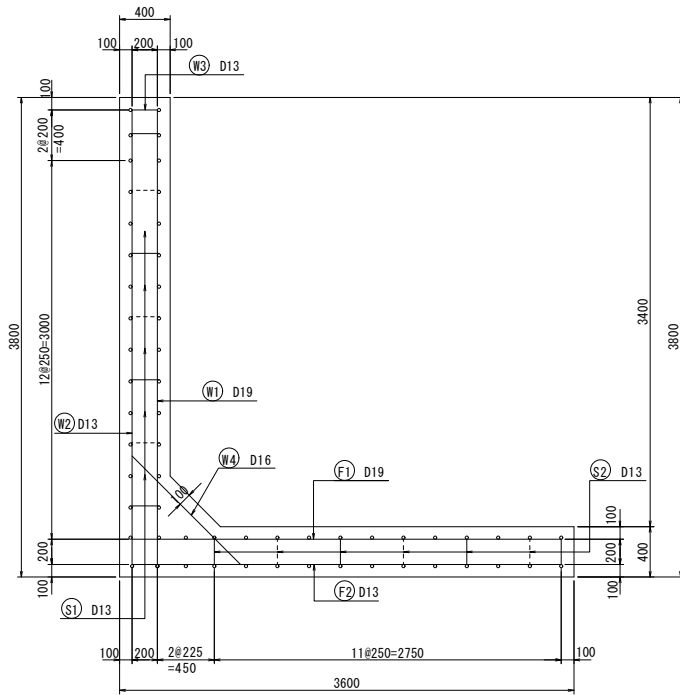
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	1号擁壁(2) 鉄筋加工図		
縮尺	S=1:30	図番	12 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

2号擁壁 ブロック① 配筋図

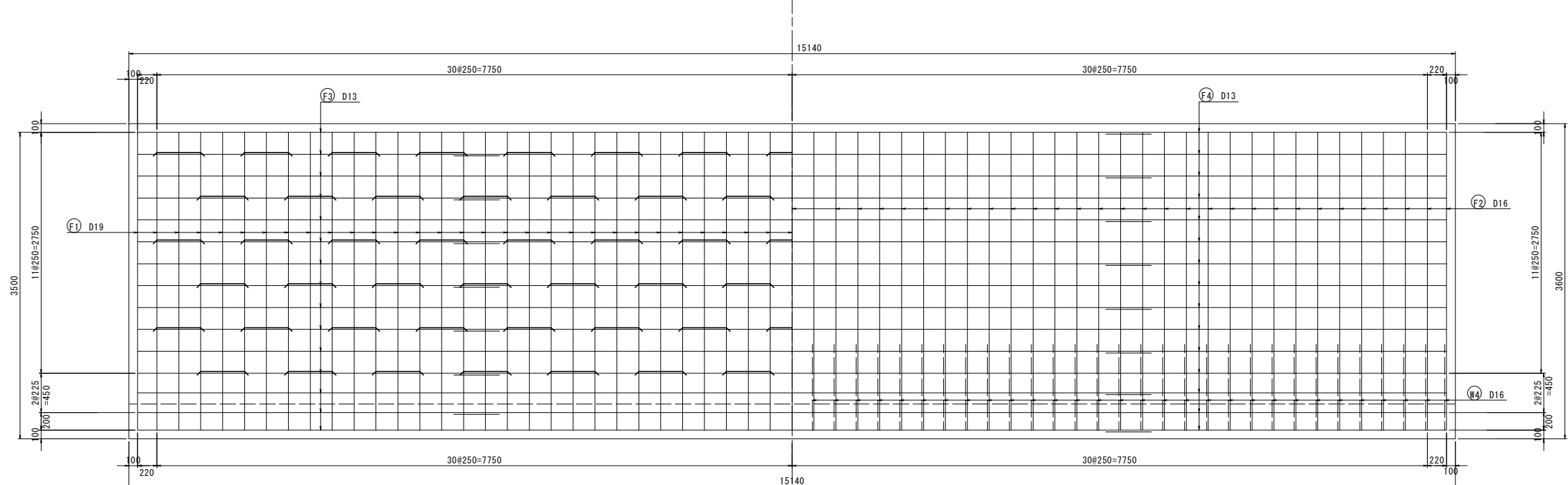
前面図(1-1) 背面図(2-2)



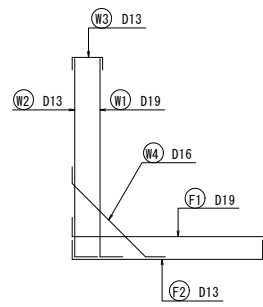
断面図(5-5)



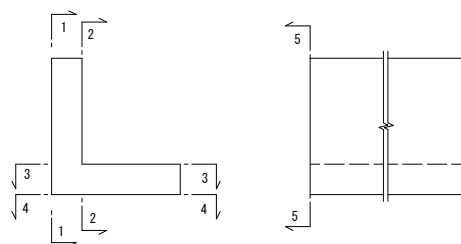
底版図(上面)(3-3) 底版図(下面)(4-4)



鉄筋組立図



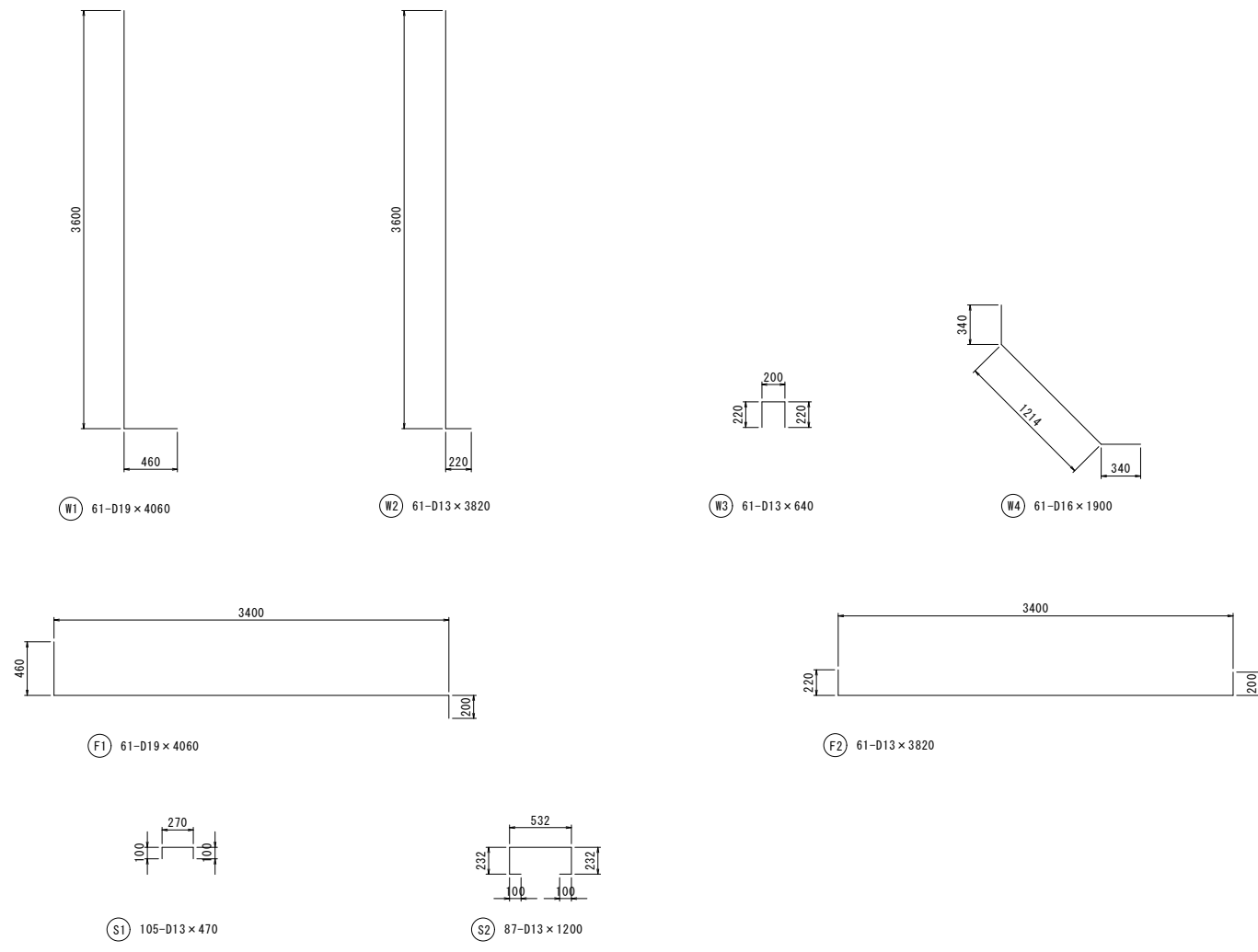
位置図



工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	2号擁壁 配筋図1		
縮尺	S=1:30	図番	13 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

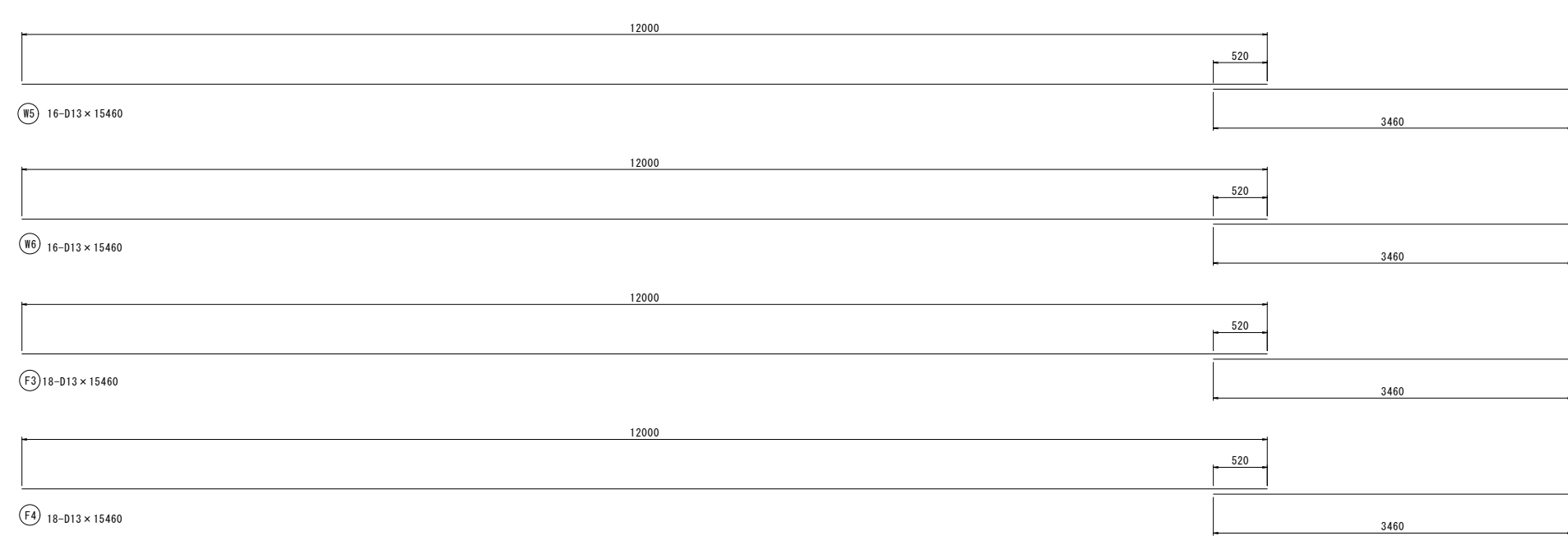
使用する鉄筋はすべてSD345とする。
継がぶり60mm以上確保する。

2号擁壁 ブロック① 鉄筋加工図



鉄筋表

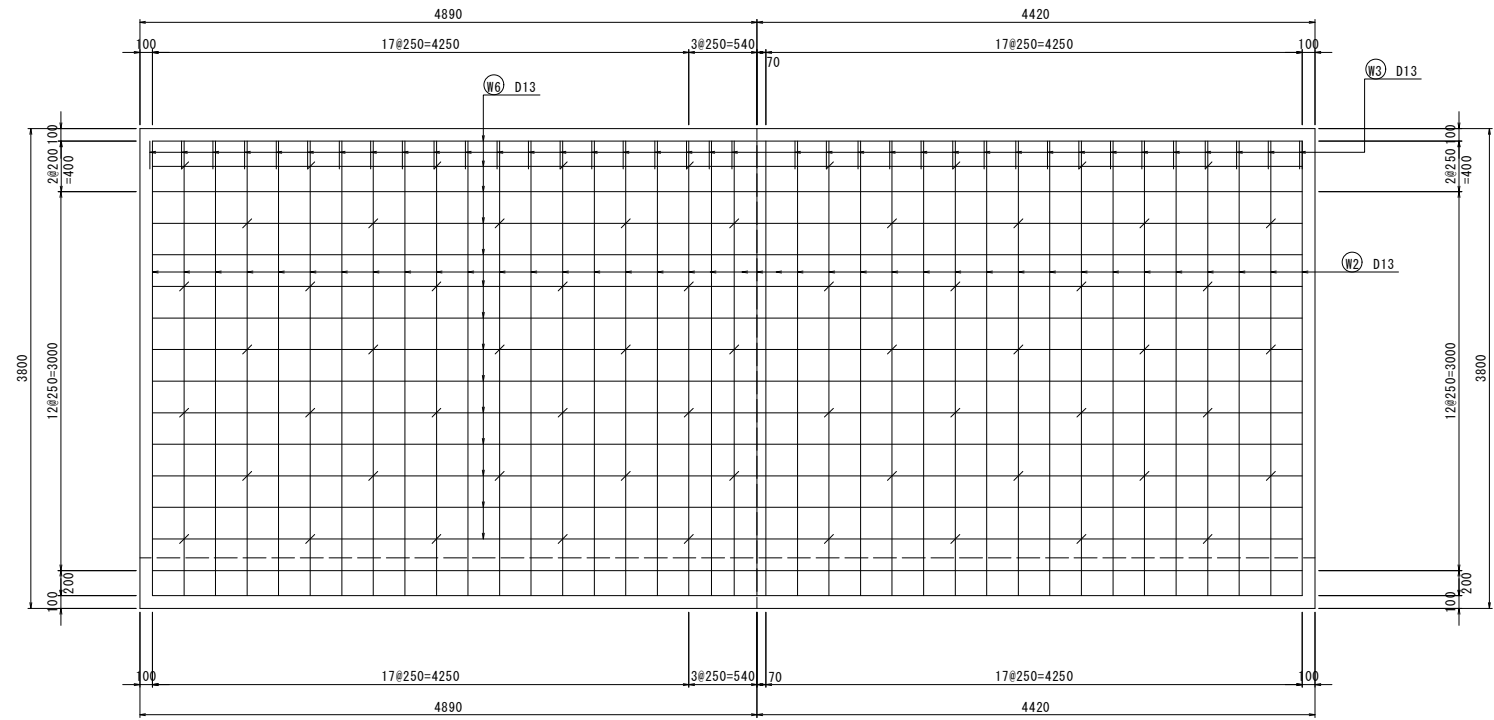
記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	摘要
W1	D19	4060	61	2.250	9.135	557	└┘
W2	D13	3820	61	0.995	3.810	232	└┘
W3	D13	640	61	0.995	0.637	39	└┘
W4	D16	1900	61	1.560	2.964	181	└┘
W5	D13	15460	14	0.995	15.562	218	—
W6	D13	15460	14	0.995	15.562	218	—
F1	D19	4060	61	2.250	9.135	557	└┘
F2	D13	3820	61	0.995	3.810	232	└┘
F3	D13	15460	15	0.995	15.562	233	—
F4	D13	15460	15	0.995	15.562	233	—
S1	D13	470	105	0.995	0.468	49	└┘
S2	D13	1200	87	0.995	1.194	104	└┘
						D13	1558 kg
						D16	181 kg
						D19	1114 kg
						合計	2853 kg



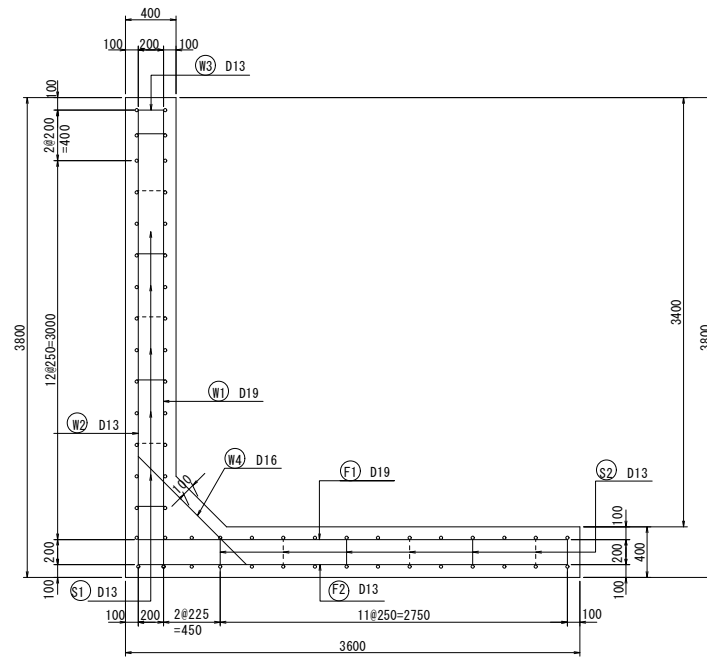
工事名	東市区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	2号擁壁 鉄筋加工図1		
縮尺	S=1:30	図番	14 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

2号擁壁 ブロック② 配筋図1

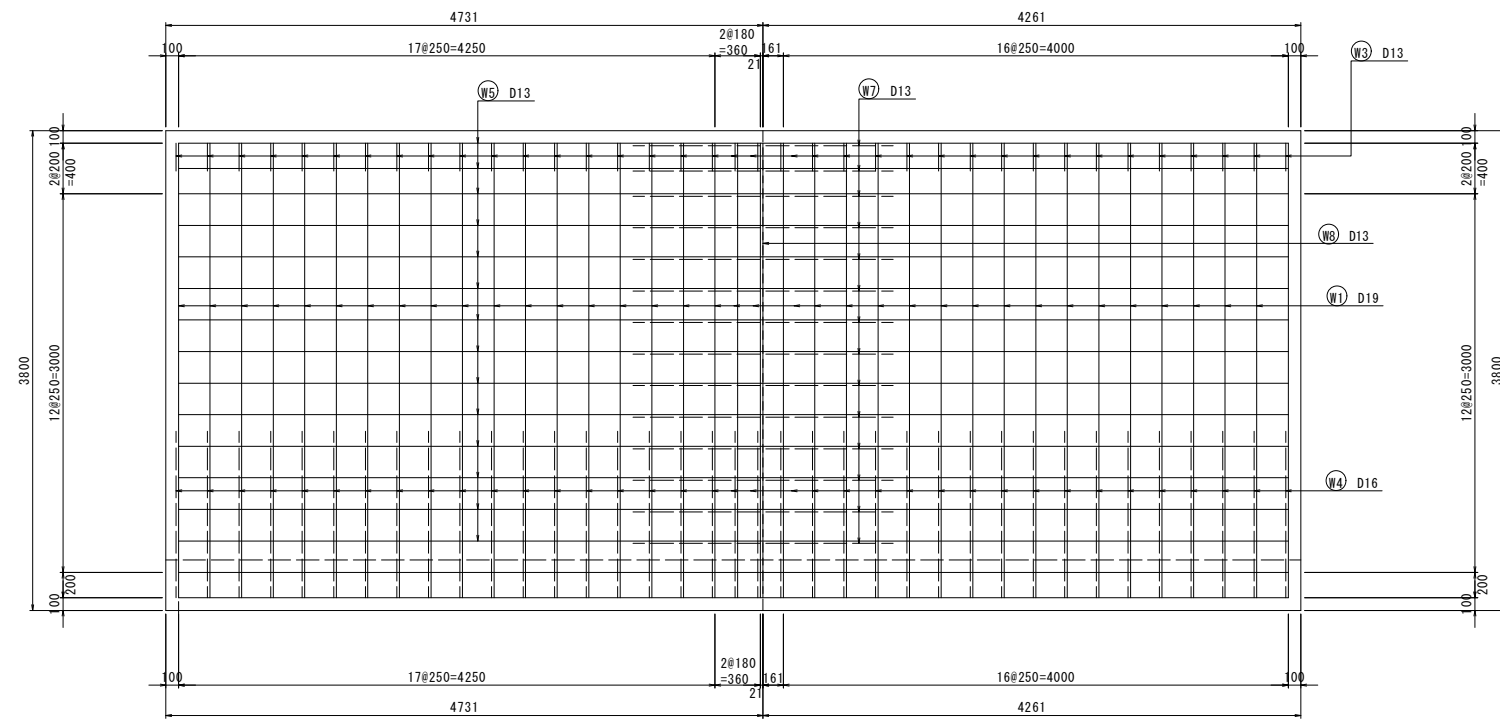
前面図(1-1)



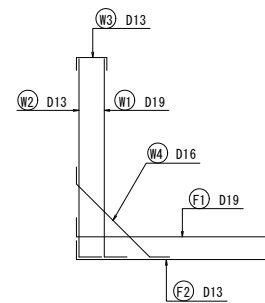
断面図(5-5)



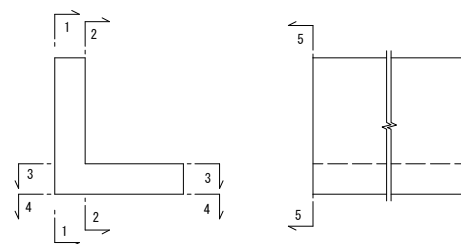
背面図(2-2)



鉄筋組立図



位置図

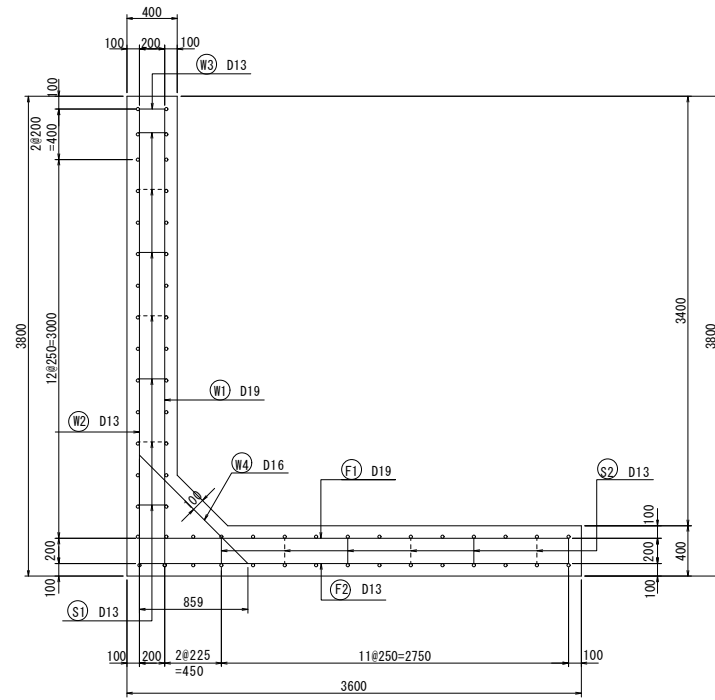


工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	2号擁壁 配筋図2		
縮尺	S=1:30	図番	15 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

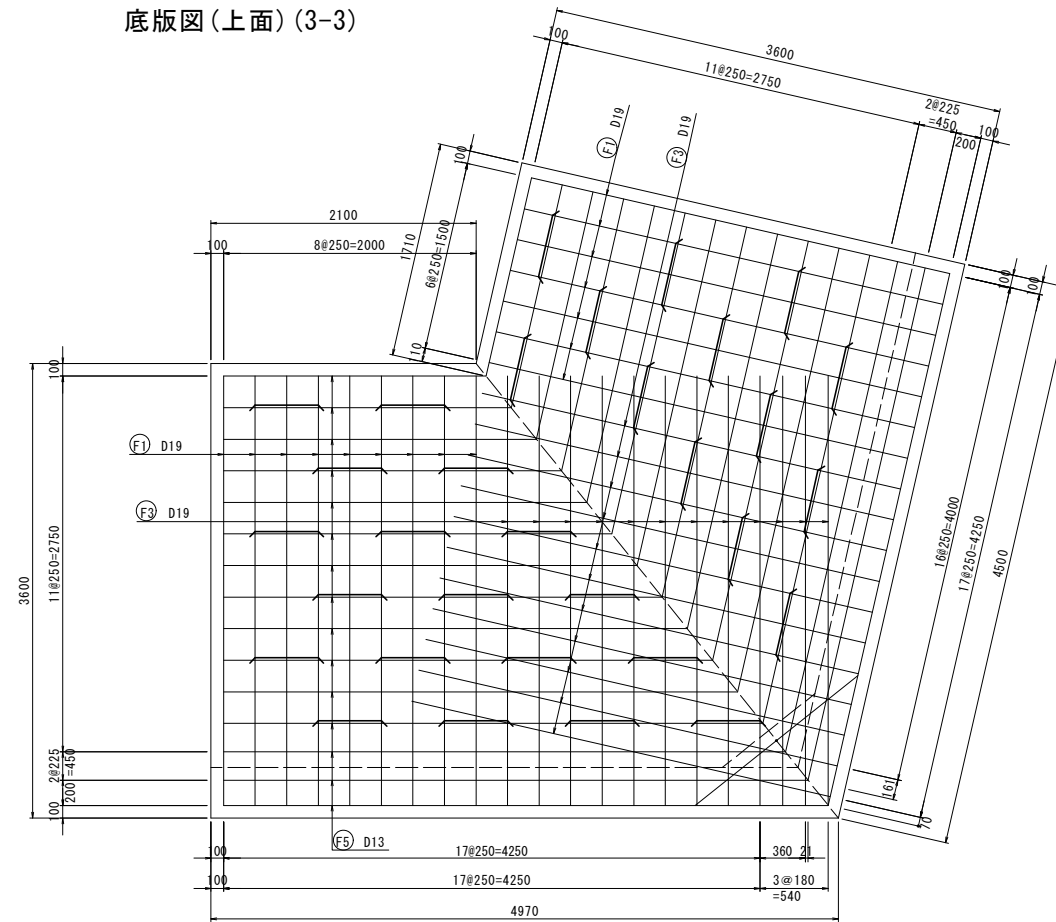
使用する鉄筋はすべてSD345とする。
網かぶり60mm以上確保する。

2号擁壁 ブロック② 配筋図2

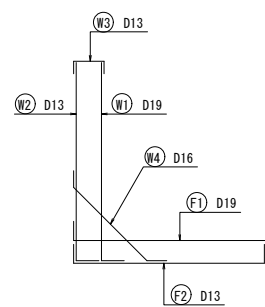
断面図(5-5)



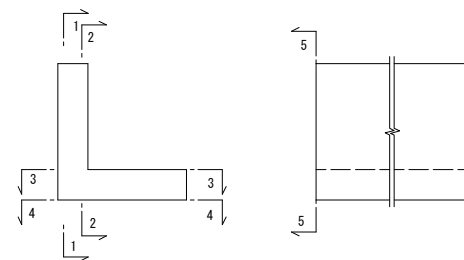
底板図(上面)(3-3)



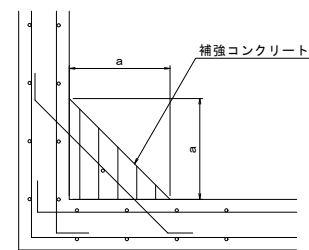
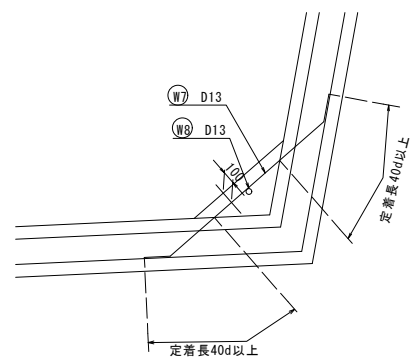
鉄筋組立図



位置図

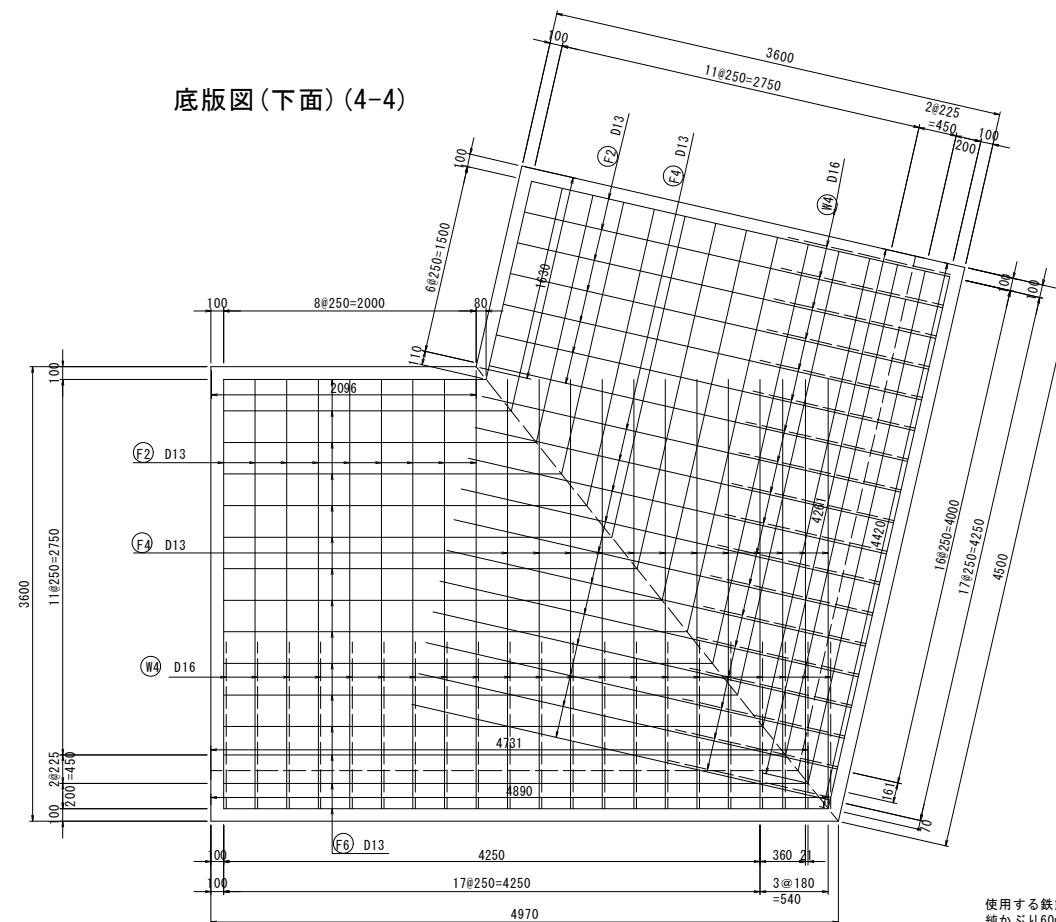


隅部補強 詳細図



隅部補強の配筋補強図
隅部の補強部は、隅角をはさむ二等辺三角形の部分を鉄筋及びコンクリートで補強する。
二等辺の一边の長さは、擁壁高3m以下 a=50cmとする。
擁壁高3mを超える a=60cmとする。

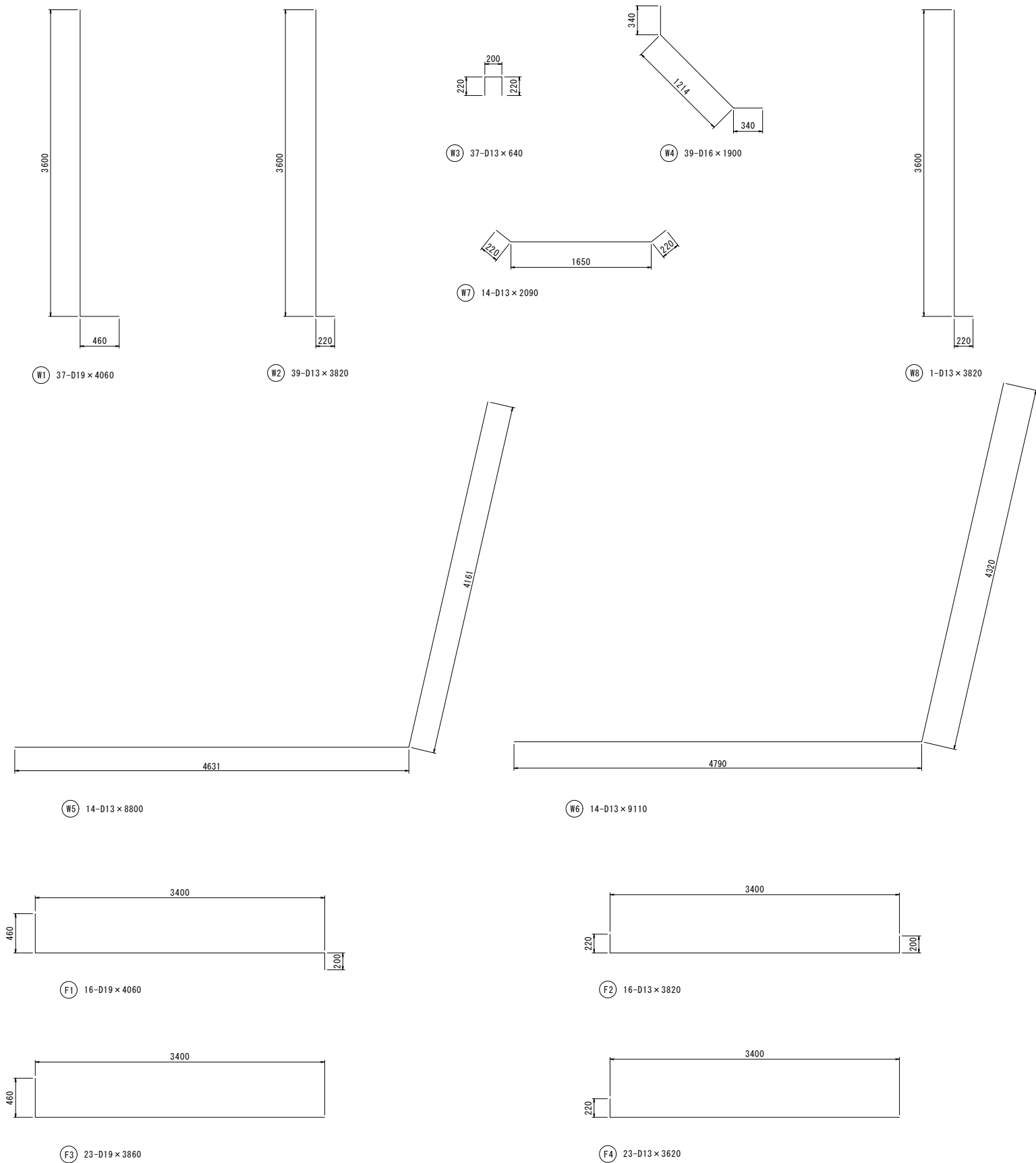
底板図(下面)(4-4)



使用する鉄筋はすべてSD345とする。
網かぶり60mm以上確保する。

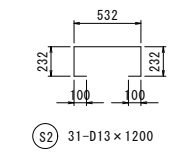
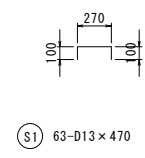
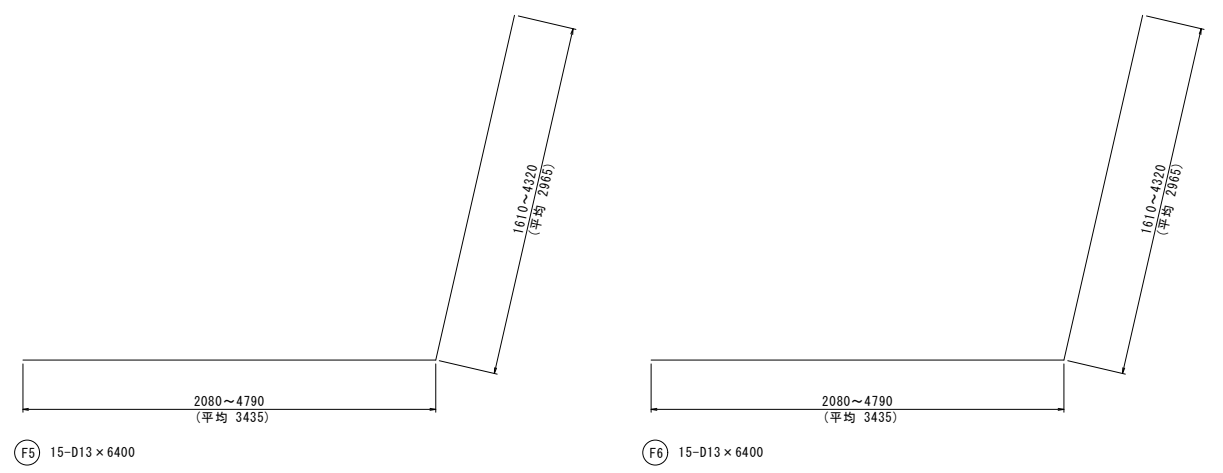
工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	2号擁壁 配筋図3		
縮尺	S=1:30	図番	16 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備課		

2号擁壁 ブロック② 鉄筋加工図



鉄筋表

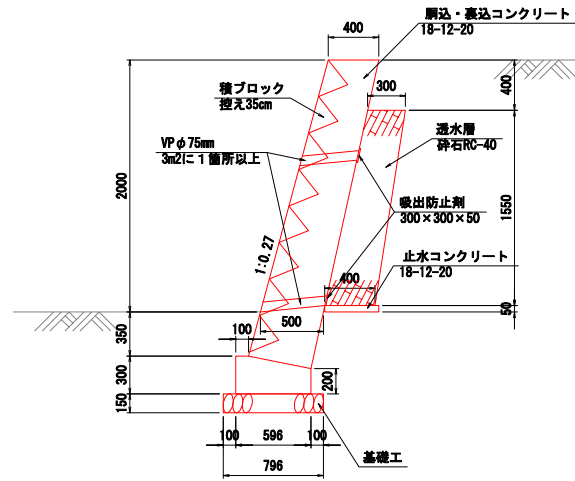
記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	摘要
W1	D19	4060	37	2.250	9.135	338	└┘
W2	D13	3820	39	0.995	3.810	149	└┘
W3	D13	640	37	0.995	0.637	24	└┘
W4	D16	1900	39	1.560	2.964	116	└┘
W5	D13	8800	14	0.995	8.756	123	└┘
W6	D13	9110	14	0.995	9.065	127	└┘
W7	D13	2090	14	0.995	2.080	29	└┘
W8	D13	3820	1	0.995	3.810	4	└┘
F1	D19	4060	16	2.250	9.135	146	└┘
F2	D13	3820	16	0.995	3.810	61	└┘
F3	D19	3860	23	2.250	8.685	200	└┘
F4	D13	3620	23	0.995	3.602	83	└┘
F5	D13	6400	15	0.995	6.368	96	└┘
F6	D13	6400	15	0.995	6.368	96	└┘
S1	D13	470	63	0.995	0.468	29	└┘
S2	D13	1200	31	0.995	1.194	37	└┘
						D13	858 kg
						D16	116 kg
						D19	684 kg
						合計	1658 kg



工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	2号擁壁 鉄筋加工図2		
縮尺	S=1:30	図番	17 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備室区画整理課		

付帯構造物詳細図

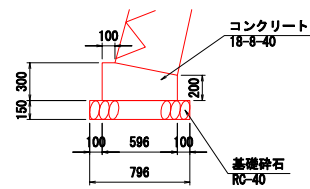
既設ブロック積擁壁復旧 S=1:30



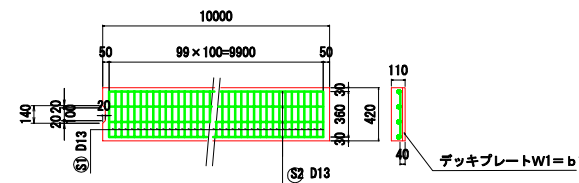
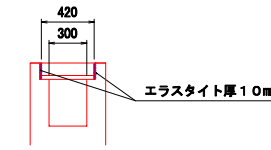
VUφ100 S=1/10



基礎工 S=1:30



側溝蓋復旧 S=1:30



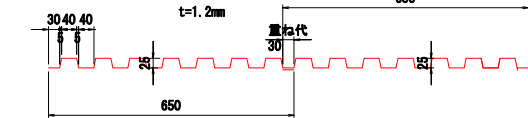
寸法及び材料表

部号	寸法表 (単位mm)			材料表 (10m当たり)			数量表 (10m当たり)								
	B	b1	h1	コンクリート (m³)	デッキプレート (kg)	エラストイト (kg)	①		②		③		質量計 (kg)		
				長さ (m)	本数 (本)	質量 (kg)	長さ (m)	本数 (本)	質量 (kg)	長さ (m)	本数 (本)	質量 (kg)			
RC130	300	420	110	0.40	60	2.2	D13	360	100	36	D13	9,900	4	39	75

注. 延長650mm未満で作らないこと。せん断力が不足して破損の原因となる。

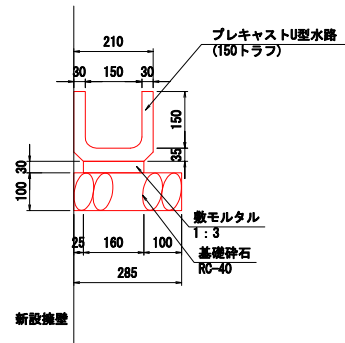
[現場打仕様]

1. コンクリート 24-12-20BB
2. 鉄筋 SD345
3. デッキプレート (通称キーストプレート) 13.60kg/m²
AKD12 (JIS G3352)

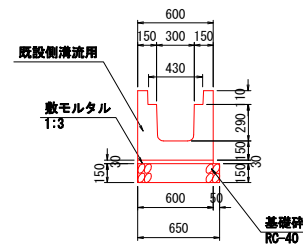


[10m当たりの重ね箇所数]
10.00m÷0.65m=15.38箇所⇒16箇所
[10m当たりのデッキプレート面積・質量]
(b1=420mmの場合)
A=0.42m×10.00m+0.42m×0.03m×16箇所=4.40m²
W=4.40m²×13.60kg/m²=59.8kg

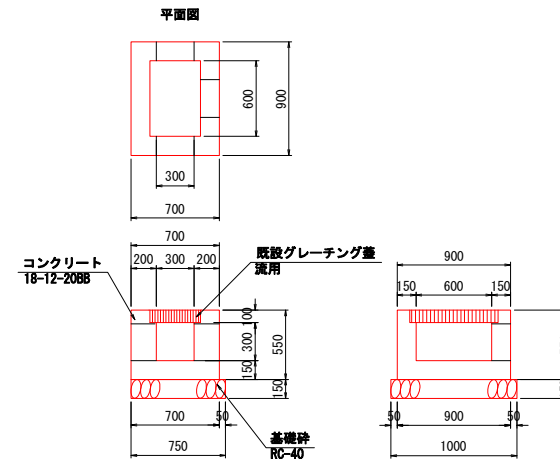
プレキャストU型水路(150) S=1:10



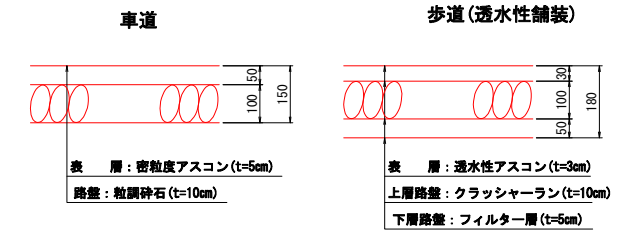
側溝復旧 S=1:30



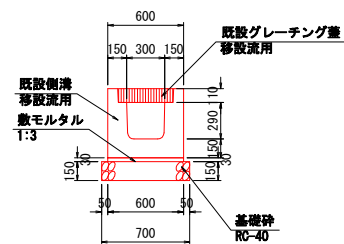
柵復旧 S=1:30



舗装復旧 S=1/10



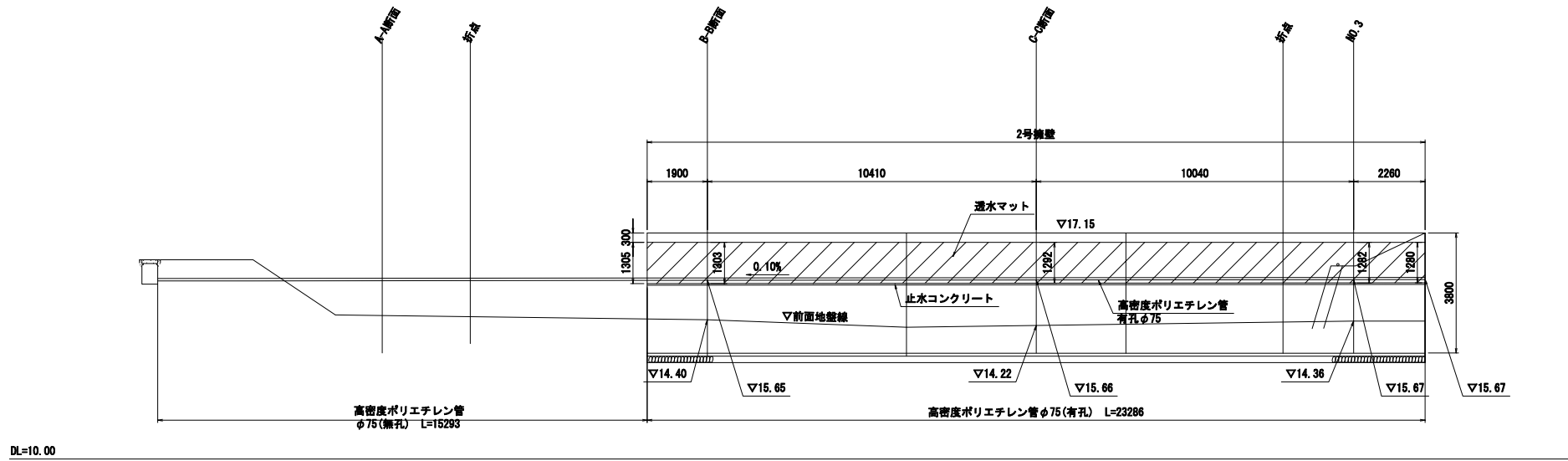
横断側溝復旧 S=1:30



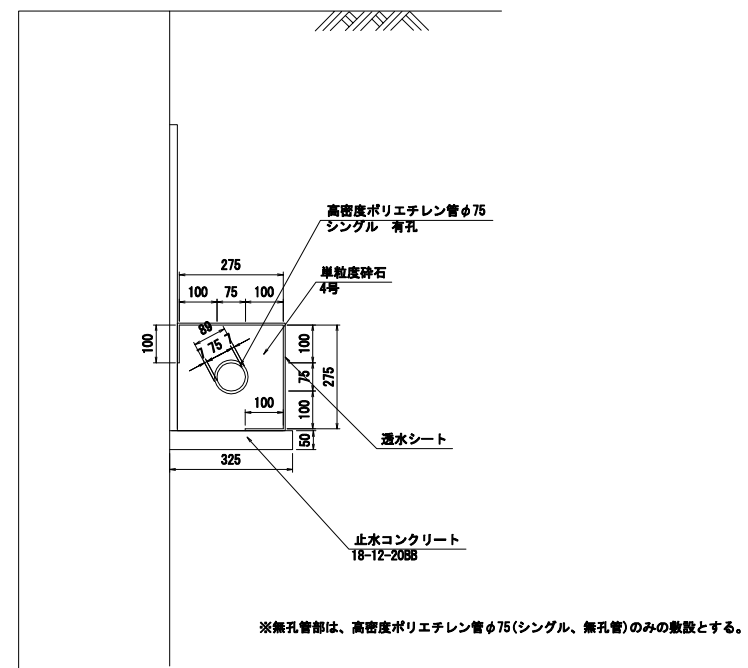
工事名	東工区17街区舗装整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	付帯構造物詳細図		
縮尺	図示	図番	18 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備課		

2号擁壁暗渠排水工詳細図

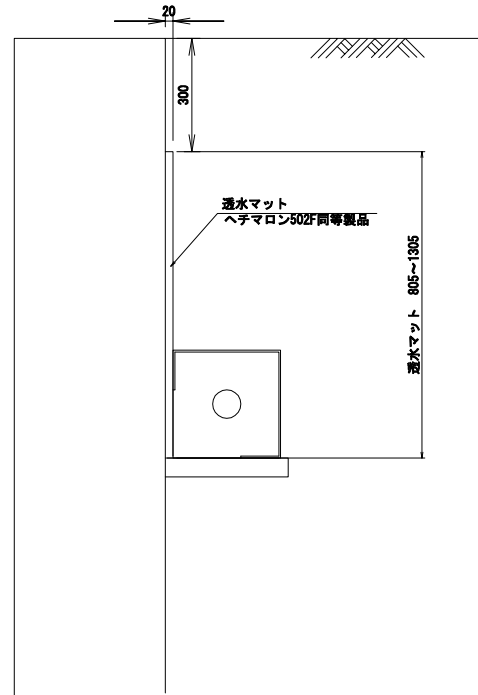
2号擁壁 展開図 S=1 : 30



2号擁壁暗渠排水工詳細図 S=1 : 10

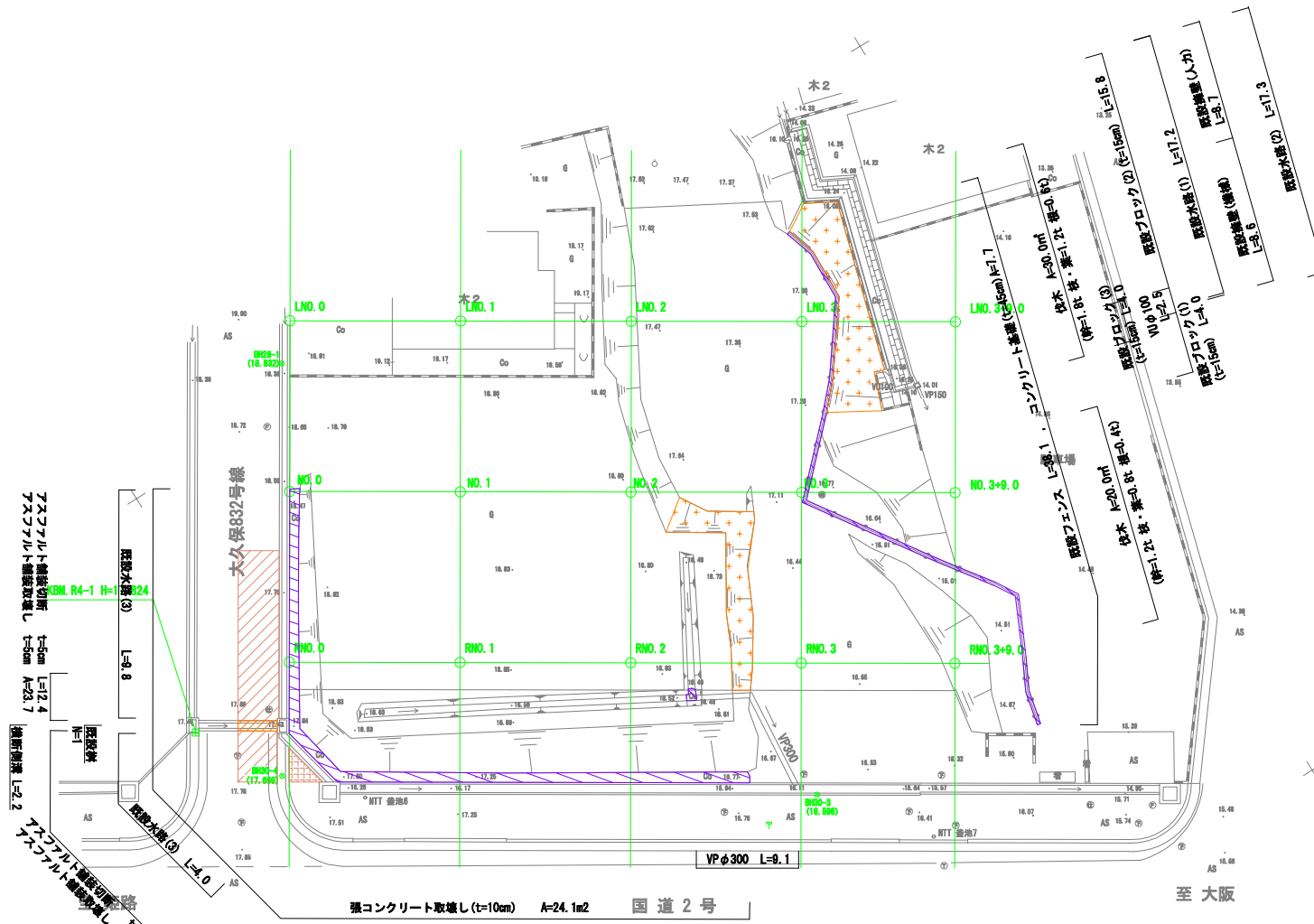


2号擁壁透水マット詳細図 S=1 : 10

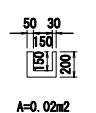


工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	2号擁壁暗渠排水工詳細図		
縮尺	図示	図番	19 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備課区画整理課		

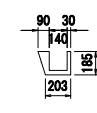
撤去平面図



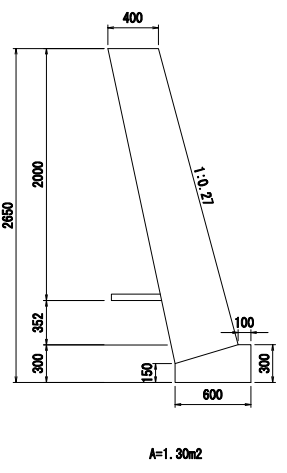
既設水路(1) S=1:30



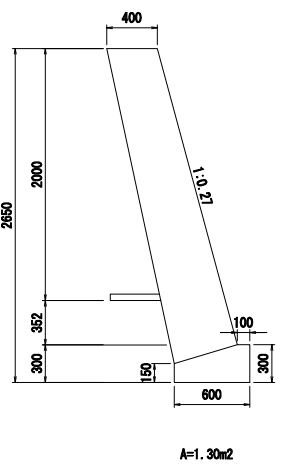
既設水路(2) S=1:30



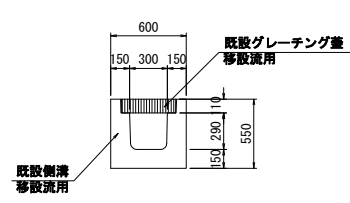
既設擁壁(人力) S=1:30



既設擁壁(機械) S=1:30



既設横断側溝 S=1:30



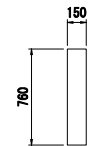
既設ブロック(1) S=1:30



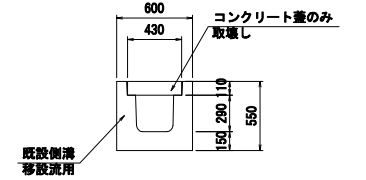
既設ブロック(2) S=1:30



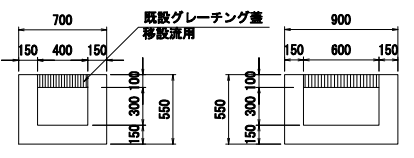
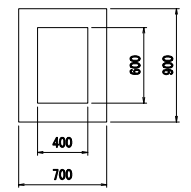
既設ブロック(3) S=1:30



既設水路(3) S=1:30



既設樹 S=1:30



工事名	東工区17街区擁壁整地工事		
年度	令和4年度		
図面名称	撤去平面図		
縮尺	図示	図番	20 / 20
事業主体	明石市都市局都市整備課		

令和4 年度 東工区17街区擁壁整地工事

見積参考図書
(当初設計)

工事番号

路線名等

工事箇所 明石市大久保町大窪字大畑地内

工 種

総括情報表

単価適用年月日	0-05.01.01(0)		
工種区分(公共) 施工地域区分	今回 04 道路改良 36 市街地(DID補正)(1)-3	前回	

工事費内訳書

頁0-0002/0162

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
	道路改良						
	道路土工						
	掘削工						
	掘削						
	路体盛土工	1		式			工種 第0001号明細表
	路体(築堤)盛土						
	作業土工	1		式			工種 第0002号明細表
	床掘り						
		1		式			工種 第0003号明細表

工事費内訳書

頁0-0003/0162

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し						
	1		式			工種 第0004号明細表
基面整正						
	1		式			工種 第0005号明細表
残土処理工						
残土等処分						
	1		式			工種 第0006号明細表
擁壁工						
場所打擁壁工(構造物単位)(2号擁壁)						
重力式擁壁						
	1		式			工種 第0007号明細表
L型擁壁						
	1		式			工種 第0008号明細表
場所打擁壁工(1号擁壁(1))						

工事費内訳書

頁0-0004/0162

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎材						
	1		式			工種 第0009号明細表
均しコンクリート						
	1		式			工種 第0010号明細表
コンクリート						
	1		式			工種 第0011号明細表
鉄筋						
	1		式			工種 第0012号明細表
型枠						
	1		式			工種 第0013号明細表
目地板						
	1		式			工種 第0014号明細表
水抜パイプ						
	1		式			工種 第0015号明細表
場所打擁壁(1号擁壁(2))						
基礎材						
	1		式			工種 第0016号明細表

工事費内訳書

頁0-0005/0162

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
均しコンクリート						
	1		式			工種 第0017号明細表
コンクリート						
	1		式			工種 第0018号明細表
鉄筋						
	1		式			工種 第0019号明細表
型枠						
	1		式			工種 第0020号明細表
足場						
	1		式			工種 第0021号明細表
目地板						
	1		式			工種 第0022号明細表
水抜パイプ						
	1		式			工種 第0023号明細表
石・ブロック積(張)工						
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)						

工事費内訳書

頁0-0006/0162

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリートブロック基礎	1		式			工種 第0024号明細表
コンクリートブロック積	1		式			工種 第0025号明細表
胴込・裏込コンクリート	1		式			工種 第0026号明細表
胴込・裏込材(砕石)	1		式			工種 第0027号明細表
小口止コンクリート	1		式			工種 第0028号明細表
排水構造物工						
管渠工						
暗渠排水管	1		式			工種 第0029号明細表
仮設工						

工事費内訳書

頁0-0007/0162

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0030号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
技術管理費						
土質等試験費			式			
	1		式			工種 第0031号明細表
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			

工事費内訳書

頁0-0009/0162

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
附帯工事費(1)						
道路改良						
石・ブロック積(張)工						
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)						
コンクリートブロック基礎						
	1		式			工種 第0032号明細表
コンクリートブロック積						
	1		式			工種 第0033号明細表
胴込・裏込コンクリート						
	1		式			工種 第0034号明細表
胴込・裏込材(碎石)						
	1		式			工種 第0035号明細表
排水構造物工						

工事費内訳書

頁0-0010/0162

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝工						
プラスチックU型側溝	1		式			工種 第0036号明細表
管渠工						
暗渠排水管	1		式			工種 第0037号明細表
集水桝・マンホール工						
現場打ち集水桝	1		式			工種 第0038号明細表
場所打水路工						
現場打水路	1		式			工種 第0039号明細表
構造物撤去工						

工事費内訳書

頁0-0011/0162

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物取壊し工						
コンクリート構造物取壊し						
	1		式			工種 第0040号明細表
舗装版切断						
	1		式			工種 第0041号明細表
舗装版破碎						
	1		式			工種 第0042号明細表
排水構造物撤去工						
暗渠排水管撤去						
	1		式			工種 第0043号明細表
付属施設撤去工						
付属施設撤去工						
	1		式			工種 第0044号明細表
運搬処理工						

工事費内訳書

頁0-0012/0162

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻処分						
	1		式			工種 第0045号明細表
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0046号明細表
舗装						
舗装工						
アスファルト舗装工						
下層路盤(歩道部)						
	1		式			工種 第0047号明細表
上層路盤(車道・路肩部)						
	1		式			工種 第0048号明細表

工事費内訳書

頁0-0013/0162

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
上層路盤(歩道部)						
	1		式			工種 第0049号明細表
表層(車道・路肩部)						
	1		式			工種 第0050号明細表
表層(歩道部)						
	1		式			工種 第0051号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
事業損失防止施設費						
			式			
家屋調査費						
	1		式			工種 第0052号明細表
準備費						
			式			
木根等処分費						
	1		式			工種 第0053号明細表

工事費内訳書

頁0-0014/0162

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費率分				式			
純工事費計							
現場管理費				式			
工事原価計							
一般管理費等				式			
工事価格							
消費税相当額				式			
合 計							
工事価格計							

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
事前調査 工作物	1	箇所			施工 第0-0079号内訳表
事後調査 工作物	1	箇所			施工 第0-0080号内訳表
事前調査 木造建物 A (住宅・店舗・医院・アパート等)	1	棟			施工 第0-0081号内訳表
事後調査 木造建物 A (住宅・店舗・医院・アパート等)	1	棟			施工 第0-0082号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
伐木 伐木(密)(50本/100m2以上) 除根有り 集積積込作業->機械施工	50	m2			施工 第0-0083号内訳表
伐木処分(幹)[田口建材] [田口建材]	3	t			代価 第0007号内訳表
伐木処分(枝・葉)[田口建材] [田口建材]	2	t			代価 第0008号内訳表
根処分(根)[田口建材] [田口建材]	1	t			代価 第0009号内訳表
合 計	1	式			

殻運搬

[規格1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0078/0162

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		タンブトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			タンブトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=1	コンクリート(無筋)構造物とりこわし					
B	積込工法区分	=1	機械					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=15	5.7km以下					

殻運搬

[規格1] コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし

[規格2]

積算単価算出表

[摘要]

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0080/0162

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		タンブトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			タンブトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=2	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし					
B	積込工法区分	=1	機械					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=15	5.7km以下					

殻運搬
[規格1] 舗装版破碎

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0082/0162
1
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		タンクトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			タンクトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=3	舗装版破碎					
B	積込工法区分	=3	機械(騒音対策不要)	15cm以下)				
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=37	19.5km以下					

殻運搬
[規格1] 舗装版破碎

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0084/0162
1
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オロト・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=3	舗装版破碎					
B	積込工法区分	=4	機械(小規模土工)					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=10	3.5km以下					

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0086/0162

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=1	標準					
B	積込機種・規格	=3	バックホ山積0.45m3(平積0.35m3)					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=10	4.0km以下					

掘削
[規格1] 土砂 オープンカット

[規格2] 5,000m3未満

積算単価算出表

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0093/0162
m3 当り

[摘要]

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・超低騒音型・排ガス対策型(3次)]				バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排ガス対策型(3次)] 0.8/0.6m3			
K								
R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R								
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=1	オープンカット					
D	押土の有無	=2	無し					
E	障害の有無	=1	無し					
F	施工数量	=3	5,000m3未満					

路体(築堤)盛土
[規格1] 4.0m以上

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0094/0162
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		ブルドーザ 7t級 [湿地] 排出ガス対策型含			ブルドーザ(排出ガス対策型含) 湿地7t			
K2		振動ローラ(土工用) 質量11~12t [フラット・シングルドラム型] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) フラット・シングルドラム型 11~12t			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
	積算単価 =							
A	施工幅員	=3	4.0m以上					
B	施工数量	=1	10,000m3未満					
C	障害の有無	=1	無し					

床掘り
[規格1] 土砂 標準

[規格2] 土留->無し

積算単価算出表

施工 第0-0019号内訳表

頁0-0096/0162
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=1	標準					
C	土留方式の種類	=1	無し					
D	障害の有無	=1	無し					

埋戻し
[規格1] 最大埋戻幅1m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0097/0162

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 0.45/0.35m3			
K2	タンバ及びランマ 質量60~80kg			タンバ(ランマ) 60~80kg			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	施工方法	=4	最大埋戻幅1m未満				

埋戻し
[規格1] 最大埋戻幅1m以上4m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0098/0162

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.8/0.6m3			
K2	振動ローラ(舗装用) 質量0.8~1.1t [ハンドガイト式]			振動ローラ ハンドガイト式 0.8~1.1t			
K3	タンバ及びランマ 質量60~80kg			タンバ(ランマ) 60~80kg			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レキユラー スタント			レキユラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A 施工方法	=3		最大埋戻幅1m以上4m未満				

埋戻し
[規格1] 最小埋戻幅4m以上

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0022号内訳表

頁0-0099/0162
1
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		ブルドーザ 15t級 [普通・排出ガス対策型(第1次基準値)]			ブルドーザ [普通・排出ガス対策型(第1次基準値)] 15t級			
K2		バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.8/0.6m3			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	施工方法	=1	最小埋戻幅4m以上					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
	K							
	R1	普通作業員			普通作業員			
	R							
	Z							
					計			
積算単価 =								

小型擁壁
[規格1] 0.5m以上0.6m未満

[規格2] 基礎碎石->有り 均しコン->無し

積算単価算出表

施工 第0-0024号内訳表

頁0-0101/0162
1
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クローラ型クレーン付) 山積0.45(平積0.35) [後方超小旋回型・超低騒音・排出ガス(2011年)]			バックホ(クローラ型) [後方超小旋回・超低騒音・クレーン付・(2011年)] 0.45/0.35m3			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	擁壁平均高さ =1		0.5m以上0.6m未満				
B	コンクリート規格 =1		18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
C	基礎碎石の有無 =2		有り				
D	均しコンクリートの有無 =1		無し				
E	養生工の種類 =1		一般養生・特殊養生(練炭)				

L型擁壁
[規格1] 24-12-20BB[水セメント比 55%以下]

[規格2] 基礎砕石->有り 均しCo->有り

積算単価算出表

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0102/0162
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	コンクリートポンプ車 圧送能力90~110m3/h [トラック架装・ブーム式]			コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 90~110m3/h			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	型わく工			型わく工			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	とび工			とび工			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 24-12-20BB 水セメント比55%以下			
Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29			異形棒鋼 D29~D32 (SD345)			
Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
S	鉄筋加工・組立 一般構造物			鉄筋加工・組立 一般構造物			
				計			
積算単価 =							
A	コンクリート規格	=1	24-12-20BB[水セメント比 55%以下]				
B	鉄筋量	=4	0.10t/m3以上0.12t/m3未満				
C	基礎砕石の有無	=2	有り				

基礎砕石

[規格 1] 砕石厚->17.5cmを超え20.0cm以下

[規格 2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0026号内訳表

頁0-0104/0162

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	砕石の厚さ	=4	17.5cmを超え20.0cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クラッシャー RC-30, RC-40					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K									
R1		普通作業員				普通作業員			
R2		特殊作業員				特殊作業員			
R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
R									
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%				生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z									
						計			
積算単価 =									
A	構造物種別	=1			無筋・鉄筋構造物				
B	打設工法	=4			人力打設				
C	コンクリート規格	=9			18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類	=2			一般養生				
G	現場内小運搬の有無	=2			無し				

コンクリート(場所打擁壁)
[規格1] 24-12-20BB[水セメント比 55%以下]

[規格2] 一般養生

積算単価算出表

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0106/0162
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	コンクリートポンプ車 圧送能力90~110m3/h [トラック架装・ブーム式]			コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 90~110m3/h			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 24-12-20BB 水セメント比55%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	生コンクリート規格 =2		24-12-20BB[水セメント比 55%以下]				
B	養生工の種類 =1		一般養生				
C	圧送管延長距離区分 =1		延長無し				

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 鉄筋・無筋構造物

積算単価算出表

施工 第0-0030号内訳表

1
頁0-0108/0162
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=1	鉄筋・無筋構造物					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 均しコンクリート

積算単価算出表

施工 第0-0031号内訳表

1
頁0-0109/0162
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=4	均しコンクリート					

目地板
[規格1] 瀝青質目地板 t=10mm

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0110/0162
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm			瀝青質板 (厚10mm)			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	目地板の種類	=1		瀝青質目地板 t=10mm				

水抜きパイプ
[規格1] 据付

[規格2] 直管(50~150mm)

積算単価算出表

施工 第0-0033号内訳表

頁0-0111/0162
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管			硬質ポリ塩化ビニル管 (一般) φ75			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	据付					
B	管種別	=1	直管					
C	呼び径	=1	50~150mm					
E	暗渠排水管(円/m)の単価コード	=1002	暗渠排水管(円/m)の単価コード					

施工単価表

施工 第0-0034号内訳表

頁0-0112/0162

足場工設置・撤去

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
とび工		人			1
普通作業員		人			1
ラフテレンクレーン(排出ガス対策型含) 油圧伸縮ジブ型 25t吊 オペレータ付き		日			1
諸雑費		%			
合計	100	掛m2			
単位当り	1	掛m2			
A 工法 B 安全ネットの有無		=1 =2	手摺先行型枠組足場 安全ネットあり		

施工単価表

施工 第0-0035号内訳表

頁0-0113/0162

コンクリートブロック基礎 K型 [積ブロック用]

[規格1]

[規格2]

[摘要]

10 m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
現場打基礎コンクリート 18-8-40BB[水セメント比 60%以下]	2.95	m3			施工 第0-0036号内訳表
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 規格		=6	その他形式		
B 基礎材区分		=2	碎石基礎		
D 本体コンクリート数量(m3/10m)		=2.95	本体コンクリート数量(m3/10m)		

現場打基礎コンクリート
 [規格1] 18-8-40BB[水セメント比 60%以下]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0036号内訳表

頁0-0114/0162
 m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K2	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	生コンクリート規格	=1	18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
B	基礎碎石の有無	=1	有り				
C	養生工の種類	=1	一般養生・特殊養生(練炭)				

施工単価表

施工 第0-0038号内訳表

頁0-0116/0162

足場工設置・撤去

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備	100 掛m2 当り
土木一般世話役		人				1
とび工		人				1
普通作業員		人				1
ラフテレンクレーン(排出ガス対策型含) 油圧伸縮ジブ型 25t吊 オペレータ付き		日				1
諸雑費		%				
合 計	100	掛m2				
単 位 当 り	1	掛m2				
A 工 法 B 安全ネットの有無		=3 =2	単管傾斜足場 安全ネットあり			

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	ブロックの種類	=1						
B	生コンクリート規格	=1			間知ブロック・緑化ブロック 18-12-20BB[水セメント比 60%以下]			

胴込・裏込材(碎石)

[規格1] 施工箇所->間知・平・連筋・緑化ブロック

[規格2] 再生碎石 RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0118/0162

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込碎石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	ブロックの種類	=1	間知・平・連筋・緑化ブロック					
B	胴込・裏込材規格	=1	再生碎石 RC-40					

暗渠排水管
[規格1] 据付

[規格2] 波状管及び網状管(50~150mm)

積算単価算出表

施工 第0-0042号内訳表

頁0-0120/0162

[摘要]

1

m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		暗渠排水管 波状管 呼び径75mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)			高密度ポリエチレン管 φ75			シングル構造・有孔
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	据付					
B	管種別	=2	波状管及び網状管					
C	呼び径	=1	50~150mm					
D	継手材料費	=1	要					
E	暗渠排水管(円/m)の単価コード	=1004	暗渠排水管(円/m)の単価コード					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0-0043号内訳表

1
頁0-0121/0162
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=2	小型構造物					

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	構造物種別	=2		小型構造物				
B	打設工法	=4		人力打設				
C	コンクリート規格	=10		18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類	=2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無	=2		無し				

暗渠排水管
[規格1] 据付

[規格2] 波状管及び網状管(50~150mm)

積算単価算出表

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0123/0162

[摘要]

1 m 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		暗渠排水管 波状管 呼び径75mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)			高密度ポリエチレン管 φ75			シングル構造・無孔
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	据付					
B	管種別	=2	波状管及び網状管					
C	呼び径	=1	50~150mm					
D	継手材料費	=1	要					
E	暗渠排水管(円/m)の単価コード	=1005	暗渠排水管(円/m)の単価コード					

施工単価表

施工 第0-0059号内訳表

頁0-0137/0162

蓋版 機械・労務

[規格1]	[規格2]	[摘要]				1 枚 当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考	
蓋版（コンクリート製・鋼製） [昼間] 40kg/枚以下 制約無		枚				
単 位 当 り	1	枚				
A 施工区分		=3	再利用撤去・据付			
B 夜間作業の有無		=1	昼間作業			
C 規格・仕様区分		=1	40kg/枚以下			
D 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし			
E 施工箇所による補正		=1	無し			

暗渠排水管
[規格1] 据付

[規格2] 直管(50~150mm)

積算単価算出表

施工 第0-0060号内訳表

頁0-0138/0162

1
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管			VU φ 100			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	据付					
B	管種別	=1	直管					
C	呼び径	=1	50~150mm					
E	暗渠排水管(円/m)の単価コード	=1007	暗渠排水管(円/m)の単価コード					

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
 [規格1] 18-12-20BB[水セメント比 60%以下]

積算単価算出表

施工 第0-0061号内訳表

頁0-0139/0162

[規格2] 1箇所当りCo使用量->0.20m3以上0.22m3以下 [摘要]

1

箇所 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	コンクリート規格	=2	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
B	1箇所当りコンクリート使用量	=1	0.20m3以上0.22m3以下				
C	コンクリート打設工法	=2	人力打設				
D	養生工の種類	=1	一般養生・特殊養生(練炭)				

施工単価表

施工 第0-0062号内訳表

頁0-0140/0162

現場打側溝蓋

[規格1]NC130

[規格2]

[摘要]

10

m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物	0.40	m3			施工 第0-0063号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.075	t			施工 第0-0029号内訳表
埋設鋼板型枠	4.20	m2			施工 第0-0064号内訳表
目地板 瀝青繊維質目地板 t=10mm	2.20	m2			施工 第0-0065号内訳表
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 記号 B 1工事の施工規模 C 施工条件		=1 =2 =1	NC130 鉄筋数量区分->10 t 未満 標準		

コンクリート
[規格1] 小型構造物

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0063号内訳表

頁0-0141/0162
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K									
R1		普通作業員				普通作業員			
R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
R3		特殊作業員				特殊作業員			
R									
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%				生コンクリート 24-12-20BB 水セメント比55%以下			
Z									
						計			
積算単価	=								
A	構造物種別	=2			小型構造物				
B	打設工法	=4			人力打設				
C	コンクリート規格	=18			24-12-20BB[水セメント比 55%以下]				
E	養生工の種類	=2			一般養生				
G	現場内小運搬の有無	=2			無し				

目地板
[規格1] 瀝青纖維質目地板 t=10mm

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0065号内訳表

頁0-0143/0162
m2 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		瀝青纖維質目地板 厚さ10mm			瀝青纖維質板 (厚10mm)			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	目地板の種類	=3	瀝青纖維質目地板	t=10mm				

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0069号内訳表

頁0-0147/0162
1 m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.45m3級			
K							
R1	土木一般世話役			土木一般世話役			
R2	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3	普通作業員			普通作業員			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別 =1		アスファルト舗装版				
B	障害等の有無 =1		無し				
C	騒音振動対策 =1		不要				
D	舗装版厚 =1		15cm以下				
F	積込作業の有無 =1		有り				

暗渠排水管
[規格1] 撤去

[規格2] 直管(50~150mm)

積算単価算出表

施工 第0-0071号内訳表

頁0-0149/0162
m 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K									
R1		普通作業員				普通作業員			
R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
R									
Z									
						計			
積算単価 =									
A	作業区分	=2							
B	管種別	=1	撤去						
C	呼び径	=1	直管 50~150mm						

暗渠排水管
[規格1] 撤去

[規格2] 直管(200~400mm)

積算単価算出表

施工 第0-0072号内訳表

頁0-0150/0162
m 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K									
R1		普通作業員				普通作業員			
R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
R									
Z									
						計			
積算単価 =									
A	作業区分	=2		撤去					
B	管種別	=1		直管					
C	呼び径	=2		200~400mm					

フィルター層
[規格1] t=40mm以上60mm未満

[規格2] 洗砂

積算単価算出表

施工 第0-0074号内訳表

1
頁0-0152/0162
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.28m3(平積0.2) [クローラ型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クローラ後方超小旋回 山積0.28m3			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンバインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバインド型 3~4t			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		砂 再生砂			砂 洗砂			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	平均厚さ	=1		40mm以上60mm未満				
B	フィルター材種別	=1		洗砂				

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0075号内訳表

頁0-0153/0162
 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータロータ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロッドロー 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドロー [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=100	全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1	1層施工				

上層路盤(歩道部)

[規格1] 全仕上り厚 t = 50 1層施工

[規格2] 再生クラッシャーラン RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0076号内訳表

頁0-0154/0162

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		小型バックホウ 山積0.11m3(平積0.08) [クローラ型] 排出ガス対策型含			小型バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型 山積0.11m3級			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンバインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバインド型 3~4t			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		再生粒度調整碎石 RM-30 全厚t=100mm			再生切込碎石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	全仕上り厚	=50	全仕上り厚					
B	施工区分	=1	1層施工					
C	材料	=3	再生クラッシャーラン RC-30, RC-40					

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0077号内訳表

頁0-0155/0162
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅1.4~3.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅1.4~3.0m			
K2	振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンパインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンパインド型 3~4t			
K3	タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 3~4t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	開粒度アスコン TOP13 t=40mm			開粒度アスコン(ストレートAS新規材) TOP13			
Z2	ガソリン レキユラー スタンド			レキユラーガソリン			
Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=30	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=1	一般・4t以下乗入部->開粒度As(13)				
D	夜間割増の有無	=1	無し				

伐木

[規格1] 伐木(密)(50本/100m2以上)

[規格2] 除根有り 集積積込作業->機械施工

積算単価算出表

施工 第0-0083号内訳表

頁0-0162/0162

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.45/0.35m3			
K2	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K3	バックホウ用アタッチメント[掴み装置] [開口幅1700~2000mm, 爪幅400~750mm]			バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 開口幅1,700~2,000mm			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	普通作業員			普通作業員			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	樹木・竹の区分 樹木密集度	=3	伐木(密)(50本/100m2以上)				
B	除根作業の有無	=1	有り				
C	集積積込み作業の区分	=1	機械施工				

東工区17街区擁壁整地工事 位置図

